

京都市内遺跡立会調査報告

平成19年度

2008年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ご あ い さ つ

今から1200年以上前の桓武天皇の治世に「この国，山河襟帯にして自然に城をなす」といわれ，三方をたおやかな峰々に囲まれた京都盆地の中央に，新しい国の首都が遷都され「平安京」と号されました。京都では，それ以後，わが国の政治・文化・経済・宗教などの中心舞台として様々な歴史が展開されてきました。また，市域内の周辺部においては，遷都以前の旧石器時代を含む，縄文時代，弥生時代，古墳時代などの遺跡も数多く，京都盆地が早くから拓かれ，多くの人々が脈々と生活を営んできたことを物語っております。

これら古代から近世まで時代ごとに積み重なった埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が，市内では約800件に及び，それらは，わが国の歴史や文化を直接我々に教えてくれる国民共有の財産であります。

本市では，先人が残した貴重な埋蔵文化財を後世に伝える責務を果たすべく，「保存」と「開発」の調和を図りながら，埋蔵文化財の保存と保護に取り組んでおります。

この度，平成19年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査成果をまとめた報告書を作成致しました。この報告書が京都の歴史と文化財への理解を深めるために，広く御活用いただければ幸いに存じます。

結びに，各調査の実施に当たり，御理解，御協力を賜りました市民の皆様と，御指導を賜りました関係機関の皆様に深く御礼申し上げます。

平成20年3月

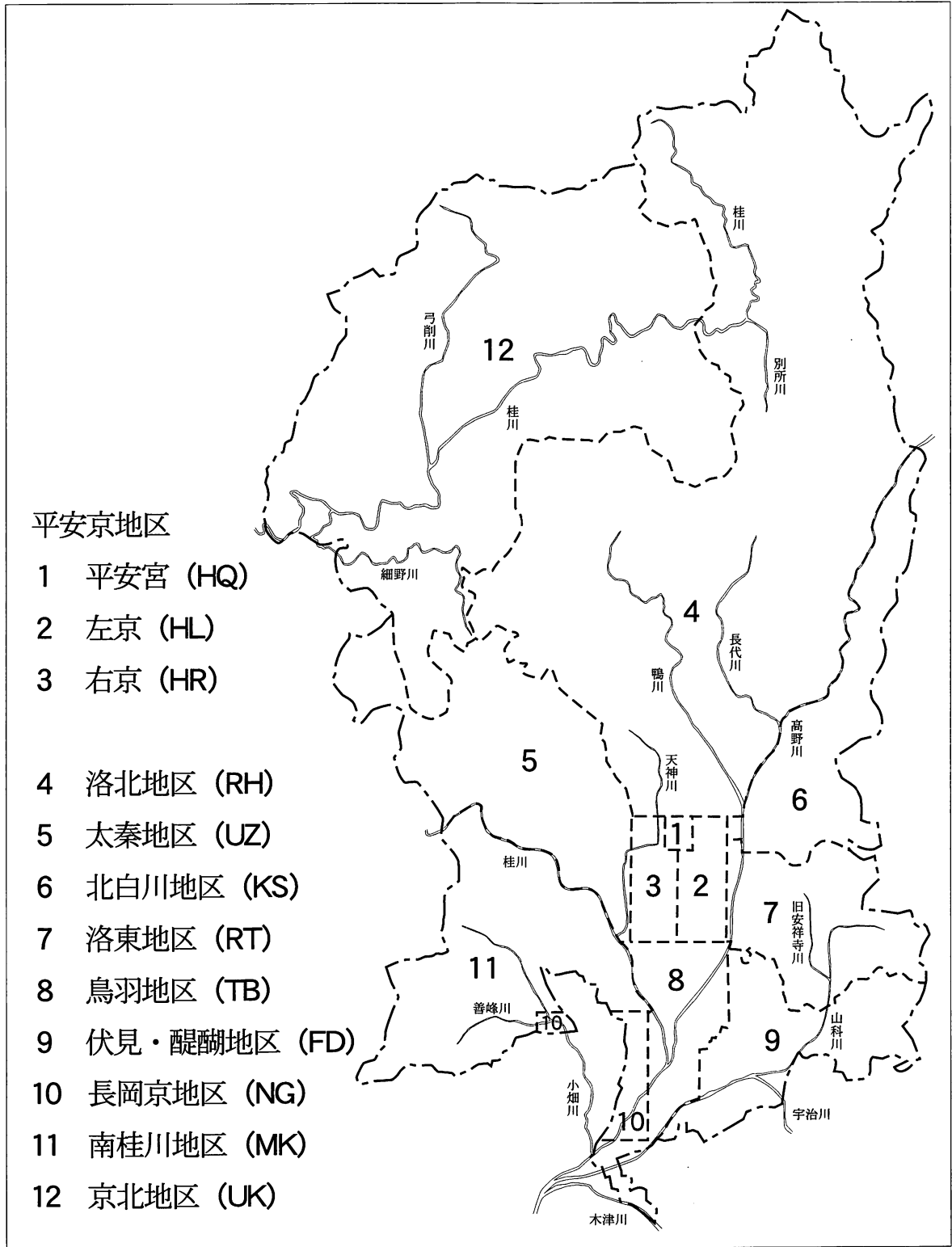
文化市民局長 山 岸 吉 和

例 言

- 1 本書は、京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託して実施した文化庁国庫補助事業による平成19年度の京都市内遺跡立会調査報告である。
- 2 本書の編集はト田健司、吉本健吾が調整・作成・実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 本書に使用した写真の撮影は、遺物は村井伸也・幸明綾子が担当し、遺構は現場担当者が行った。
- 5 本書で使用した土壌名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。
- 6 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」をBM±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面（±0m）としている。II-2の測量基準点のみ京都市遺跡発掘調査基準点を使用した。調査における測量基準点の設置は、宮原健吾が行った。本書中で使用した方位及び座標の数値は、世界測地系 平面直角座標系VIによる。また、標高はT.P.（東京湾平均海面高度）による。
- 7 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡については重複する遺跡は省略し、官衙・条坊を優先して明記し、官衙・条坊が複数にまたがるものは代表するものを掲載した。長岡京跡については、官衙・条坊を優先し、複数にまたがるものは代表するものを掲載した。
- 9 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図（縮尺1/2,500）を調整し、作成したものである。なお図版に使用した地図の縮尺は以下のとおりである。

図版1～13 1/8,000 図版14～26 1/10,000

地区設定概念図



本文目次

I	調査概要	1
II	平安京跡	3
1	平安京左京北辺二坊八町 (07HL127)	3
2	平安京左京一条二坊九町 (07HL71)	5
3	平安京左京四条一坊四町 (06HL482)	8
4	平安京左京五条一坊八町 (06HL543)	10
5	平安京右京二条二坊二町 (07HR184)	12
6	平安京右京二条二坊十五町 (07HR56)	16
7	平安京右京八条二坊十町 (06HR494)	18
III	その他の遺跡	20
1	法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)	20
2	上久世遺跡 (07MK9)	23
IV	主要な出土遺物	26
1	金箔巴文軒丸瓦 (07HL124)	26
2	唐草文軒平瓦 (07HL126)	27
3	弥生土器甕 (07UZ262)	28
4	唐草文軒平瓦 (07KS230)	29
	調査一覧表	30
	報告書抄録	68

図版目次

図版1～26 調査位置図

- 図版1 平安宮
- 図版2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版14 伏見城跡・桃山古墳群（永井久太郎古墳）・御香宮廃寺・桃陵遺跡
- 図版15 伏見城跡・桃山古墳群（永井久太郎古墳）・中山遺跡
- 図版16 草木町遺跡・太秦馬塚町遺跡・村ノ内町遺跡・上ノ段町遺跡・常盤東ノ町古墳群・森ヶ東瓦窯跡・和泉式部町遺跡・御所ノ内町遺跡・嵯峨野高田町遺跡・天塚古墳・長福寺境内
- 図版17 北白川廃寺・吉田上大路町遺跡・吉田山遺跡・吉田神社境内・吉田二本松町遺跡・真如堂境内・白河街区跡・白河北殿跡・白河南殿跡・法勝寺跡・岡崎遺跡
- 図版18 四条道場跡・寺町旧域・御土居跡・建仁寺境内・清水寺境内・六波羅政庁跡・方広寺跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版19 長岡京跡・久我殿遺跡・久我東町遺跡
- 図版20 1 御土居跡・寺町旧域・寺ノ内旧域・悲田院跡・上京遺跡・出雲寺跡・上御霊遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡（花の御所）・公家町遺跡
2 大深町須恵器窯跡・大宮北山ノ前瓦窯跡 3 大徳寺旧境内
- 図版21 1 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡・下鳥羽遺跡 2 唐橋遺跡
3 石原城跡
- 図版22 1 植物園北遺跡・御土居跡 2 史跡御土居・御土居跡・引接寺境内・上京遺跡・紫野斎院跡・世尊寺跡・北野遺跡・北野廃寺

- 図版23 1 法性寺跡・正覚寺跡・伏見稻荷大社境内・稻荷山命婦谷遺跡 2
上久世遺跡・中久世遺跡・大藪遺跡
- 図版24 1 一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳・一乗寺松田町遺跡 2 中臣遺跡
3 宝幢寺境内・嵯峨遺跡 4 音戸山古墳群 5 仁和寺院家跡・
円宗寺跡・円乗寺跡 6 法成寺跡・御土居跡
- 図版25 1 御土居跡 2 日ノ岡堤谷須恵器窯跡 3 山科本願寺跡 4
山科本願寺南殿跡 5 深草遺跡 6 深草坊町遺跡 7 醍醐古墳
群 8 醍醐寺子院跡
- 図版26 1 向島城跡 2 長岡京跡・淀城跡 3 松尾十三塚古墳群 4
檉原遺跡 5 上里北ノ町遺跡 6 福西古墳群 7 安岡遺跡 8
鳥谷古墳群

図版27～38 写真

- 図版27 遺構 平安京左京一条二坊九町 (07HL71)
- 図版28 遺構 平安京左京四条一坊四町 (06HL482)
- 図版29 遺構 平安京左京五条一坊八町 (06HL543)
- 図版30 遺構 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)
- 図版31 遺構 平安京右京二条二坊十五町 (07HR56)
- 図版32 遺構 1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)
2 上久世遺跡 (07MK 9)
- 図版33 遺構 上久世遺跡 (07MK 9)
- 図版34 遺物 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)
- 図版35 遺物 21 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)
24 上久世遺跡 (07MK 9)
25 平安京左京二条三坊三町 (07HL124)
26～32 平安京左京四条二坊九町 (07HL126)
33 村ノ内町遺跡 (07UZ262)
34 白河北殿跡 (07KS230)

挿 図 目 次

07HL127

図 1	調査位置図	3
図 2	遺構位置図	3
図 3	遺構平面・断面図	4
図 4	路面	4

07HL71

図 5	調査位置図	5
図 6	遺構位置図	5
図 7	遺構平面図	6
図 8	遺構断面図	7

06HL482

図 9	調査位置図	8
図10	遺構位置図	8
図11	遺構断面図	9
図12	土器実測図	9

06HL543

図13	調査位置図	10
図14	遺構位置図	10
図15	緑釉陶器実測図	10
図16	遺構断面図	11

07HR184

図17	調査位置図	12
図18	遺構位置図	12
図19	遺構平面図	13
図20	A地点柱状断面及びA-A'溝断面図	13
図21	出土土器・瓦実測及び拓影図	14
図22	出土瓦実測図	15

07HR56

図23	調査位置図	16
図24	遺構位置図	16
図25	遺構断面図	17
図26	出土土器実測図	17

06HR494	
図27 調査位置図	18
図28 遺構位置図	18
図29 No.1 地点柱状断面図	19
図30 1997年立会調査柱状断面図	19
07RT214	
図31 調査位置図	20
図32 遺構位置図	20
図33 菊丸瓦実測及び拓影図	20
図34 石垣平面・断面及び見通し図	21
図35 2000年立会調査検出の石垣平面・断面及び見通し図	22
07MK9	
図36 調査位置図	23
図37 遺構位置図	23
図38 No.1・2 地点遺構断面図	24
図39 No.3 地点遺構平面図	24
図40 出土土器実測図	24
図41 上久世遺跡発掘調査検出竪穴住居跡位置図	25
07HL124	
図42 調査位置図	26
図43 遺構位置図	26
図44 金箔巴文軒丸瓦実測及び拓影図	26
07HL126	
図45 調査位置図	27
図46 遺構位置図	27
図47 遺構断面図	27
図48 出土遺物実測及び拓影図	27
07UZ262	
図49 調査位置図	28
図50 遺物出土地点断面図	28
図51 遺構位置図	28
図52 弥生土器実測図	28
07KS230	
図53 調査位置図	29
図54 軒平瓦実測及び拓影図	29

図55 No.1 地点柱状断面図	29
図56 No.1 地点及び1992年発掘調査遺構位置図	29

表 目 次

表1 立会調査件数	1
-----------------	---

I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が（財）京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成19年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成19年1月4日から3月30日までの平成18年度分と、同年4月2日から12月28日までの平成19年度分を合わせて報告する。調査件数は452件であり、平成18年度分が140件、平成19年度分が312件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである（表1）

表1 立会調査件数

地区	18年度1～3月	19年度4～12月	小計	地区	18年度1～3月	19年度4～12月	小計
平安宮 (HQ)	19	41	60	洛東地区 (RT)	11	29	40
平安京左京 (HL)	39	94	133	鳥羽地区 (TB)	6	13	19
平安京右京 (HR)	20	38	58	伏見・醍醐地区 (FD)	8	20	28
洛北地区 (RH)	14	26	40	長岡京地区 (NG)	2	7	9
太秦地区 (UZ)	11	12	23	南桂川地区 (MK)	1	18	19
北白川地区 (KS)	8	14	22	京北地区 (UK)	1	0	1
				合計	140	312	452

京都市と京北町の合併に伴い昨年3月に『京都市遺跡地図台帳^{註1}』の改編が行われ、それに伴い旧京北町の範囲を新たに京北地区 (UK) として設定した。昨年は調査がなく報告できなかったが、本年1件調査があり、京北地区を掲載した。以下各地区の概要を述べる。

平安宮 (HQ) 宮域では、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

平安京左京 (HL) 左京域では、北辺二坊八町 (07HL127)、一条二坊九町 (07HL71)、四条一坊四町 (06HL482)、と五条一坊八町 (06HL543) の4件の概要を報告する。また主要な出土遺物として二条三坊三町 (07HL124) で採集した金箔巴文軒丸瓦と四条二坊九町 (07HL126) で出土した唐草文軒平瓦を報告する。他に平安時代の遺構は三条二坊三町 (06HL514) 他8箇所で見出している。五条三坊七町 (07HL197) では、前期の遺物を含む落込を見出している。

平安京右京 (HR) 右京域では、二条二坊二町 (07HR184)、二条二坊十五町 (07HR56) と八条二坊十町 (06HR494) の概要を報告する。他に平安時代の遺構は四条二坊三町 (06HR509) 他8箇所で見出している。一条三坊四町 (07HR330) と六条三坊十二町 (07HR176) では、前期の遺物を含む落込と包含層を見出している。

洛北地区 (RH) 史跡御土居、御土居跡、引接寺境内、紫野斎院跡、世尊寺跡、上京遺跡、寺ノ内旧域、出雲寺跡、上御霊遺跡、悲田院跡、相国寺旧境内、室町殿跡（花の御所）、公家町遺跡、寺町旧域、大徳寺旧境内、植物園北遺跡、大深町須恵器窯跡、大宮北山ノ前瓦窯跡、北野遺跡、北野廃寺跡の20箇所の遺跡で調査を行った。公家町遺跡 (07RH171) では平安時代から鎌倉時代の包含層を見出している。悲田院跡・上京遺跡・寺ノ内旧域 (06RH546) では近代以降の小川の

旧流路の護岸の石垣を検出した。

太秦地区 (UZ) 草木町遺跡、太秦馬塚町遺跡、常盤東ノ町古墳群、村ノ内町遺跡、上ノ段町遺跡、森ヶ東瓦窯跡、和泉式部町遺跡、御所ノ内町遺跡、嵯峨野高田町遺跡、長福寺境内、天塚古墳、宝幢寺境内、嵯峨遺跡、音戸山古墳群、円乗寺跡、円宗寺跡、仁和寺院家跡の17箇所の遺跡で調査を行った。主要な出土遺物として村ノ内町遺跡 (07UZ262) で出土した弥生土器甕を報告する。他には上ノ段町遺跡 (07UZ306) で飛鳥時代の包含層を検出している。草木町遺跡 (07UZ188) では平安時代の包含層、鎌倉時代の土坑を検出している。宝幢寺境内・嵯峨遺跡 (06UZ505) では宝幢寺境内の推定地の西端で時期不明であるが落込を検出している。

北白川地区 (KS) 一乗寺向畑町遺跡、向畑古墳、一乗寺松田町遺跡、北白川廃寺跡、吉田上大路町遺跡、吉田二本松町遺跡、吉田山遺跡、吉田神社境内、真如堂境内、法勝寺跡、白河北殿跡、白河南殿跡、白河街区跡、岡崎遺跡、法成寺跡、御土居跡の16箇所の遺跡で調査を行った。主要な出土遺物として白河北殿跡 (07KS230) で出土した偏向唐草文軒平瓦を報告する。白河街区跡 (06KS493) では鎌倉時代の包含層を検出している。

洛東地区 (RT) 御土居跡、四条道場跡、寺町旧域、建仁寺境内、清水寺境内、六波羅政庁跡、法住寺殿跡、方広寺跡、法性寺跡、中臣遺跡、日ノ岡堤谷須恵器窯跡、山科本願寺跡、山科本願寺南殿跡の13箇所の遺跡で調査を行った。法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214) では近世以降の石垣を検出したので報告する。六波羅政庁跡 (07RT210) では鎌倉時代前期の包含層を検出した。建仁寺境内 (07RT224) では室町時代の包含層を検出した。

鳥羽地区 (TB) 久我殿遺跡、久我東町遺跡、鳥羽離宮跡、鳥羽遺跡、竹田城跡、下鳥羽遺跡、唐橋遺跡、石原城跡、深草遺跡の9箇所の遺跡で調査を行った。今回は概要報告を行うような成果は得られなかったが、鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡 (07TB315) では平安時代後期の湿地状堆積を検出した。

伏見・醍醐地区 (FD) 伏見城跡、御香宮廃寺、桃陵遺跡、桃山古墳群 (永井久太郎古墳)、中山遺跡、正覚寺跡、伏見稻荷大社境内、稻荷山命婦谷遺跡、深草坊町遺跡、醍醐古墳群、醍醐寺子院跡、向島城跡の12箇所の遺跡で調査を行った。深草坊町遺跡 (07FD60) では古墳時代後期の包含層を検出した。

長岡京地区 (NG) 長岡京跡、淀城跡の2箇所の遺跡で調査を行った。左京九条三坊十二町・淀城跡 (06NG468) では隅櫓の石組の階段を検出した。

南桂川地区 (MK) 松尾十三塚古墳群、榎原遺跡、上里北ノ町遺跡、上久世遺跡、中久世遺跡、大藪遺跡、福西古墳群、安岡遺跡の8箇所の遺跡で調査を行った。上久世遺跡 (07MK9) では古墳時代の竪穴住居跡を検出したので報告する。

京北地区 (UK) 鳥谷古墳群で調査を行ったが、概要報告を行うような成果はえられなかった。

(吉本健吾)

註1 『京都市遺跡地図台帳【第8版】』京都市文化市民局 2007年

Ⅱ 平安京跡

1 平安京左京北辺二坊八町 (07HL127)

調査経過 (図1)

本調査は、上京区一条通小川東入西之口町のマンション新築工事に伴う調査である。この地は、平安京条坊復元では、一条大路と西洞院大路の交差する部分にあたる。表記の条坊の左京北辺二坊八町は『延喜式』や『拾芥抄』では、この町には縫殿寮の厨町である「縫殿町」が存在したと記されている。

八町域での発掘調査例は1件あり、平安時代の遺構として、井戸と土坑群を検出している。立会調査は7件ある。

調査は2007年6月19日と20日の二日行い、平安時代の路面の堆積層を検出した。

敷地面積は約178㎡である。

遺構 (図2～4)

調査地の基本層序は、BM-0.9mまでが現代攪乱層で、以下遺構の堆積層となる。堆積層はBM-1.02mまで確認している。

遺構の検出地点は、調査地のほぼ中央にあたり、推定的一条大路と西洞院大路の交差点部分にあたる。

路面の堆積層は3層を検出し、BM-0.89mで検出した上層の路面は、その殆どが現代攪乱によって削平を受け、断面に幅約1m、厚さ0.1mで残っているのを確認したのみである。礫を多量に含む砂泥層で形成されていた。中層の路面は、BM-0.99mで南北幅約1.8m、東西幅約0.8mに渡って石敷を検出した。厚さは約0.05mを測り、砂泥層に0.03m～0.1m大の石が極めて多量に、また、固く敷かれていた。中層の路面を一部掘り下げるとBM-1.04mで細砂層の下層の路面を検出した。

上層の路面からは平安時代後期(12世紀)の土師器、灰釉陶器が出土しているが、中・下層の路面からは遺物の確認はできなかった。

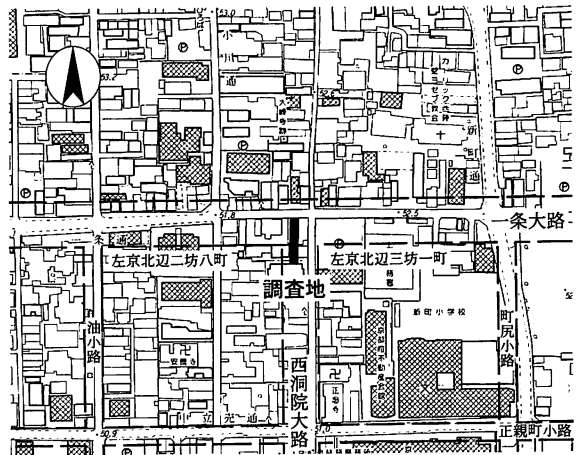


図1 調査位置図 (1 : 5,000)

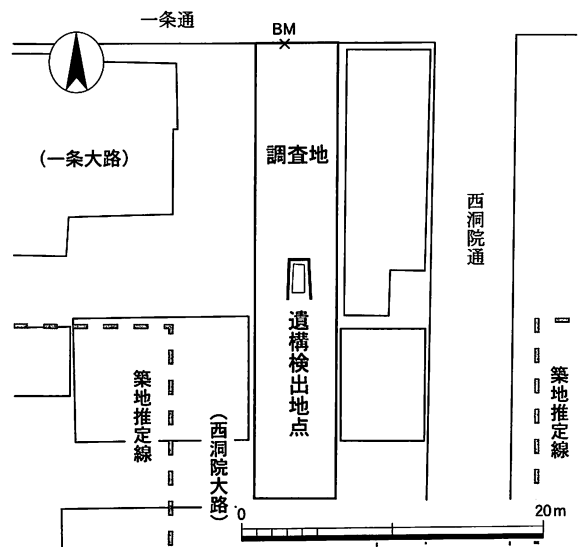


図2 遺構位置図 (1 : 500)

まとめ

今回検出した石敷の路面は、平安京の条坊復原から考えて一条大路と西洞院大路の交差点の路面であると考えられる。左京域での平安時代の一条大路路面の検出例は少なく、今後この付近での調査例の増加による、路面の検出に期待したい。

(卜田健司)

- 註1 「延喜式 中篇」『改訂増補 國史大系』吉川弘文館 1978年
- 註2 「禁祕抄考註・拾芥抄」付図 東京圖『改訂増補 故実叢書』22巻 明治図書出版株式会社 1993年
- 註3 本弥八郎「平安京左京北辺二坊」『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1991年

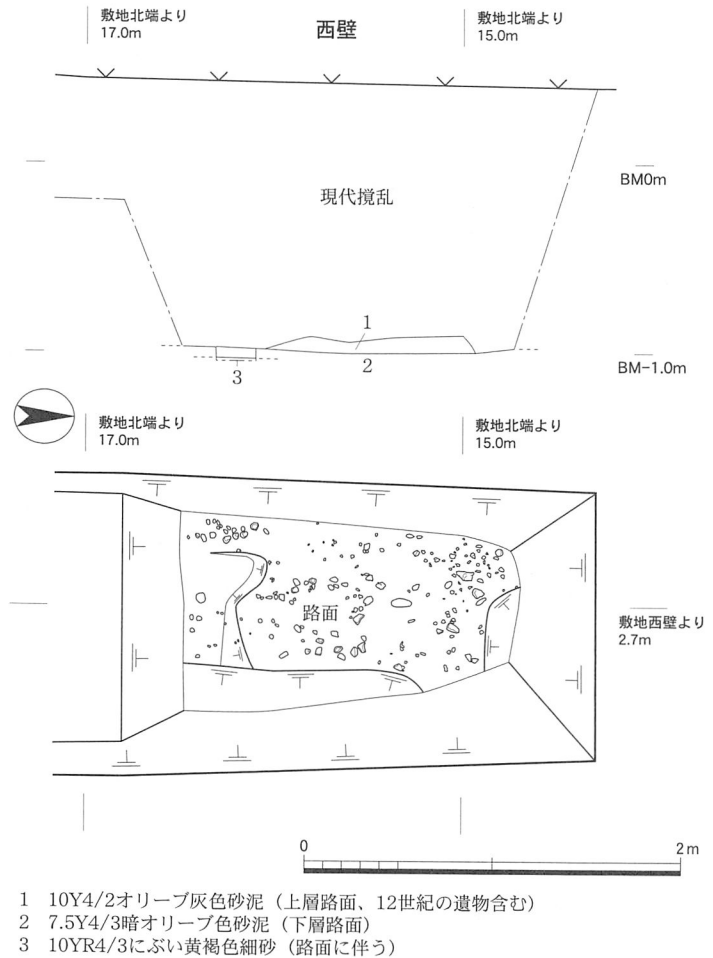


図3 遺構平面・断面図(1:40)



図4 路面(西から)

2 平安京左京一条二坊九町 (07HL71)

調査経過 (図5)

上京区油小路通上長者町下る亀屋町125-2の住宅新築工事に伴う遺跡の確認調査である。条坊復元では左京一条二坊九町の北側の土御門大路に位置する。この九町は左近衛府の厨町・左近衛町が存在したと『拾芥抄』にある。また、『中井家「洛中絵図」寛永後～万治前』の地図では、水野日向守藩邸にあたっている。

左京一条二坊九町の調査は、発掘調査例はなく、試掘調査及び立会調査が15件あるが目立った成果はない。

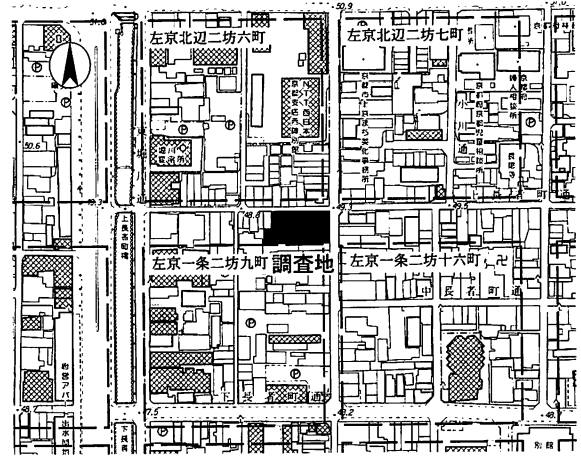


図5 調査位置図 (1 : 5,000)

調査は2007年5月28日から7月17日まで行った。調査の結果、土御門大路に直接関連する遺構は検出できなかったが、調査地北西で石室と考えられる石組遺構を検出した。

調査面積は約503m²である。

遺構・遺物 (図版27、図6～8)

石室と考えられる石組は調査地の北西部で検出した。石組は石室の南壁と北壁にあたる部分を2箇所で見出した。南の石組1は標高46.68mから標高44.45mで東西幅約2.5mに渡ってほぼ垂直に7段を確認した。西端は北面している面が北西に約40度の傾きを持っている。この地点で隅を形成していると考えられる。石は、最大が0.4m×1.0m、最小が0.2m×0.4mを測る。

北側の石組2は断面が確認できたのみであるが南面している。検出時には削平を受け、工事掘削壁面の断面観察で標高45.76mから標高44.30mでほぼ垂直に5段分(1石は欠)ある。石組の北側には幅約0.3mの灰黄褐色砂礫の裏込を持つ。

石室の東端と底部は工事掘削範囲外のため確認できていない。また西端も既に削平を受けていて確認できていない。石室の規模は南北幅3.7mを確認できたのみである。

石室の内部も削平を受け、石組2の東壁断面観察で堆積層を確認した。埋土は4層に分層でき上2層は石組の上部が破壊された後に堆積している。下2層からは平安時代前期の土師器皿・杯・杯蓋・高杯が出土している。

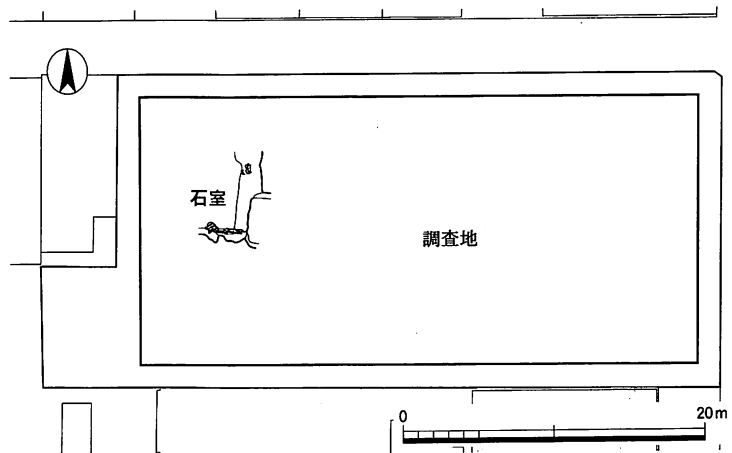


図6 遺構位置図 (1 : 500)

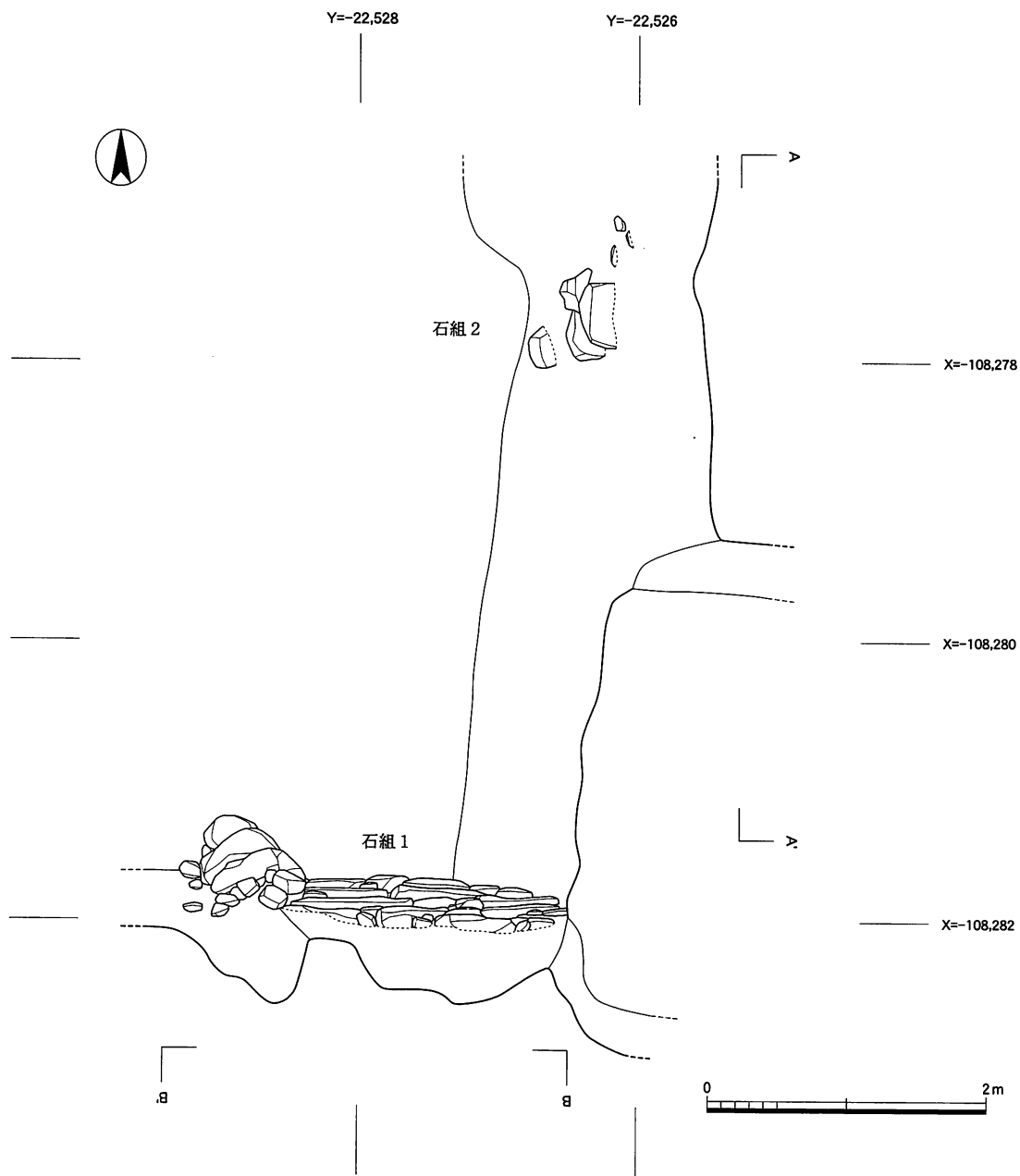


図7 遺構平面図 (1 : 50)

まとめ

今回検出した石室と考えられる石組遺構は、石室内の埋土から平安時代前期の遺物が出土しているが、石の積み方などを考えると江戸時代の遺構であると考えられる。平安時代前期の遺物を含む埋土は石室廃棄後に客土として持ち込まれたものではないかと考えられる。

石室は南北幅3.7m、東西幅2.5m以上、高さ2.3m以上と比較的大きな規模のものであると考えられる。最近の調査では2003年から2004年の平安京左京三条四坊十町の調査で、内法が東西3.5m、南北8.4mの石室を検出している^{註3}。調査地のある油小路通、東堀川通、上長者町通、下長者町通に囲まれた一画は、江戸時代前半に水野日向守藩邸があったとされる場所である^{註2}。ただ石室が水野日向守藩邸に関連する施設であることを断定することはできないが、可能性も考えられ

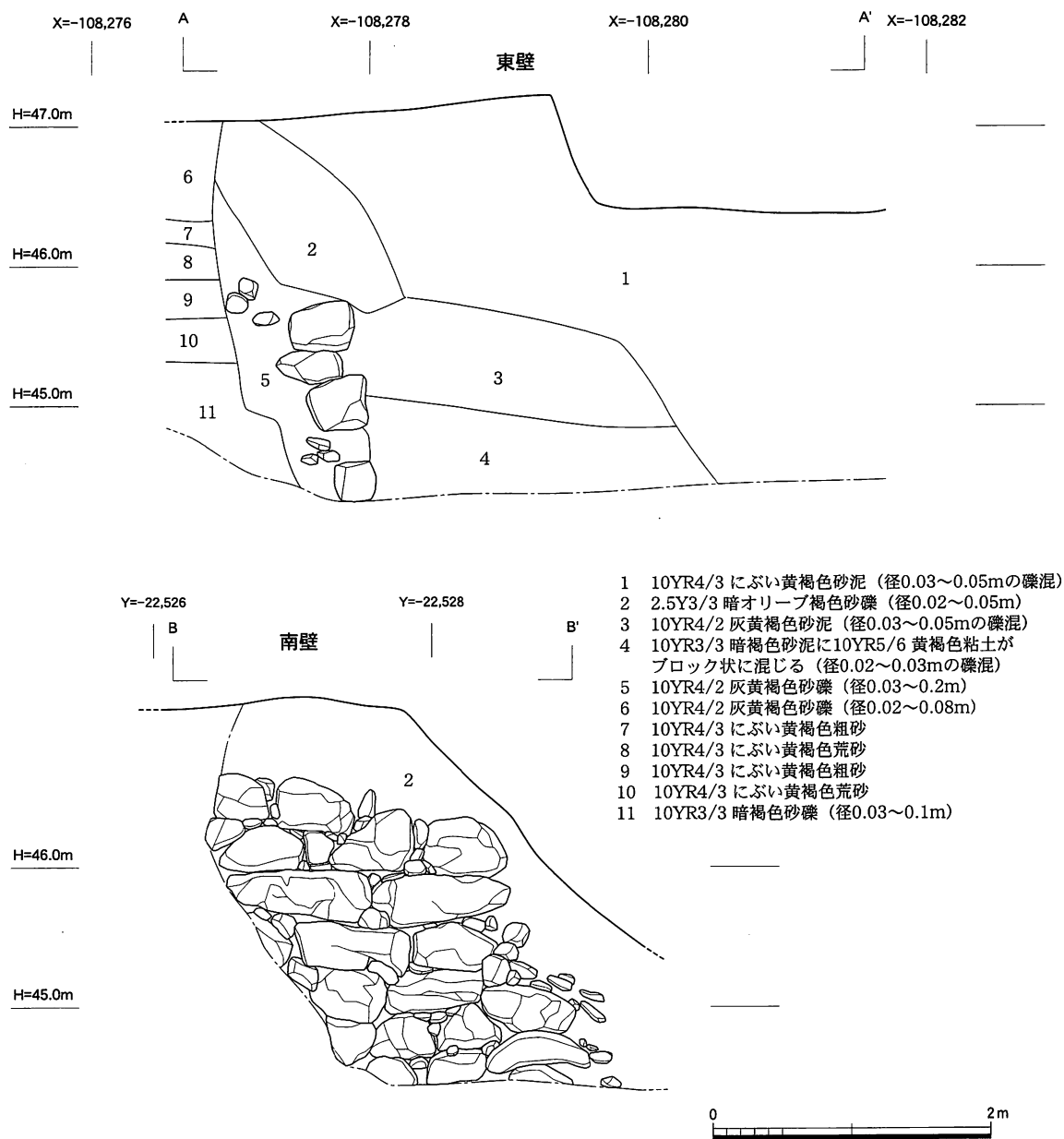


図8 遺構断面図 (1 : 50)

るので、今後のこの近辺の調査に期待したい。

(ト田健司)

註1 「禁祕抄考註・拾芥抄」付図 東京圖『改訂増補 故実叢書』22巻 明治図書出版株式会社 1993年

註2 『中井家「洛中絵図」寛永後~万治前』臨川書店 1984年

註3 上村和直・小檜山一良『平安京左京三条四坊十町跡』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2004年

3 平安京左京四条一坊四町 (06HL482)

調査経過 (図9)

中京区壬生御所ノ内町27番1他2筆の共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の北側は平安京左京四条一坊四町の南東隅に推定され、平安時代後期には権中納言源国信の邸宅があったとされる。また調査地の大半は四条大路にあたっている。

この左京四条一坊四町の調査は、調査地西側で1983年に発掘調査が行われ、平安時代前期の井戸、平安時代後期の四条大路北側溝を検出している。また四町内の北側では2005年の立会調査^{註1} (05HL167) で平安時代後期から鎌倉時代の池跡と洲浜を検出している。

調査は、2007年2月8日から2月13日まで行い、水路の護岸と考えられる木組みの遺構を検出した。

遺構・遺物 (図版28、図10～12)

調査地の基本層序は、地表下-1.23mまでは現代盛土層、-1.23mから-1.45mまでが平安時代後期から鎌倉時代の遺物包含層、-1.45m以下が暗緑灰色泥土層となる。工事掘削深が-1.9mまでで地山は確認できなかった。木組みの遺構はこの暗緑灰色泥土層で検出した。

水路の護岸と考えられる木組みの遺構は、調査地北東隅の工事掘削の東壁で、杭4本と

横板2枚を南北方向に幅約1.4m、深さ0.4mに渡って確認した。まず前面に幅縦0.1m、横1.2m以上(途中工事用のH鋼に分断されている)と幅縦0.1m、横0.45m以上の横板を上下に2枚検出した。横板を外すと奥から長さ0.4m以上、直径0.09mから0.12mの杭を4本検出した。杭は2本づつが密着し、列を構成していた。H鋼の北側に関しては横板の1枚のみを確認しただけで、下段の横板及びその奥の杭の確認は出来なかった。

木組みの遺構を含む暗緑灰色泥土層からは少量ながら平安時代後期の土師器(1)が出土している。

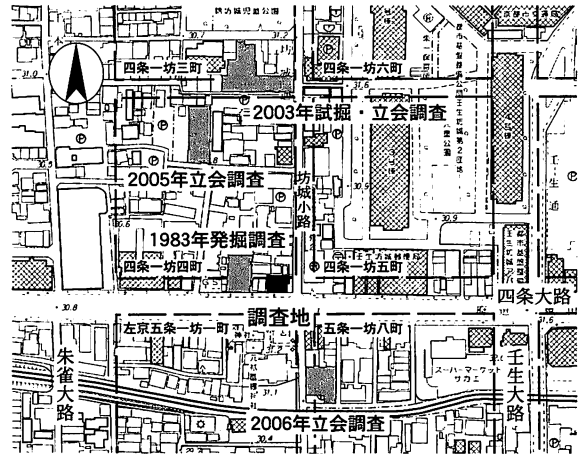


図9 調査位置図 (1:5,000)

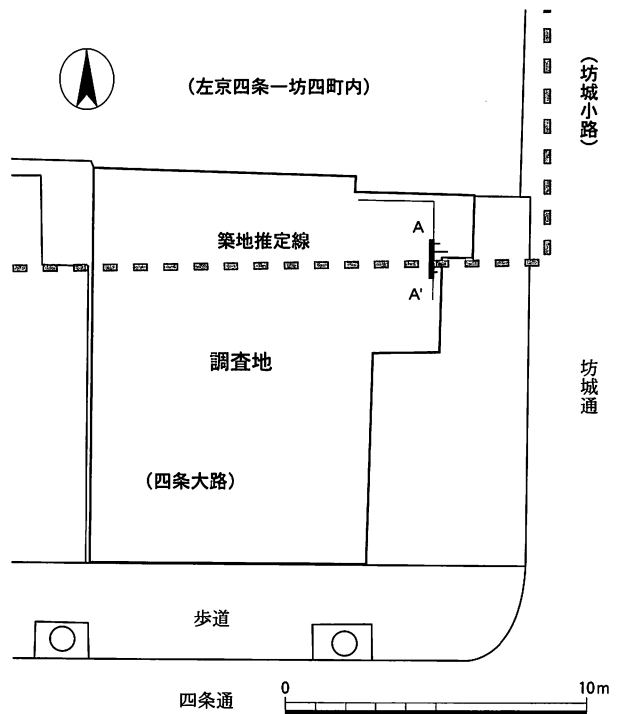


図10 遺構位置図 (1:250)

なお調査地西側での発掘調査^{註1}で検出された四条大路北側溝の延長の検出が期待されたが、立会調査時には推定部分の掘削は既に完了しており、北側溝の確認は出来なかった。

まとめ

今回検出した木組みの遺構は水路の護岸ではないかと考えられる。検出した地点が四条大路北築地推定ライン上にあたり、築地を縦断する形で南北方向に遺構を検出しているところから、四町内の邸宅から四条大路北側溝に排出する暗渠の可能性を考えることが出来る。次節で報告する左京五条一坊八町で検出した溝状遺構^{註3}は宅地内の検出であるが築地に近く、それと直交するような状況で検出しており、護岸施設は検出できなかったが、今回と同様に邸宅から路の側溝に排出する暗渠溝と考えられる。

調査地の位置する左京四条一坊四町の付近は近年の立会調査では北側で平安時代後期から鎌倉時代の池跡と洲浜（05HL167）、平安時代中期の園池（03HL237^{註4}）。南側で東西方向の溝状遺構（06HL543）を検出しており、また83年の発掘調査^{註1}でも四条大路北側溝と水に関連する遺構を多数検出している。この付近から三条通にかけての四条一坊の一帯は湿地状堆積が比較的多く検出されている。当調査地の堆積土も水分を多く含んでおり、護岸施設の杭及び横板が残存していたと考えられる。今後この付近での調査で木製品の出土が期待される。

（吉本健吾）

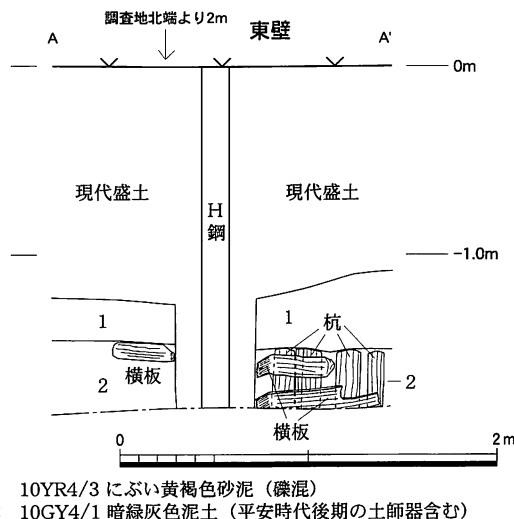


図11 遺構断面図（1：40）

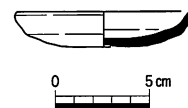


図12 土器実測図（1：4）

- 註1 家崎孝治「左京四条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』（財）京都市埋蔵文化財研究所 1985年
- 註2 堀内寛昭「平安京左京四条一坊四町」『京都市内遺跡立会調査報告 平成17年度』（財）京都市埋蔵文化財研究所 2006年
- 註3 本年度立会調査。次節に報告。
- 註4 馬瀬智光・堀大輔「Ⅲ-1 平安京左京四条一坊三町跡」『京都市内遺跡試掘調査概報 平成15年度』京都市埋蔵文化財センター 2004年

4 平安京左京五条一坊八町 (06HL543)

調査経過 (図13)

中京区壬生賀陽御所町64番1、64番15、64番14、64番25の共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の中央から東側は平安京左京五条一坊八町の北西部に推定され、また調査地の西側は坊城小路にあっている。前章で報告したように調査地の北西付近では平安時代後期の暗渠排水路の護岸と考えられる木組みの遺構^{註1}や四条大路北側溝^{註2}を検出しており、遺構検出が期待された。

調査は2007年3月23日から28日まで行い、平安時代前期の遺物を含む東西方向と考えられる溝状遺構を3箇所に渡って検出した。

遺構・遺物 (図版29、図14~16)

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土、-0.6m以下が明黄褐色砂礫の地山となる。溝状遺構はこの地山を切って成立している。まずA-B間で南肩を検出し、C-D間で東西方向の溝状の堆積層を検出し、D-E間で北肩を検出した。A-B間の南肩とD-E間の北肩が東西に約3m離れているが、平行と仮定して測ると溝の幅は約3m前後となる。深さは最も高低差のあるところで0.73mを測る。埋土は3層に分層でき、上層が灰黄褐色砂泥層、中層が灰黄褐色微砂層、下層が褐灰色粘土層となる。上層からは平安時代前期の土師器皿、須恵器甕、黒色土器甕、緑釉陶器椀(2)、平瓦が出土しているが、須恵器と緑釉陶器を除く土師器、黒色土器及び平瓦は摩滅が著しい。緑釉陶器椀(2)はケズリだし高台の猿投窯産である。中層及び下層からは遺物の確認はできなかった。

まとめ

今回の調査で検出した溝状遺構は、D-E間の肩をみるように緩やかな傾斜を持つ部分もあり、池の一部と推定することもでき、明確に溝と断定しがたいが、検出した地点が坊城小路東築地ライン際であることから、築地に直交する溝の可能性が強い。

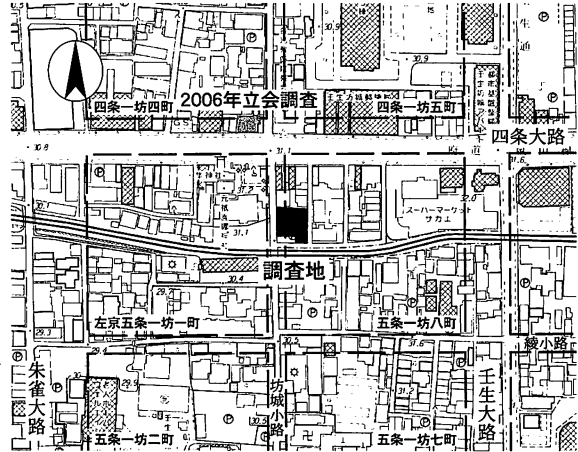


図13 調査位置図 (1 : 5,000)

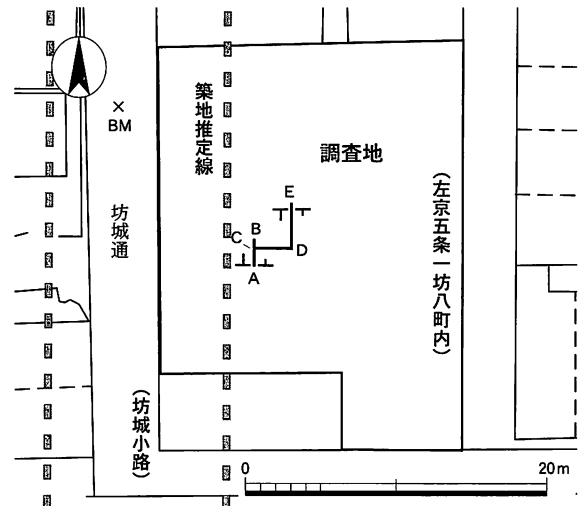


図14 遺構位置図 (1 : 500)

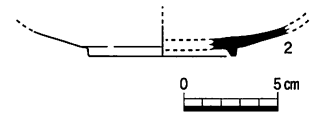


図15 緑釉陶器実測図 (1 : 4)

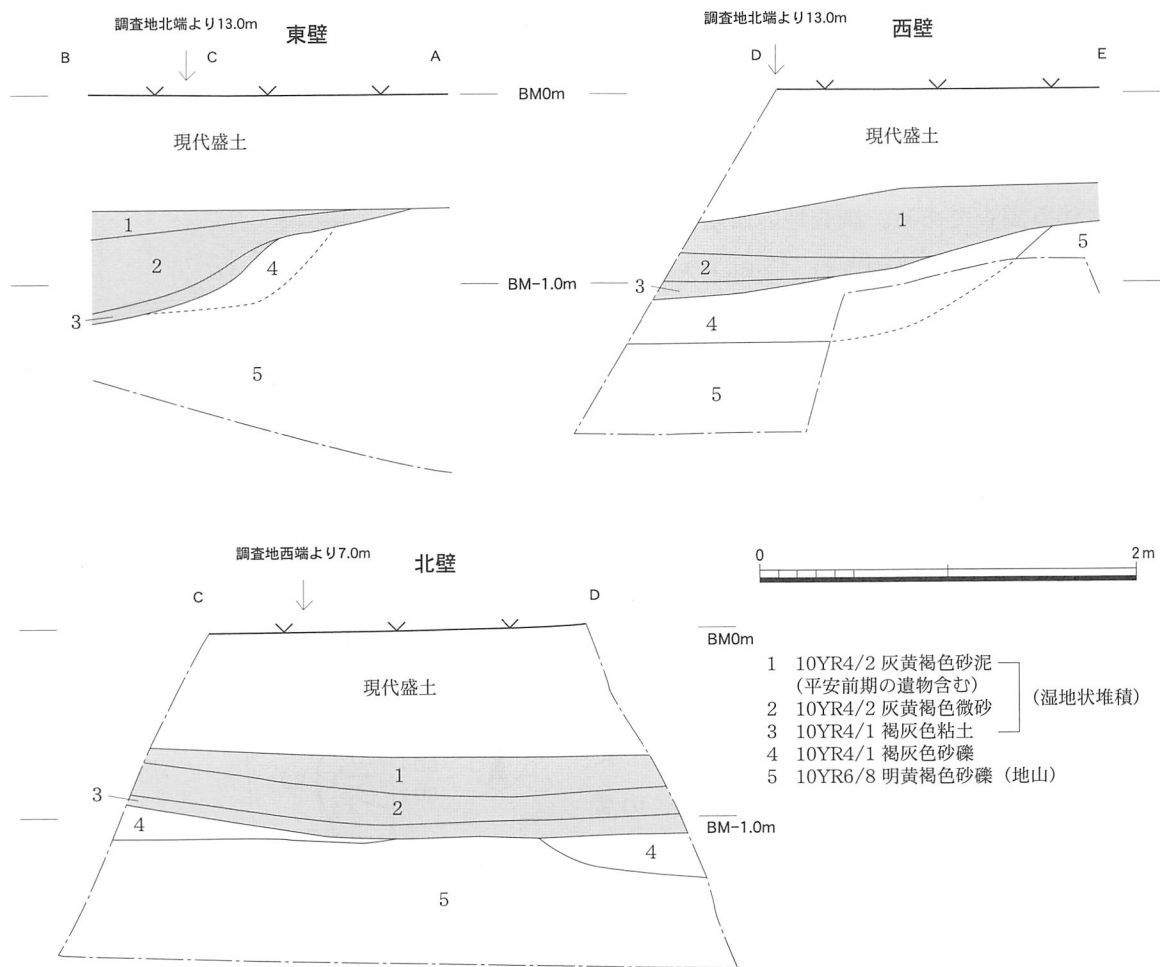


図16 遺構断面図 (1 : 40)

また『清癡眼抄』に「永万二年丙戌二月十一日乙酉。天晴。戊剋。四條南坊城東四條西焼亡。」とあり、左京五条一坊八町は1166年に焼亡したとの文献があるが、今回の調査では平安時代後期の火災に伴う遺構は検出できなかった。近辺の今後の調査に期待したい。

(吉本健吾)

註1 本年度立会調査。前節に報告。

註2 家崎孝治「左京四条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985年

註3 「清癡眼抄」『新校 群書類従 第五卷』名著普及会 1978年

5 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)

調査経過 (図17)

中京区西ノ京南両町34番1の一部の住宅建築工事に伴う調査である。調査地の西端が平安京右京二条二坊二町に推定され、一町とともに左馬寮の厨町である左馬町にあたる。また調査地の大半は西大宮大路にあっている。二町内では調査地の南西に位置する1981年の発掘調査^{註1}で平安時代中期の柵列、平安時代後期の井戸を検出している。調査地の北側では1982年の試掘調査^{註2}(82HR81)で西大宮大路に沿って流れる平安時代から鎌倉時代の遺物を含む河川を検出しており、遺構検出が期待された。

調査は2007年7月25日と26日で行い、平安時代末期から室町時代の東西方向の溝とこの溝内に瓦組の暗渠遺構を検出した。

遺構 (図版30、図18~20)

調査地の基本層序はBM+0.21mから+0.02mまでが現代盛土層、+0.02mから-0.08mまでが黒褐色泥砂層、-0.08m~-0.17mまでが黒褐色泥土層、-0.17m以下が黒褐色砂礫層となる。東西方向の溝はこの層を切って成立している。また溝の西端では、このレベルでオリーブ灰色粘土の地山を確認している。

溝は幅0.3m~0.5m、深さ0.11m~0.16mを測り、調査地北壁から1.8m~2.5mの地点で西壁から1.6mの地点から始まり調査地東端まで約13m続いているのを確認した。北側の肩部分は西端から約0.8mしか確認できていないが、直径0.1m~0.2m大の石を肩に並べて護岸を行っている。しかし南側には石による護岸はなく素掘りのままである。溝の埋土からは平安時代末期から室町時代の土師器皿、須恵器鉢、丸・平瓦が出土している。

この溝の西端から約1mに渡って、丸瓦を2枚合わせ円筒形にした東西方向の瓦組暗渠を検出している。溝の南肩に添うようにして西から東へ流れるように勾配を付け三組並んでいる。しか

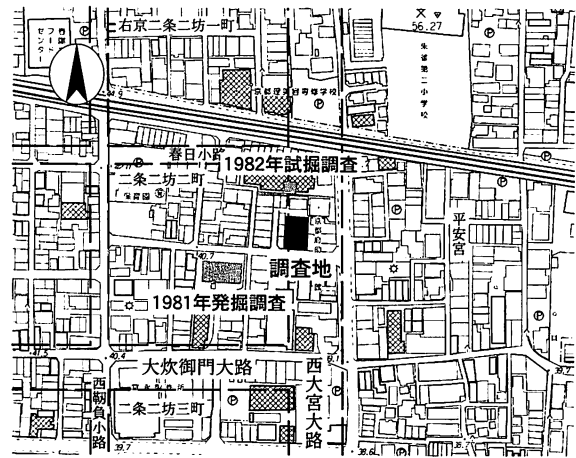


図17 調査位置図 (1 : 5,000)



図18 遺構位置図 (1 : 500)

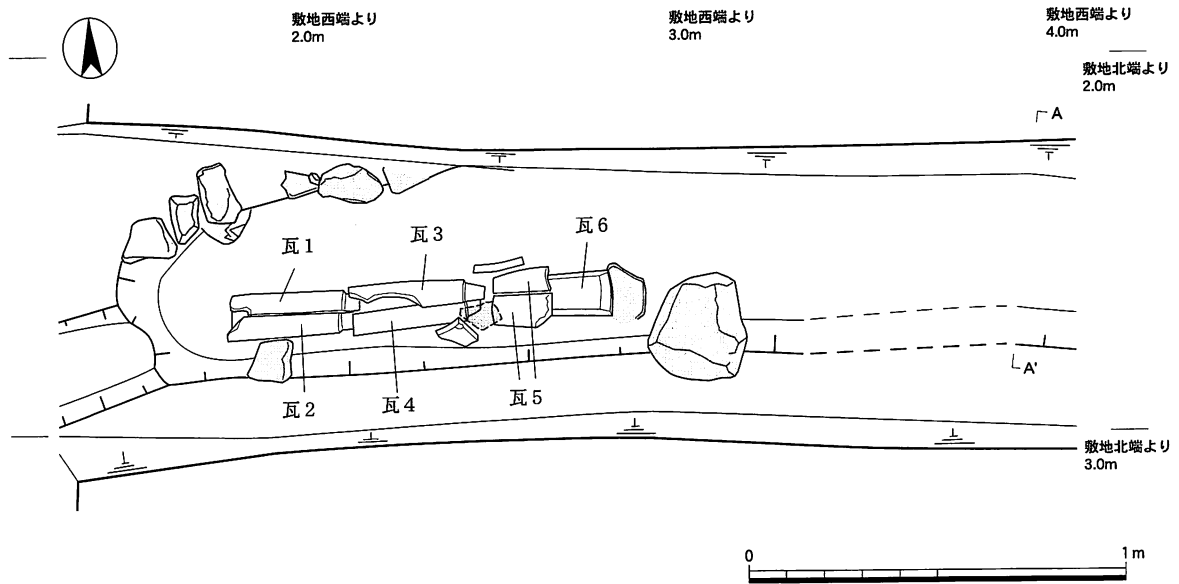


図19 遺構平面図 (1 : 20)

し西側と中央の二組は広端面を西に向け玉縁と広端面を組み合わせ接合しているが、東側の一組のみ広端面を東に向け、中央の組と玉縁同士で接しているだけで組み合わさっていない。それでは安定が悪いので石と平瓦を使って固定していたようである。この東側の瓦の広端面の下には平たい石が敷かれており、広端面から排出される水を受ける石のようにも考えられ、そうだとすればここが出口となる。出口であるがゆえに組み合わせを無視して広端面を口にしているのかもしれない。暗渠の内部からは平安時代末期から鎌倉時代の土師器皿が出土しているが、溝の埋土から平安時代末期から室町時代の遺物が出土しているので、時期の特定はできなかった。

暗渠の東側には水の行く道を塞ぐように0.3m大の石がある。これが暗渠に伴うものか、偶然置かれたものかは不明である。

また東西方向の溝の西端にはこの溝に流れ込む幅0.25m、深さ0.05mの小規模な東西溝を0.4mに渡って検出している。この溝の流れ込む位置がちょうど瓦組暗渠の西端にもあたっており、暗渠に流し込む溝の可能性も考えられる。

遺物 (図版34、図21・22)

遺物は、すべて東西方向の溝の埋土と瓦組暗渠のものである。土器類と瓦類である。

土師器皿 (3) は瓦組暗渠の西側の組の瓦内から出土した平安時代末期から鎌倉時代のものである。

土師器皿 (4~7) は東西方向の溝の埋土から出土した平安時代末期から鎌倉時代のものである。(8)のみ溝の埋土から出土した室町時代のものである。

須恵器鉢 (9) も東西方向の溝の埋土から出土した平

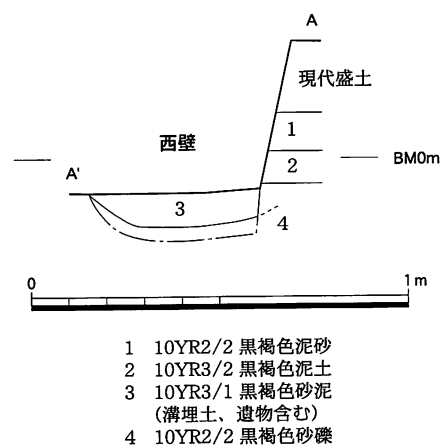


図20 A地点柱状断面及びA-A'溝断面図 (1 : 20)

- 1 10YR2/2 黒褐色泥砂
- 2 10YR3/2 黒褐色泥土
- 3 10YR3/1 黒褐色砂泥 (溝埋土、遺物含む)
- 4 10YR2/2 黒褐色砂礫

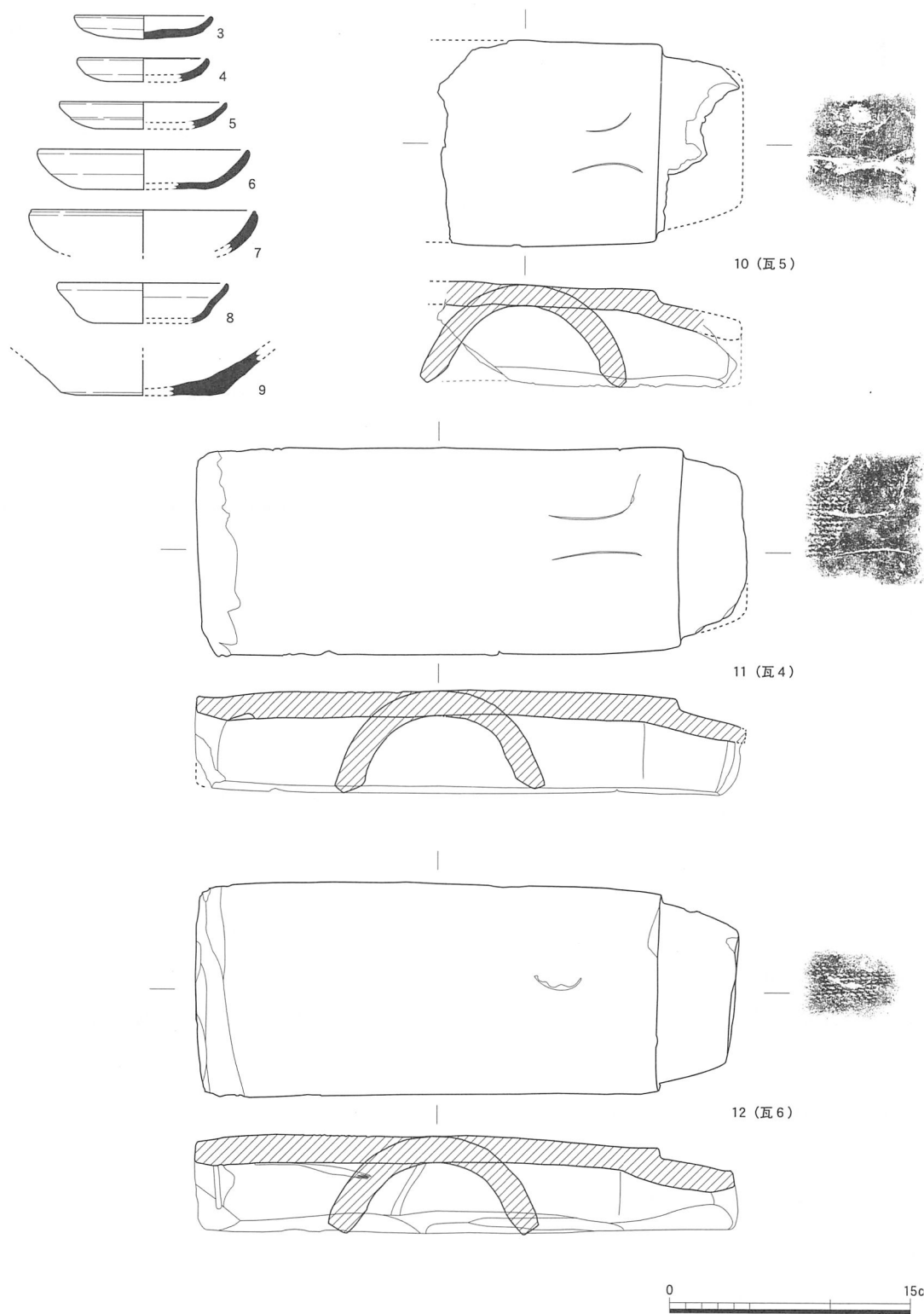


図21 出土土器・瓦実測及び拓影図（1：4）

安時代末期から鎌倉時代のものである。内面に二次焼成を受けている。

丸瓦（10～15）はすべて瓦組暗渠に使用された平安時代末期から鎌倉時代のものである。暗渠の西側が（13）と（14）、中央が（11）と（15）、東側が（10）と（12）の組み合わせになっている。（10～12）には凸面玉縁側にヘラ記号がみられる。

まとめ (図19)

今回検出した東西方向の溝及び瓦組暗渠は、検出した地点が西大宮大路西築地推定ライン上にあたり、築地を横断する形で東西方向に遺構を検出しているところから、二町内の邸宅から西大宮大路に排出する水路の可能性を考えることが出来る。

ただ排水施設の割りに丸瓦同士の接合を縦向きにしたり（西側と中央）、玉縁同士を接合するなど、漏水に配慮していない。

調査地の北側の試掘調査^{註2}で検出された河川は、そのまままっすぐ南下すれば、当調査地にあたる。今回の調査ではこの河川を確認することはできなかったが、同じように築地を横断する河川 (SD3) から引き込む溝 (SD1・2) を検出している。さらなる今後の調査に期待したい。

(吉本健吾)

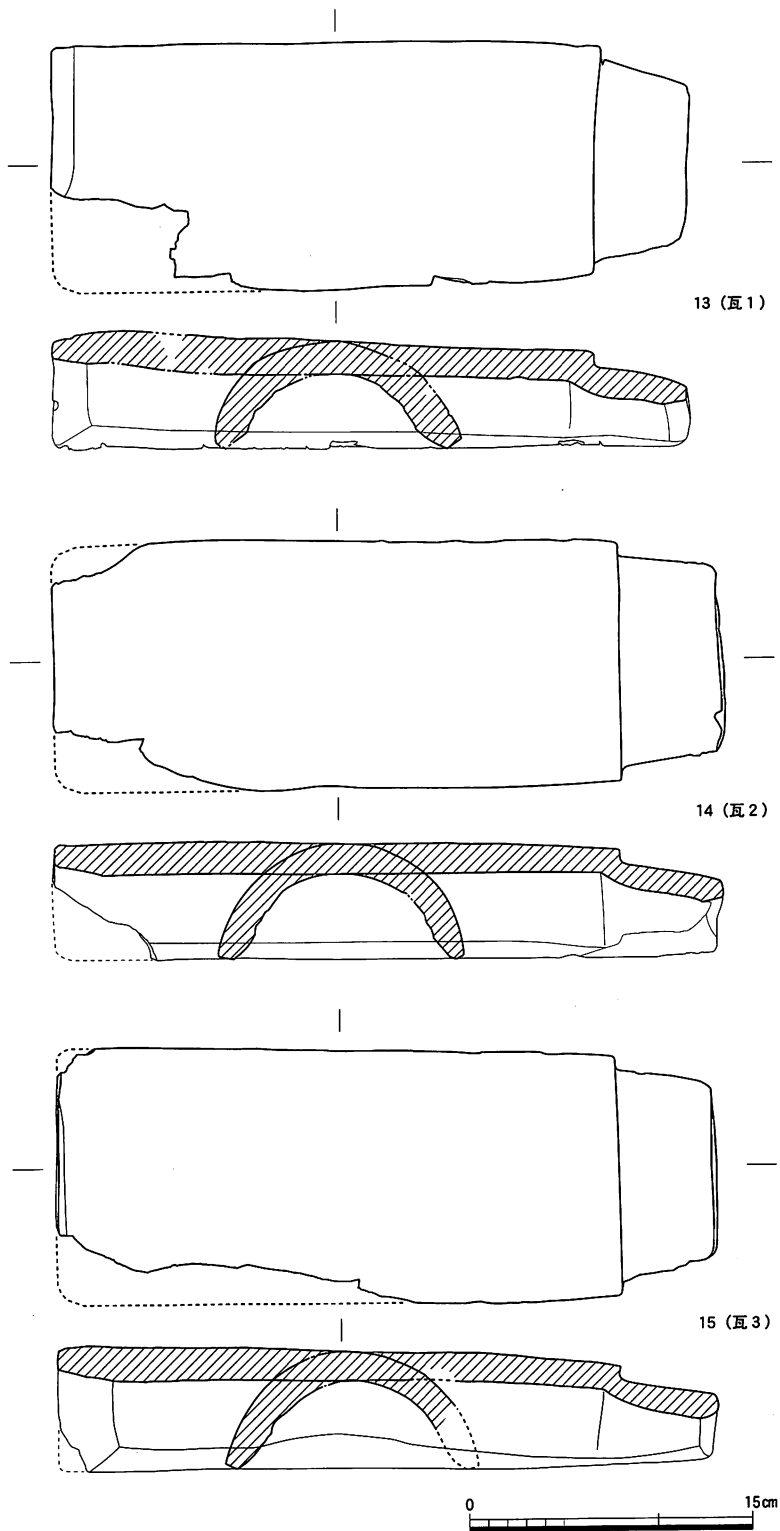


図22 出土瓦実測図 (1 : 4)

註1 平方幸雄「右京二条二坊 (1)」『平安京跡発掘調査概報 昭和56年度』京都市文化観光局 1982年

註2 家崎孝治「右京二条二坊 (HR81)」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和57年度』京都市文化観光局 1983年

6 平安京右京二条二坊十五町 (07HR56)

調査経過 (図23)

中京区西ノ京中御門東町40-2、40-3、40-4、40-5の一部における共同住宅に伴う立会調査である。調査地の全体が平安京右京二条二坊十五町の西端中央に推定され、大將軍社領にあたる。十五町内では中央のやや北よりで2000年に発掘調査^{註1}が行われ平安時代前期の井戸、土坑などを検出している。

調査は2007年5月14日から21日まで行い平安時代の遺物を含む東西方向の溝を検出した。

遺構 (図版31、図24・25)

調査地の基本層序は、調査地の東側No.1地点でBM+0.69mから+0.23mまでが現代盛土層、+0.23m以下褐色粘土の地山となる。東西方向の溝はこの地山を切って成立している。

溝はNo.1地点と西へ約12.5m離れたNo.2地点の断面で検出した。また中間のNo.3地点では南肩のみを確認している。溝の規模はNo.1地点では幅2.7m、深さ0.45mを測り、No.2地点では幅1.1m、深さ0.25mを測る。No.2地点で幅が狭く、深さが浅くなっているのは上部が削られたため

だと考えられる。底部はNo.1地点がBM-0.21mで、No.2地点がBM-0.53mで西へ向って下っており、道祖大路東側溝への排水路と考えられる。埋土はNo.1地点では2層に分層することができ、上層からは平安時代の須恵器甕・鉢、平瓦、下層からは平安時代前期から後期の土師器皿・甕、須恵器甕・壺、丸・平瓦が出土している。No.2地点では平安時代前期から中期にかけての土師器皿、須恵器甕、緑釉陶器皿、灰釉陶器短頸壺、丸・平瓦が出土している。No.3地点では平安時代の土師器、須恵器甕、緑釉陶器椀、黒色土器が出土している。

また南西付近のNo.4地点ではBM-0.34mで地山を切って幅0.33m、深さ0.35mの土坑を1基検出している。埋土には土師器の微片が確認できるのみであった。

遺物 (図26)

遺物は、東西方向の溝を検出した3箇所の地点の溝の埋土から出土している。ここではNo.2地点の遺物を報告する。

(16・17) は平安時代中期の土師器皿である。

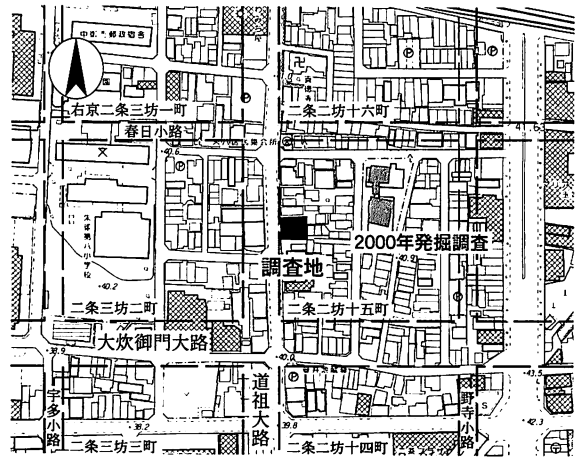


図23 調査位置図 (1 : 5,000)

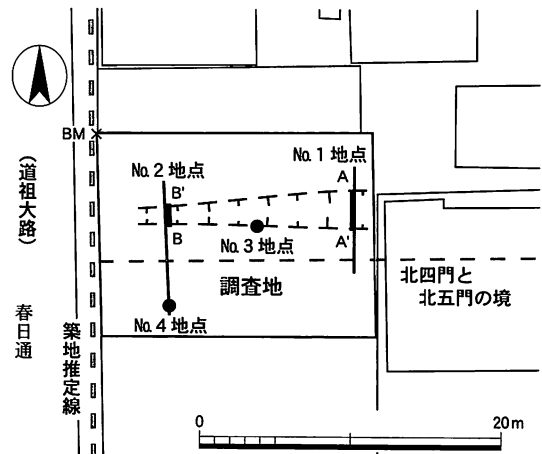


図24 遺構位置図 (1 : 500)

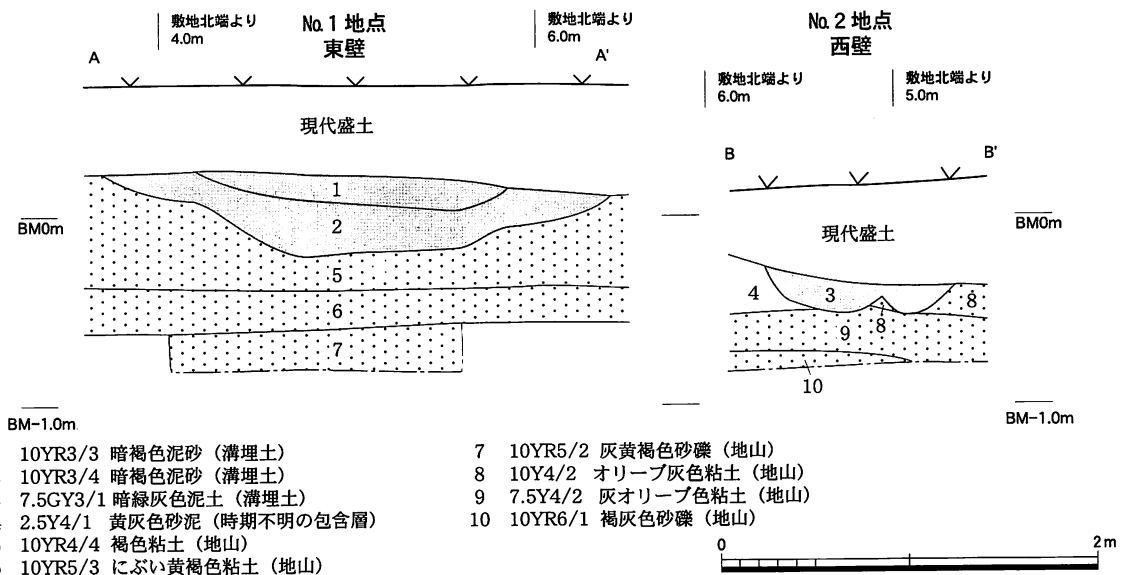


図25 遺構断面図 (1 : 40)

(18) は土師器甕の口縁部から肩部にかけての破片である。

(19) は緑釉陶器皿の底部の破片である。

(20) は灰釉陶器短頸壺の口縁部から肩部にかけての破片である。

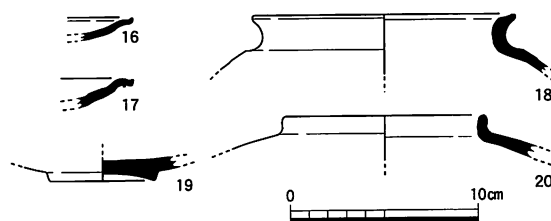


図26 出土土器実測図 (1 : 4)

まとめ

今回検出した東西方向の溝は、一町内の南北中央を区画する推定ラインの北側約3mの位置を東西に流れていることになる。これは小径の北側溝とも考えられる。今後のこの近辺の調査に期待したい。

(吉本健吾)

註1 平田泰「平安京右京二条二坊(2)」『平成12年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2003年

7 平安京右京八条二坊十町 (06HR494)

調査経過 (図27)

下京区七条御所ノ内北町97における共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の北西部が平安京右京八条二坊十町の南東角に位置し、平安時代後期には参議修理大夫藤原忠能の邸宅の一部及び所領と推定されている。また調査地の南半は八条坊門小路、東側は西堀川小路に位置している。調査地の北隣接地では1983年に試掘調査(83HR9)を行い、平安時代中期の西堀川小路西側溝と推定される南北溝を検出している^{註1}。また1997年には調査地の西隣接地で立会調査(97HR108)を行い室町時代や平安時代の包含層を検出している^{註2}。

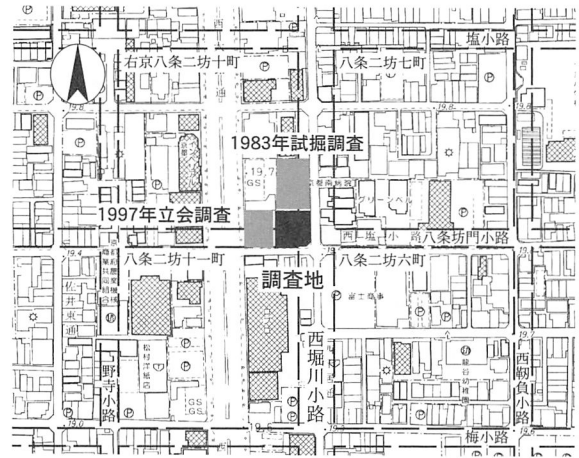


図27 調査位置図 (1 : 5,000)

調査は2007年2月20日から27日まで行い、平安時代前期の遺物を含む溝の埋土と考えられる堆積層を検出した。

遺構 (図28~30)

調査地の基本層序は地表下-0.5mまで現代盛土層、-0.5mから-0.6mまでが黒色砂泥層、-0.6mから-0.8mまでがオリーブ黒色砂泥層、-0.8mから-1.0mまでが灰色砂礫層、-1.0mから-1.17mまでが黄灰色微砂層である。-1.17mから-2.15mは黄灰色泥土の湿地状堆積となり、-2.15m以下は褐色砂礫の地山となる。

遺構は-0.6mから-1.17mの3層で、溝の堆積層と思われる。上

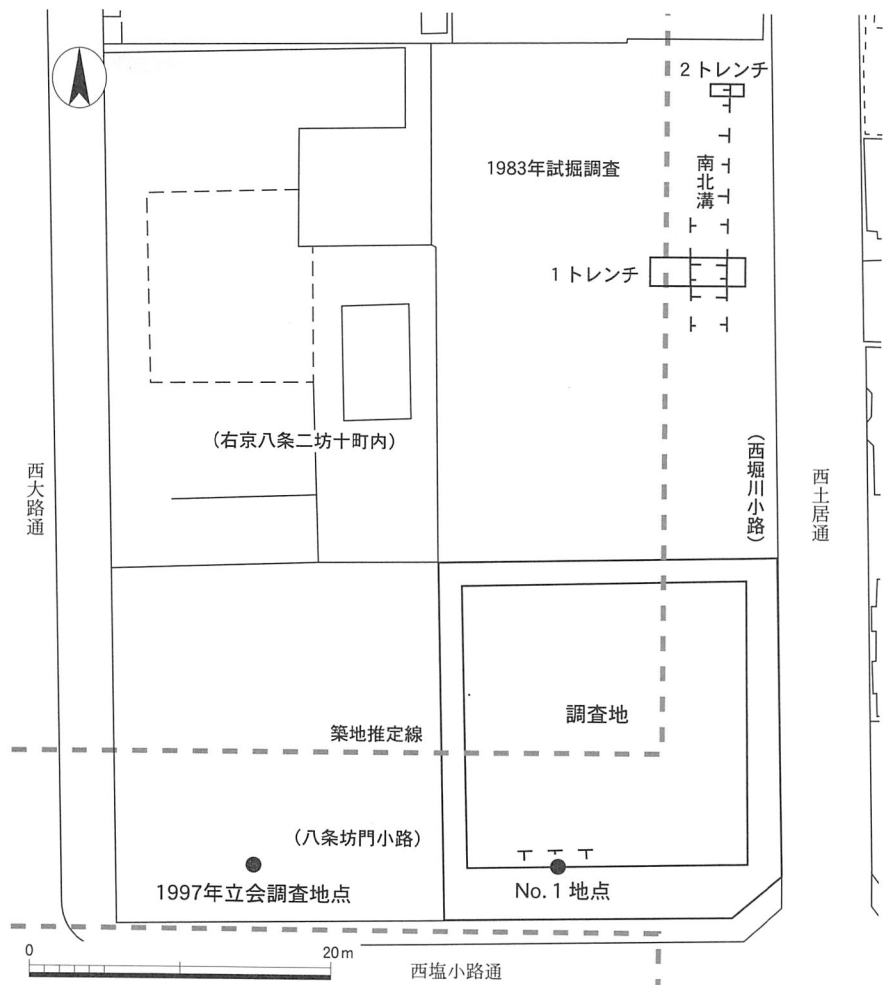


図28 遺構位置図 (1 : 500)

層の砂泥層からは平安時代前期の須恵器壺が出土している。この層は調査地の南側の工事掘削壁面に沿って東西方向に約5m程続いているのが確認でき、東西方向の溝状遺構と考えられる。

また北隣で1983年に試掘調査^{註1}（83HR9）で検出した西堀川小路西側溝に推定される南北溝の南延長部分が、今回の調査地にあたるはずであったが、立会調査時には既に推定部分の掘削は終了しており検出はできなかった。

まとめ

今回検出した東西方向の溝の埋土と考えられる堆積層は、検出地点が推定の八条坊門小路南築地付近に位置し、同小路の南側溝に当たると考えられる。

1997年の西隣接地での立会調査^{註2}（97HR108）でも、今回のNo.1地点から西へ約20mの地点で、地表下-0.7mから-1.2mで黒褐色泥土層3層と灰色微砂層を検出している。今回検出した間層の砂礫層はみられないが、上層に平安時代の遺物を含む泥土層があり、最下層が微砂層であり、今回検出した堆積と類似しており、八条坊門小路南側溝として更に西に続いていることが確認できると考えられる。北隣接地でも1983年の試掘調査^{註1}（83HR9）で西堀川小路西側溝を検出しているなど、この付近では条坊関連の遺構の残存状態が良く、今後の調査に期待したい。

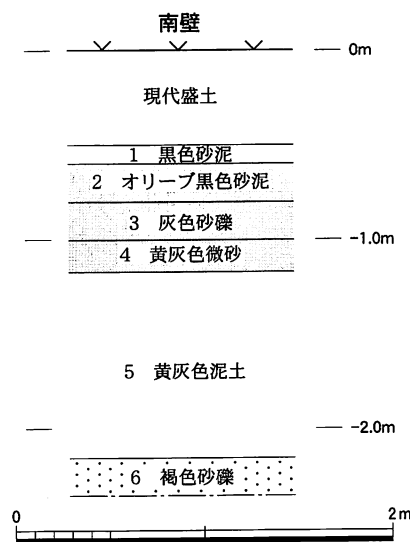


図29 No.1地点柱状断面図（1：40）

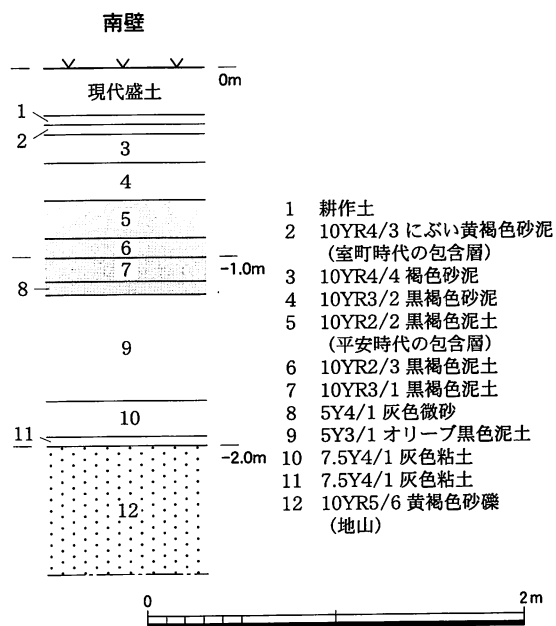


図30 1997年立会調査柱状断面図（1：40）

（吉本健吾）

註1 調査一覧表『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和58年度』京都市文化観光局 1984年

註2 調査一覧表『京都市内遺跡立会調査概報 平成9年度』京都市文化市民局 1998年

Ⅲ その他の遺跡

1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)

調査経過 (図31)

東山区茶屋町527の京都国立博物館の旧本館の耐震性能診断のための調査に伴う立会調査である。当地は平安時代の法住寺殿跡、鎌倉時代の六波羅政庁跡に位置し、また桃山時代の方広寺跡に隣接する。京都国立博物館内の発掘調査では1998年の新館建替え計画による調査で^{註1}方広寺の南門跡、東西方向の石垣などを検出している。また、立会調査でも2000年の旧本館の北側の仮設収蔵庫及び仮設事務所の建築工事の立会調査^{註2} (00RT391) で南北方向の石垣を検出している。

調査は2007年8月27日と28日に行い、南北方向の石垣を検出した。

遺構・遺物 (図版32・35、図32～34)

耐震性能診断のための調査の掘削は3箇所で行われ、石垣を検出したのは旧本館建物内の北側の床下の調査である。基本層序は標高42.02mから41.54mまでが近代盛土層。おそらく旧本館建設時の整地層と考えられる。記録によると1891年(明治24年)に旧本館建設に伴う地均し工事が行われている。^{註3}この層は石垣より西では

傾斜を持ち約0.3m程下っていく。標高41.54mから41.42mはにぶい黄褐色砂泥層となる。41.42m以下が石垣及び裏込の層となる。石垣西側は標高40.78mまでにぶい黄褐色砂泥層となる。この層からは江戸時代末期の白磁椀、菊丸瓦(21)、土製品人形が出土している。40.78m以下はにぶい黄褐色粘土となる。なお、裏込の東側(標高41.42m)で明黄褐色粘土の地山を検出している。

石垣は、幅0.4m以上、高さ0.67m以上で2段を検出した。石は西向きに面を持ち南北方向である。上部の石は幅0.4m以上、高さ

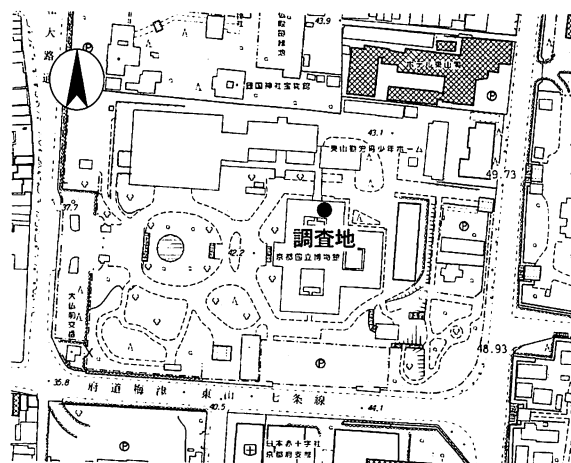


図31 調査位置図 (1 : 5,000)



図32 遺構位置図 (1 : 500)

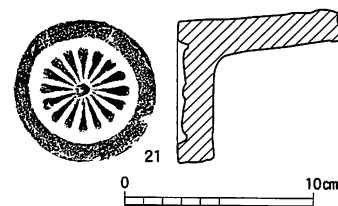


図33 菊丸瓦実測及び拓影図 (1 : 4)

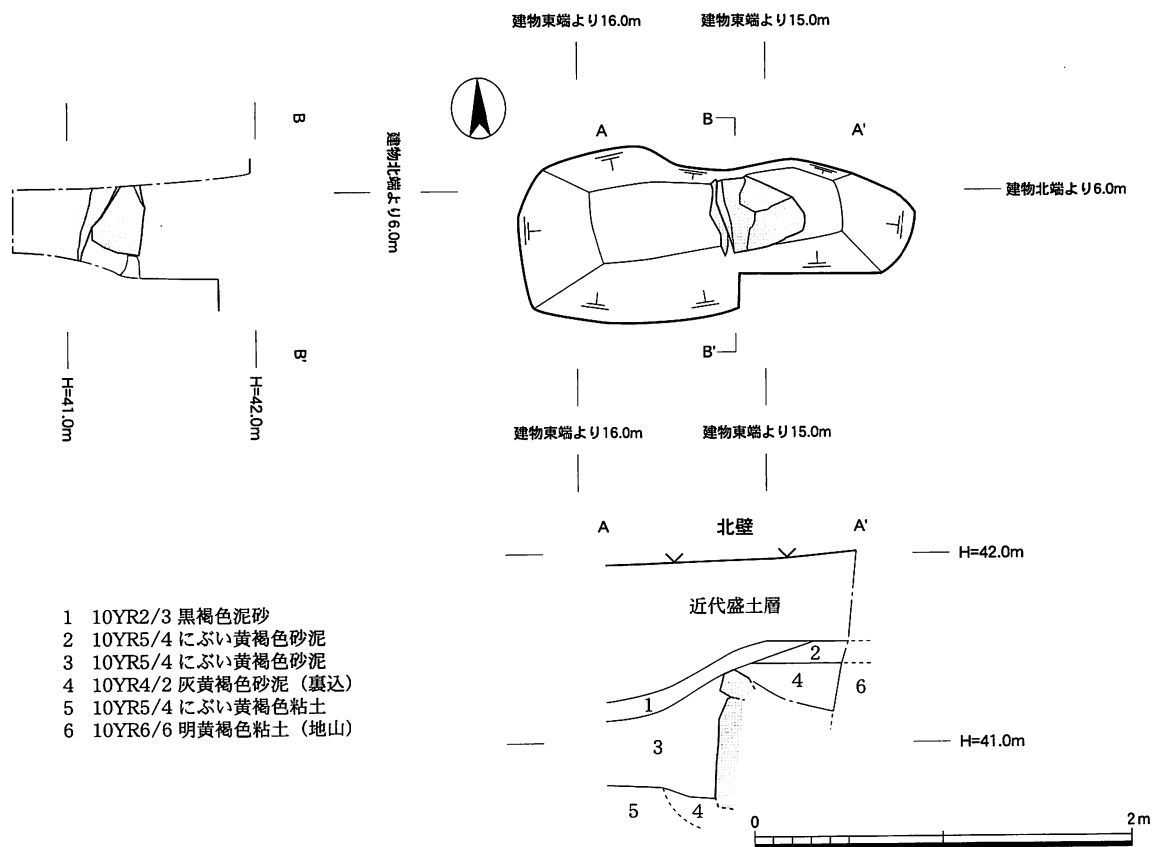


図34 石垣平面・断面及び見通し図（1：40）

0.3m、奥行き0.42m以上を測り、下部の石は幅0.4m以上、高さ0.55m以上を測る。裏込は上部の石の部分で石の面から0.6mの幅を持つ。あまり栗石は含まれておらず、瓦片が2点出土した。1点は方広寺の時期のものと思われるが、もう1点は時期の特定には至らなかった。

まとめ（図35）

今回検出した南北方向の石垣の延長にあたる北へ約20mの地点で、2000年に立会調査^{註2}（00RT391）を行い、西向きに面を持つ南北方向の石垣を約4mに渡って検出している。この時の石垣は1段のみを確認し、この石垣から約1m離れた地点で石垣と平行に置かれた丸太を検出している。この石垣と丸太の間を溝として利用していた可能性がある。また裏込には焼けて赤変した花崗岩などが見られる。しかしこの石垣も明確な時期の特定はできていないが、おそらく今回検出した石垣の延長ではないかと考えられる。この付近は東から西へ下っていく傾斜のある地形であり、石垣はその地形を段状に整地するためのものであると考えられる。

1798年（寛政十年）に方広寺が落雷により焼失し、1870年（明治3年）に明治政府によってこの地に恭明宮が建設されている。今回検出した石垣が、方広寺に関連するものか、恭明宮に関連する遺構かは明確にすることはできなかった。今後の調査に期待したい。

（吉本健吾）

註1 田中利津子・近藤知子・大立目一「六波羅政庁跡」『平成10年度 京都市埋蔵文化財調査概要』（財）

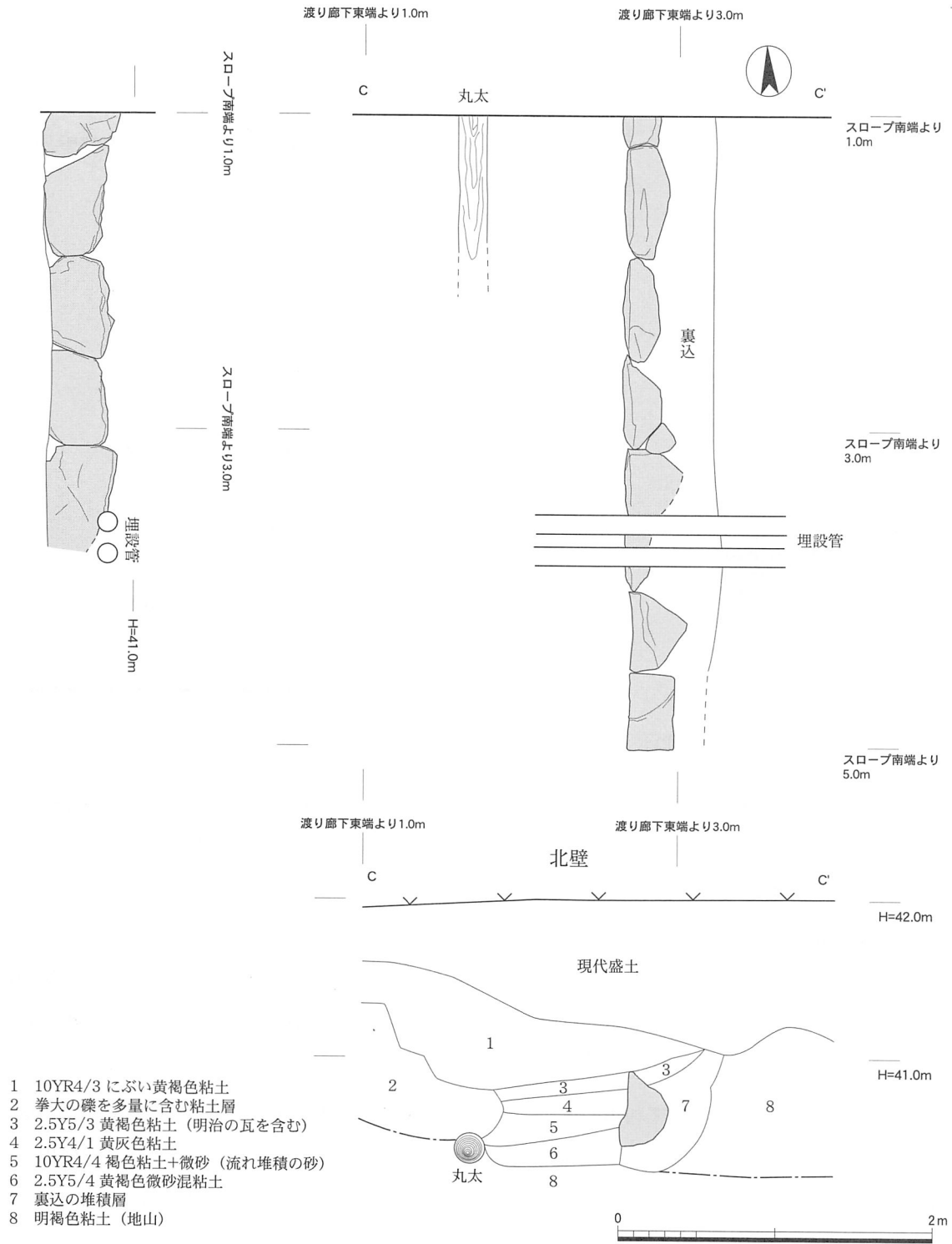


図35 2000年立会調査検出の石垣平面・断面及び見通し図 (1 : 40)

京都市埋蔵文化財研究所 2000年

註2 調査一覧表『京都市内遺跡立会調査概報 平成13年度』京都市文化市民局 2002年

註3 『京都国立博物館百年史』京都国立博物館 1997年

2 上久世遺跡 (07MK9)

調査経過 (図36)

南区久世上久世町337番地で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査である。調査地は上久世遺跡の東部分にあたる。調査地の西隣では1994年に発掘調査を行い弥生時代中期から古墳時代の竪穴住居跡を検出している。

調査は2007年9月10日と12日に行い、古墳時代の竪穴住居跡2基と時期不明のピット群を検出した。

遺構 (図版33、図37～39)

基本層序は、BM-0.8mまでが現代盛土層、-1.0mまでが耕作土、以下は黄褐色砂泥の地山となる。竪穴住居跡はこの地山層上面で検出した。

竪穴住居跡はいずれも調査地南壁で検出した。南西隅 (No.1 地点) の竪穴住居跡は、BM-1.0mで東側の一部のみを確認し幅0.75m以上、深さ0.26mを測る。壁溝は幅0.15m、深さ0.09mある。また南東隅 (No.2 地点) の竪穴住居跡は、BM-0.97mで幅1.97m、深さ0.26mを測り、東西で壁溝を確認している。共に床用入土にあたるものはみられない。No.1 地点の竪穴住居跡の埋土からは布留式併行期の土器が出土している。No.2 地点の竪穴住居跡の埋土からは6世紀前半の遺物が出土している。

ピット群は、調査地南側No.3 地点のBM-0.97mで黄褐色砂泥の地山上で検出した。直径0.11m~0.18m、深さ0.05m~0.1mのピット5基が、直径約2m程の半円状に約1mの間隔で並んでいる。その状況から床面まで削平を受けた竪穴住居の柱穴と考えられる。ピットの埋土からは1基 (Pit 3) で庄内式併行期の土器、2基 (Pit 4・5) で時期不明の土器が出土している。

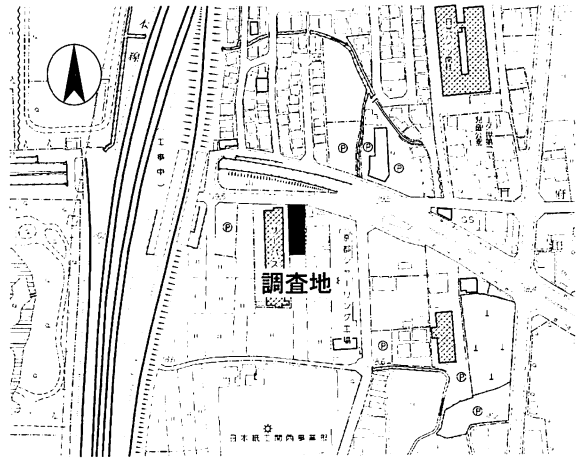


図36 調査位置図 (1 : 5,000)

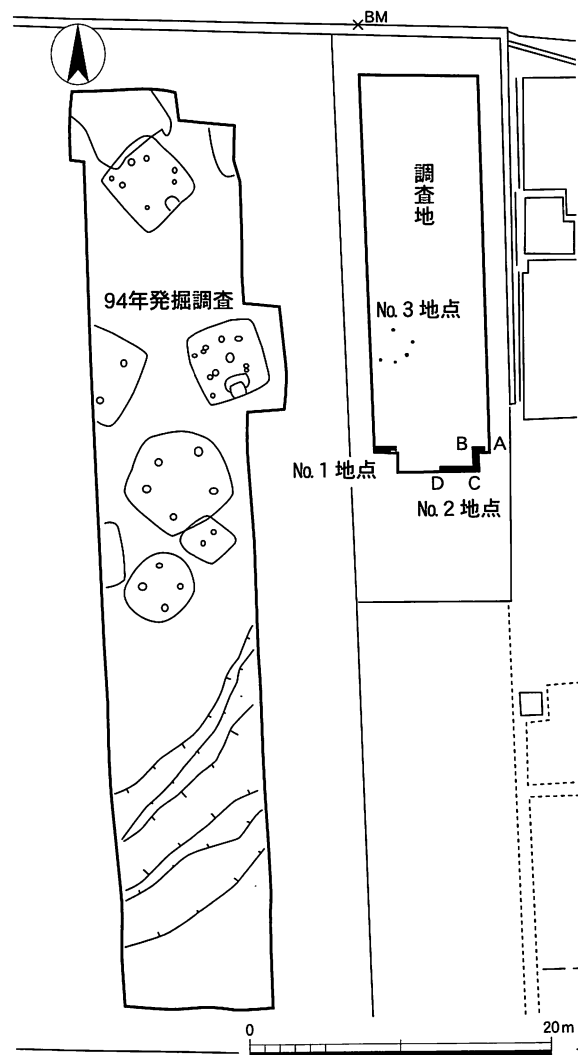


図37 遺構位置図 (1 : 500)

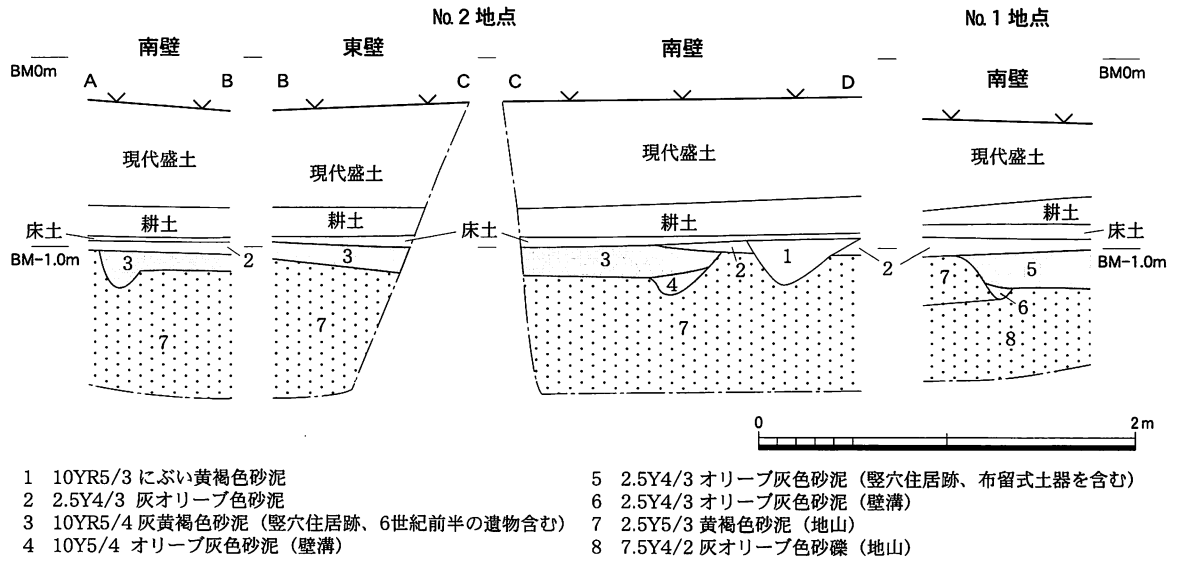


図38 No. 1・2 地点遺構断面図 (1:40)

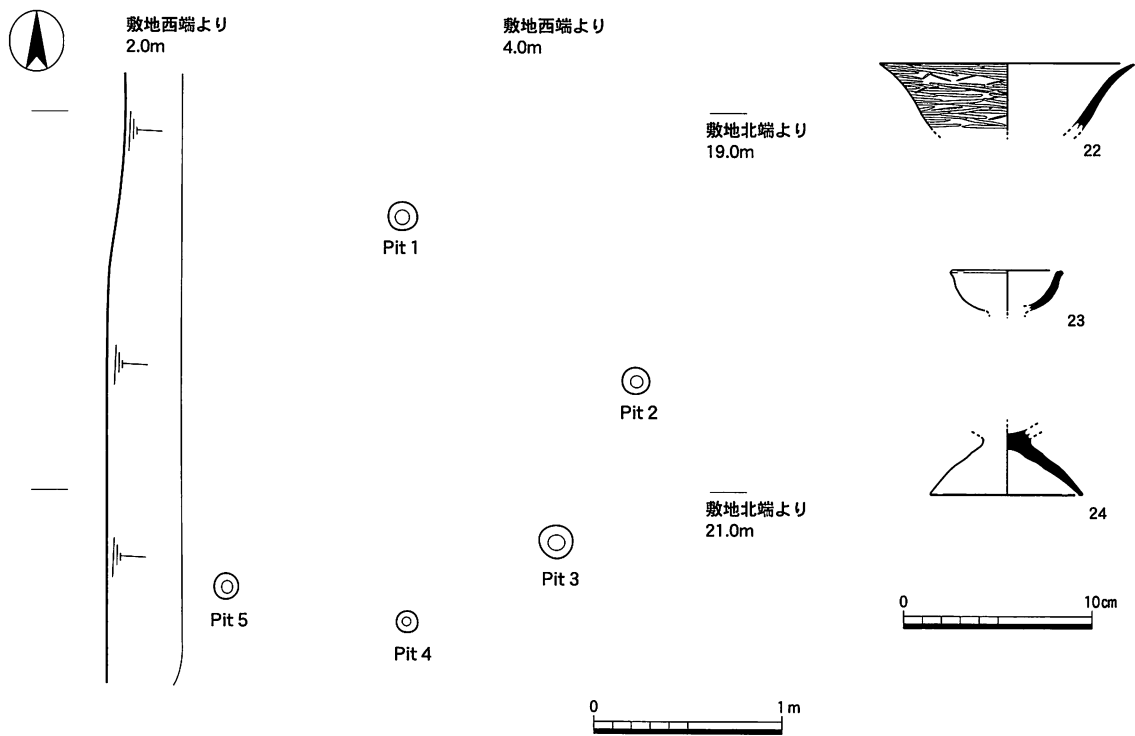


図39 No. 3 地点遺構平面図 (1:40)

図40 出土土器実測図 (1:4)

遺物 (図版35、図40)

遺物は、竪穴住居跡・ピット群から出土しているが、いずれも小片である。No. 1 地点の竪穴住居跡からは布留式併行期の甕・高坏 (22) ・器台 (23・24) が出土している。いずれも摩滅が著しく、(22) のみ口縁部外面に横方向のヘラミガキが確認できた。No. 2 地点の竪穴住居跡からは6世紀前半の土師器甕、須恵器蓋が出土している。他には小片であるがピット (Pit 3) から庄内式併行期の甕が出土している。

竪穴住居跡一覧

番号	名称	時代	調査	番号	名称	時代	調査
1	B区1号住居跡	弥生時代	註2	11	SB26	弥生時代	註1
2	B区2号住居跡	弥生時代	註2	12	SB40	弥生時代	註1
3	E区1号住居跡	古墳時代	註2	13	SB27	古墳時代	註1
4	E区2号住居跡	古墳時代	註2	14	SB28	古墳時代	註1
5	E区3号住居跡	古墳時代	註2	15	SB55	古墳時代	註1
6	1号住居跡	弥生時代	註3	16	SB60	古墳時代	註1
7	3号住居跡	古墳時代	註3	17	SB90	古墳時代	註1
8	4号住居跡	古墳時代	註3	18	SB115	古墳時代	註1
9	5号住居跡	古墳時代	註3	19	No.1地点	古墳時代	本報告
10	6号住居跡	古墳時代	註3	20	No.2地点	古墳時代	本報告

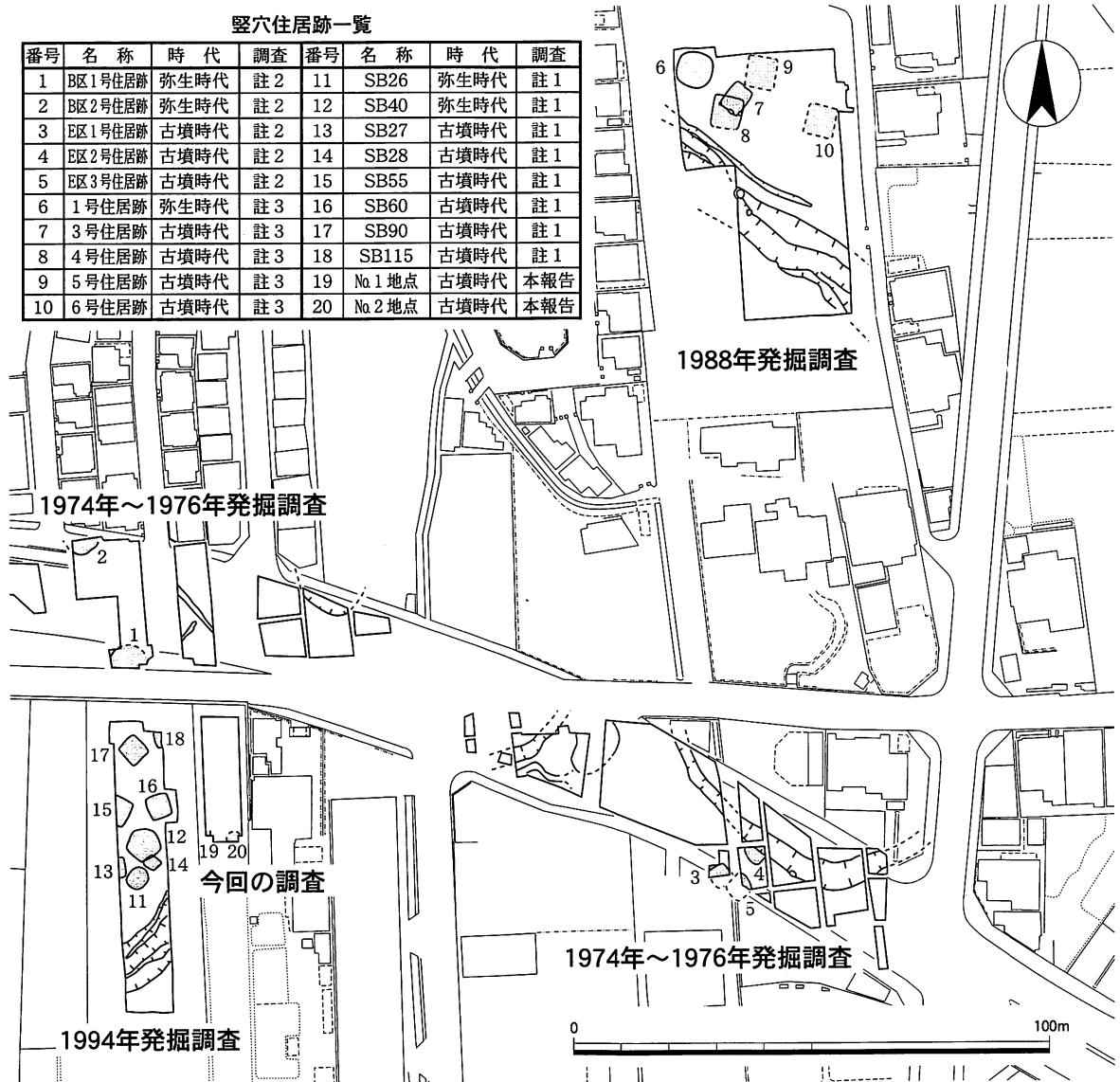


図41 上久世遺跡発掘調査検出竪穴住居跡位置図 (1 : 1,500)

まとめ (図41)

今回の調査地の南側では、古墳時代の竪穴住居跡2基とピット群を検出した。しかし、北側では遺構の検出はできなかった。旧地形が北へ高くなり、遺構が削られてしまった可能性が考えられる。

上久世遺跡では1974年から1976年の道路建設に伴う発掘調査^{註2}で弥生時代2基、古墳時代3基の竪穴住居跡を検出したのに始まり、1988年の発掘調査と1994年の発掘調査^{註3}で竪穴住居跡^{註1}を検出しており、今回の調査で20基の竪穴住居跡を検出したことになる。 (吉本健吾)

註1 上村和直・出口勲「上久世遺跡」『平成5年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1996年

註2 六勝寺研究会『上久世遺跡発掘調査報告 1976年3月』京都市建設局 1976年

註3 吉崎伸「上久世遺跡」『昭和62年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1991年

IV 主要な出土遺物

1 金箔巴文軒丸瓦 (07HL124)

平安京左京二条三坊三町 (図版35、図42～44)

中京区釜座通竹屋町下る亀屋町330、334-1、334-3で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、金箔巴文軒丸瓦を採集したので報告する。

金箔巴文軒丸瓦は調査地の北西部付近の現代盛土層を削平した地表下-1.3mの面で採集した。この面の下層は-1.73mまで近世の棧瓦を含む層を確認している。しかし、この地点より約3m南東地点の断面観察では-0.8mと-1.05mで江戸時代前期、-1.4mで室町時代後期の包含層を検出しており、採集した瓦は、江戸時代前期の包含層に含まれていたものが、近現代の削平で盛土層に混入した可能性が考えられる。

金箔巴文軒丸瓦 (25) は、瓦当の4分1が残るのみで、復元直径は15cmと考えられる。金箔は瓦当凸面に貼られ、一部下塗りの赤漆が確認できる。瓦当文様は右巻きの巴に珠文を密に配し、金箔を強調するためか周縁を2.4cmと幅広くしている。

調査地は平安京左京二条三坊三町の北西部にあたり、金箔瓦が使用された桃山時代の聚楽第跡からは南東方向に約750m程はなれた地点に位置している。この付近での金箔瓦の出土例はあまりなく、聚楽第の関連施設の広がりを考える上で重要な資料となるだろう。

(吉本健吾)

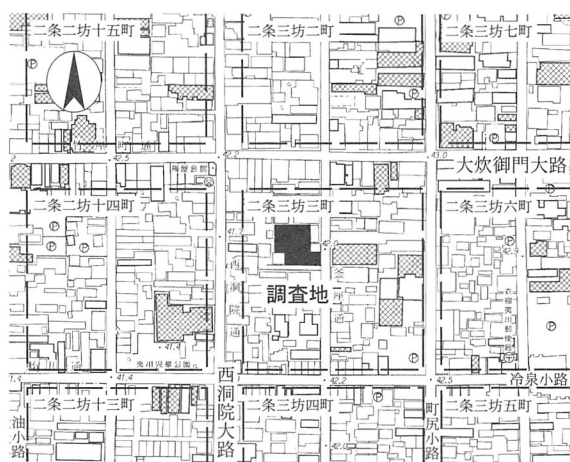


図42 調査位置図 (1 : 5,000)

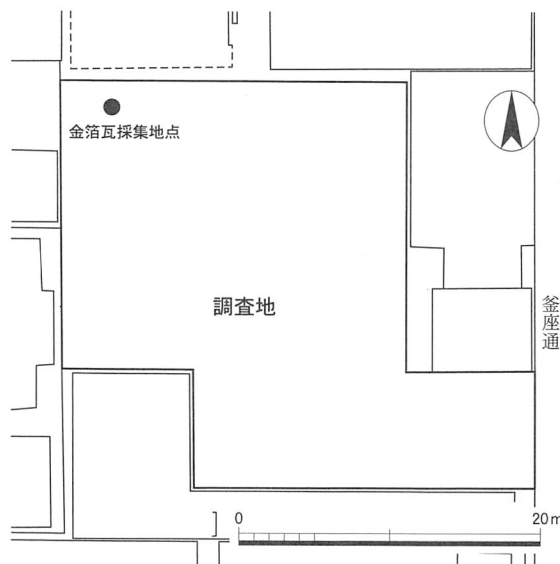


図43 遺構位置図 (1 : 500)

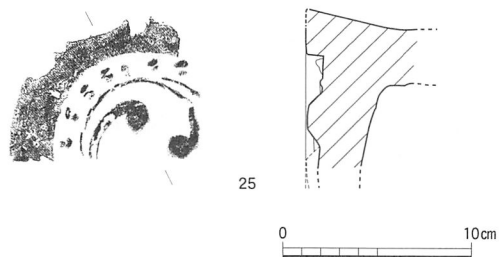


図44 金箔巴文軒丸瓦実測及び拓影図 (1 : 4)

2 唐草文軒平瓦 (07HL126)

平安京左京四条二坊九町 (図版35、図45~48)

中京区三条通油小路下る三条油小路町172番2で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、唐草文軒平瓦を検出したので報告する。

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土層、-0.6mから-0.92mまでは近世層、-0.92mから-1.17mまでが平安時代末期から鎌倉時代の包含層、-1.17mから-1.4mは平安時代の包含層、この包含層を切って幅1.0m、深さ0.36mの平安時代後期の土坑を検出した。そして-1.76m以下が灰オリーブ色粗砂の地山となる。

報告する唐草文軒平瓦 (32) は平安時代後期の土坑から出土したものである。他に土師器 (26~31) が多量に出土している。

軒平瓦 (32) は瓦当部の右端のみの破片である。瓦当面に布目混の残る折り曲げ式技法のものである。瓦当面を除く部分に煤が付着し焦げ跡がみられる。調査地の左京四条二坊九町の東

部には左中将源雅通の邸宅があり、天養元年 (1144年) 3月22日に火災で焼失したとある。^{註1} 土師器には2次焼成の痕跡はみられず、この軒平瓦を邸宅火災と結びつけるのは早計であるが、同時期の軒平瓦である。

(吉本健吾)

註1 『新訂増補 國史大系 第九卷 本朝世紀』吉川弘文館 1999年

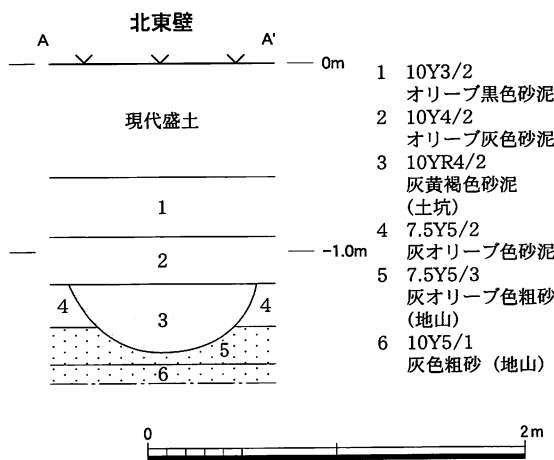


図47 遺構断面図 (1 : 40)

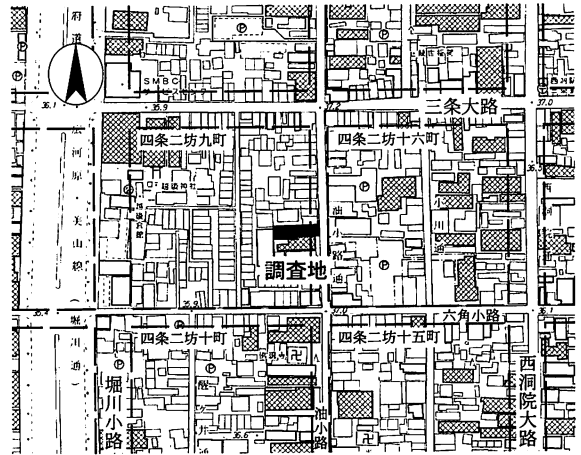


図45 調査位置図 (1 : 5,000)

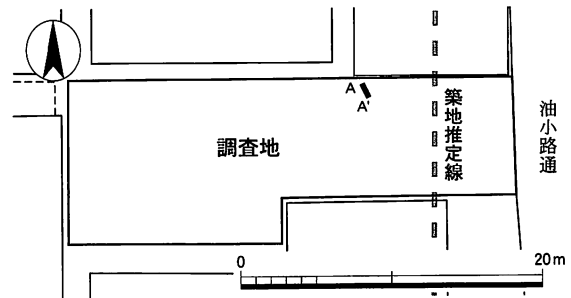


図46 遺構位置図 (1 : 500)

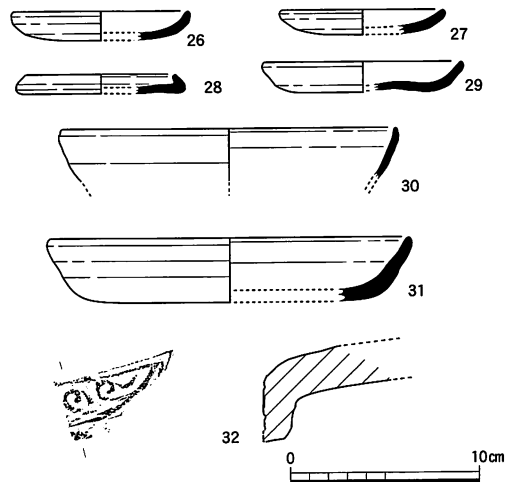


図48 出土遺物実測及び拓影図 (1 : 4)

3 弥生土器甕 (07UZ262)

村ノ内町遺跡 (図版35、図53~56)

右京区常盤出口町14-26・41で行われた児童福祉施設建築工事に伴う立会調査で、弥生時代中期の土器を検出したので報告する。

調査地は西側3分の2程が東側道路面より約1m高くなっており、基本層序はNo.1地点でBM+1.13mから+0.83mまで現代盛土層、+0.83mから+0.63mまでが包含層、+0.63m以下がにぶい黄褐色砂泥の地山となる。また調査地北西隅のNo.2地点では包含層下で東西幅0.3m以上、南北幅0.2m以上、深さ0.17mの北西に下る落込を検出している。この埋土から小片であるが庄内式併行期の波状文が施された壺の破片が出土している。

報告する甕(33)はNo.1地点の包含層から出土したものである。他には凹線文と幅の広い突帯に刻目を施した壺の頸部も出土している。

弥生土器甕(33)は、口縁部から胴部にかけての破片で、口縁は外反している。胴部は外面を細かいハケメで調整し、文様として胴部最大径付近に刺突文を巡らせている。内面は下方から上方に向って縦方向にヘラケズリしている。復元口径は15.4cmを測る。(吉本健吾)

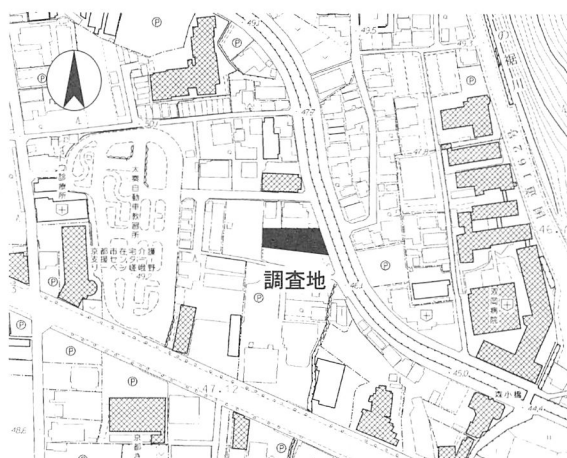
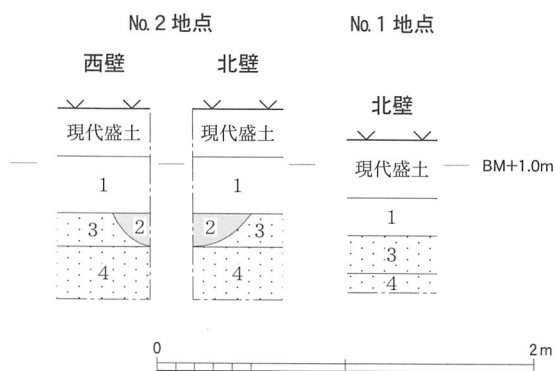


図49 調査位置図 (1 : 5,000)



- 1 10YR3/2 黒褐色砂泥 (包含層)
- 2 10YR2/1 黒色砂泥 (庄内式併行土器を含むの落込)
- 3 10YR5/3 にぶい黄褐色砂泥 (地山)
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色砂礫 (地山)

図50 遺物出土地点断面図 (1 : 40)

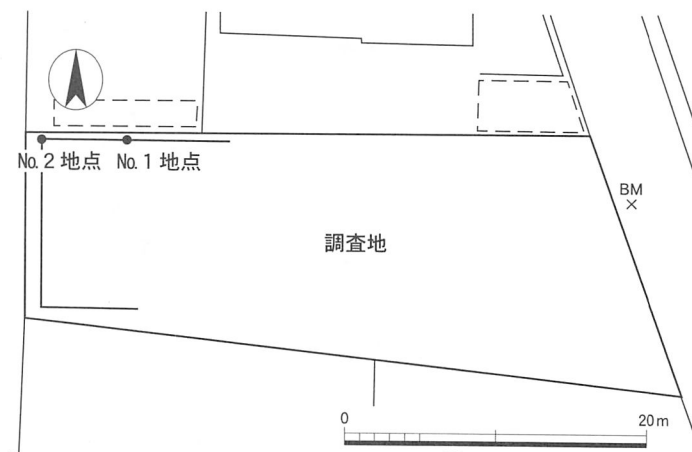


図51 遺構位置図 (1 : 500)

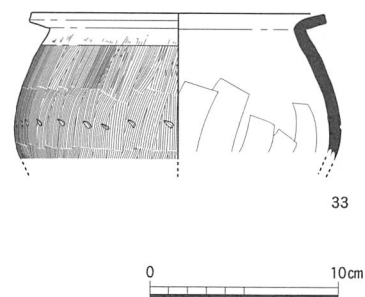


図52 弥生土器実測図 (1 : 4)

4 唐草文軒平瓦 (07KS230)

白河北殿跡 (図版35、図49~52)

左京区東丸太町16-7他で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、唐草文軒平瓦を検出したので報告する。

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土層、-0.6mから-0.95mまでが平安時代後期の包含層、-0.95m以下がにぶい黄褐色細砂の地山となる。

報告する唐草文軒平瓦 (34) は平安時代後期の包含層から出土したものである。他の出土した遺物はすべて瓦で、瓦当の残存しない軒丸瓦と平瓦である。平瓦にはヘラ記号のあるものもある。

軒平瓦 (34) は、瓦当部が左端部を失っているが全体の3分の2程残存している。瓦当面には小さな範傷が横方向に多数みられる。平瓦部には凸面に「×」と考えられるヘラ記号の一部が確認できる。

今回の調査地の東約30mの地点で1992年に発掘調査が行われ、平安時代後期から室町時代にかけての池跡を検出している。^{註1} 今回の調査で軒平瓦を検出したことは池の西側に何らかの瓦葺の施設があったことを想起させる。

(吉本健吾)

註1 吉崎伸「白河街区跡」『平成4年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1995年

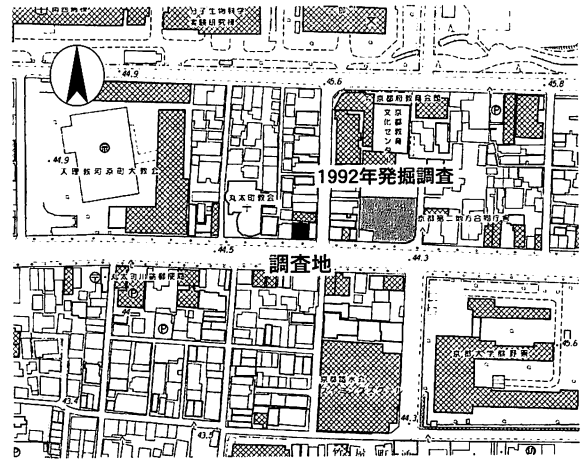


図53 調査位置図 (1 : 5,000)

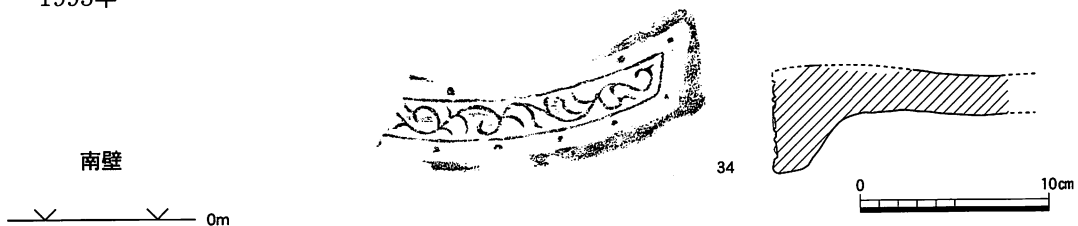


図54 軒平瓦実測及び拓影図 (1 : 4)

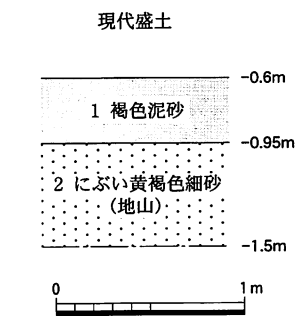


図55 No. 1 地点柱状断面図 (1 : 40)

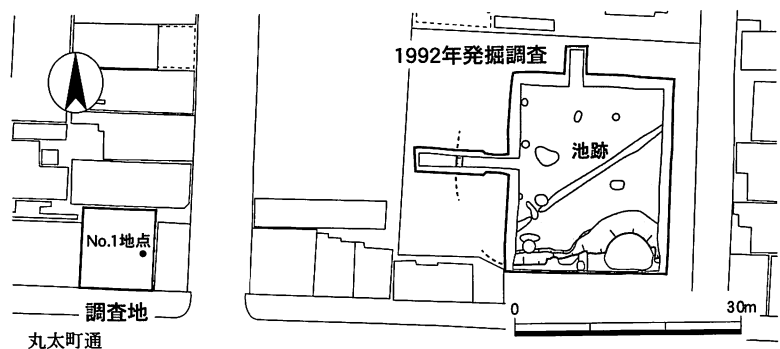


図56 No. 1 地点及び1992年発掘調査遺構位置図 (1 : 1,000)

調査一覧表

2007年 1～3月期 (平成18年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
大蔵省	上・千本通一条下る西中筋町19-61	1/30	-0.3mまで現代盛土。	06K614	HQ 473	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町 656-36、656-37	1/11	-0.35mまで現代盛土。	06K503	HQ 448	1
大蔵省	上・仁和寺街道東入西富仲町467-1の一部	2/26	-0.07mまで現代盛土。	06K663	HQ 500	1
大蔵省	上・新柳馬場頭町515、516	3/20	-0.15mまで現代盛土。	06K700	HQ 535	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町661-5	3/30	-0.5mまで現代盛土。	06K737	HQ 555	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町661-7	3/30	-0.3mまで現代盛土。	06K738	HQ 556	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町661-8	3/30	-0.3mまで現代盛土。	06K739	HQ 557	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町661-9	3/30	-0.3mまで現代盛土。	06K740	HQ 558	1
宴松原	上・六軒町通下長者町下る七番町358	1/24	-0.44m、近世以降の包含層。	06K569	HQ 465	1
宴松原	上・七本松通下立売上る七番町地先	2/26、3/13	-0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。	06K553	HQ 499	1
宴松原・掃部寮	上・七本松通出水上る三番町～ 六軒町通出水上る利生町地先	1/9～2/13	-0.67mまで現代盛土。	06K543	HQ 444	1
左近衛府 内裏	上・和泉町通上長者町西入和水町439-26	1/15	-0.45mまで現代盛土。	06K610	HQ 451	1
	上・下長者町通浄福寺西入新御幸町 51-1の一部	1/22	-0.25mまで現代盛土。	06K623	HQ 458	1
豊楽院	中・聚楽廻中町53-11	1/22	-0.25mまで現代盛土。	06K582	HQ 457	1
豊楽院	中・聚楽廻中町47-2 3番	3/16	-0.55m、江戸の包含層 (土製品泥面子)。	06K521	HQ 525	1
豊楽院	中・聚楽廻中町47-2 1番	3/16	-0.2mまで現代盛土。	06K519	HQ 524	1
豊楽院	中・聚楽廻南町8番13	3/19	-0.35mまで現代盛土。	06K608	HQ 529	1
朝堂院	上・主税町821番地2	2/16・19・ 26	No 1 ; -0.2m、江戸末期の包含層。 -0.75m、時期不明の包含層 (丸・平瓦)。 No 2 ; -0.23m、近世以降の包含層。	06K673	HQ 489	1
朝堂院	上・主税町～聚楽町地先	3/19～8/30	-0.87m以下、褐色砂泥の地山。	06K490	HQ 530	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
北辺二坊 四町	上・榊屋町、堀川下之町、 福大明神町、北舟橋町 地内	06/8/22～ 07/12/20	-0.67m、江戸前期の包含層 (土師器皿、施釉陶 器皿)。	05H420	HL 230	2・ 20-1
北辺二坊 六町	上・東橋詰町、西山崎町、中・矢幡町	06/8/1～ 07/12/20	-3.0mまで現代盛土。	05H447	HL 203	2
北辺三坊 八町	上・京都御苑3	06/11/6～ 9・13・ 16・27～ 30、12/4～ 8・14・ 18～20・ 22・25、 07/7/31	No 1 ; -0.15m、江戸後期以降の包含層。No 3 ; -0.10m、江戸後期以降の包含層。-0.45m、江 戸後期の包含層。No 4 ; -0.53m・-0.6m、江戸 後期以降の包含層 2。No 5 ; -0.42m・-0.62m、 江戸後期以降の包含層 2。No 6 ; -0.3m、江戸 後期の包含層 (土師器皿)。No 7 ; -0.3m、江 戸後期以降の包含層。No 8 ; -0.28m・-0.48m・ -0.63m、江戸後期以降の包含層 3。No 9 ; -0.66m、時期不明の路面。No 11 ; -0.3m、江戸 末期の包含層 (土師器ツボツボ)。 No 12 ; -0.1m、江戸末期の包含層。 No 13 ; -0.1m、江戸末期の包含層。	06H459	HL 369	3・ 20-1
一条二坊 八町	上・奈良物町 他地内	1/11・15、 7/25	-0.6m、時期不明の落込 (土師器)。 -0.7m、時期不明の包含層 (土師器)。	06H514	HL 449	2
一条二坊 九町	上・東堀川通上長者町下る二町目 19番1	06/12/6、 07/1/11	-0.9m以下、にぶい黄色砂礫の地山。	06H303	HL 411	2
一条二坊 九町	上・東堀川通上長者町下る二町目 19番4他	06/12/6～ 07/1/11	-0.7m、近世以降の包含層。-1.3m以下、褐色 砂礫の地山。	06H298	HL 412	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
一条三坊 六町	上・室町通下立売上る勘解由小路町164-1、168	3/16・19・23・26・28	No 1 ; -0.71m・-1.12m、近世以降の包含層。 No 2 ; -1.69m~-1.8mで褐色砂泥の地山を切つて室町の土坑(土師器皿、須恵器壺・壺、灰釉陶器碗、剣頭文軒平瓦) 2、時期不明の落込(土師器、須恵器)。	06H589	HL 526	3
一条四坊 十町	上・京都御苑1番地(京都御所)、2番地(大宮仙洞御所)	2/21、3/1・8	-0.55mまで現代盛土。	06H664	HL 496	3
二条三坊 一町	上・西洞院通丸太町上る夷川町380番地2、380番地5の1	1/29~2/26	-2.55m、鎌倉の包含層(土師器皿、須恵器)。	05H347	HL 469	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3番地	3/22・23・26~29、4/9・11	No 1 ; -0.3m、近世以降の包含層。No 4 ; -0.7mで近世以降の包含層を切つて棧瓦の瓦溜。 No 6 ; 閑院宮の池から外へ排水する溝の北側護岸の石垣の断面を検出。	06H666	HL 538	3
二条四坊 一町	上・三本木町 他	1/23	-0.27mまで現代盛土。	06H548	HL 463	3
二条四坊 三町	中・高倉通夷川上る福屋町710、711、712	3/19・23	-0.79m・-1.32m・-1.4m、近世の包含層3。	06H665	HL 531	3
二条四坊 七町	中・丸太町通柳馬場西入鍵屋町65番、堺町通竹屋町上る橘町77番1	3/15・19	-0.13m、近世の包含層。-1.02m、室町の包含層(土師器皿)。	06H556	HL 523	3
三条一坊十二町	中・西ノ京池ノ内町23-12	06/12/21~07/1/10	-1.26m、江戸末期の湿地状堆積。	06H539	HL 439	2
三条二坊 三町	中・黒門通御池下る大文字町248番地	3/6・9・12	No 1 ; -1.1m、平安後期の湿地状堆積(土師器皿、須恵器壺)。-1.6m以下、黄褐色砂礫の地山。No 2 ; -0.1m・-1.17m、時期不明の包含層(土師器) 2。	06H635	HL 514	2
三条三坊 七町	中・御池通室町西入西横町181	2/19、3/6・9	-1.95m、中世~近世の湿地状堆積(土師器皿、瓦質土器、輸入白磁、平瓦、漆器碗)。 -2.7m以下、暗緑灰色粘土の地山。	06H561	HL 490	3
三条四坊 二町	中・東洞院通押小路下る船屋町412番地	06/12/20・25、07/1/15	No 1 ; -1.12mで褐灰色泥土の湿地状堆積。 No 2 ; -2.0mで時期不明の焼土を含む暗褐色砂泥を検出。	05H551	HL 432	3
三条四坊十五町	中・御幸町通御池上る亀屋町379番1	3/27	-1.0m、近世以降の包含層。	06H400	HL 550	3
四条一坊 四町	中・壬生御所ノ内町27番1 他2筆	2/8・13	南北方向の水路の護岸を検出。本文8ページ。	06H523	HL 482	4
四条一坊 十町	中・壬生馬場町43-6、43-7、43-8、43-9、43-10	3/1	-0.2mまで現代盛土。	06H512	HL 513	4
四条三坊 八町	中・六角通室町西入玉蔵町123 他	3/8・12・14・26、4/9	-1.2m、室町の包含層(土師器皿、焼締陶器壺)。 -1.55mで灰黄褐色砂礫の地山を切つて室町の土坑(土師器皿、瓦器羽釜、焼締陶器壺)。	06H388	HL 516	5
四条三坊十二町	中・烏丸通四条上る箏町688	3/20~5/8	No 2 ; -1.0m・-1.4m、近世以降の包含層2。 No 3 ; -1.3m、平安後期の落込(土師器皿)。 No 4 ; -2.3m以下、褐色細砂の地山。	06H723	HL 534	5
四条四坊 七町	中・六角通高倉東入堀之上町129	3/22~30	-0.8mまで現代盛土。	06H709	HL 539	5
五条一坊 八町	中・壬生賀陽御所町64番1、64番15、64番14、64番25	3/23・26~28	平安前期の溝状堆積を検出。本文10ページ。	06H667	HL 543	4
五条一坊十四町	下・仏光寺通大宮西入坊門町833-1、833-6	06/12/21・25~27、07/01/11	No 1 ; -0.46m、桃山~江戸後期の南北溝(土師器皿、焙烙、肥前染付磁器・色絵磁器、施釉陶器京焼・美濃・唐津、焼塩壺)。No 2 ; -1.18m以下、褐色礫の地山。No 3 ; -1.0m、時期不明の包含層(土師器皿、瓦)。-1.52m、室町中期の包含層(土師器皿)。No 4 ; -1.1m、江戸前期の包含層(土師器皿、唐津碗、肥前磁器、瓦質土器羽釜)。-1.47m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	06H254	HL 438	4
五条二坊十六町	下・西洞院四条下る妙伝寺町699 他	2/5・7・13・26	-1.75m、江戸末期の包含層(施釉陶器、青磁伊万里碗、無釉陶器碗、平瓦)。	06H468	HL 478	4
五条四坊 七町	下・綾小路通柳馬場西入綾材木町190-5、190-6	3/26	巡回時、工事終了。	06H719	HL 547	5
六条二坊十一町	下・油小路五条下る中金仏町204-8、213-27	1/29・30、2/5	-2.9mまで現代盛土。	06H502	HL 472	4
六条三坊 九町	下・諏訪町通松原下る弁財天町325	3/12	-0.4m、近世以降の包含層。-0.5m、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。	06H633	HL 521	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
六条四坊 二町	下・東洞院通五条上る深草町580番6	2/27、3/2	№1；-2.0m、平安後期の包含層（土師器皿、平瓦）。№2；-2.15m以下、褐色砂礫の地山。	06H580	HL 507	5
六条四坊 九町	下・富小路通松原下る本上神明町452番	2/21・26、3/2	№1；-1.0m、近世の包含層。-1.3m、室町中期の包含層（土師器皿）。№2；-0.9m、江戸前期の包含層（土師器皿、瀬戸灰釉陶器皿）。-1.5m、平安末期～鎌倉初期の包含層（土師器皿、須恵器甕）。	06H452	HL 495	5
六条四坊 九町	下・富小路通松原下る本上神明町458番-2、460番	3/27・29・30、4/2・4	№1；-1.07m、江戸前期の包含層（土師器皿、白磁碗、施釉陶器）。-1.4m、時期不明の包含層（土師器）。№2；-2.0m、室町の包含層（土師器皿、須恵器甕、焼締陶器甕）。-2.5m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	06H594	HL 551	5
六条四坊十六町	下・寺町通松原下る植松町720番地	2/7	-2.73m、暗褐色細砂の氾濫状堆積。	05H644	HL 480	5
七条一坊 一町	下・西新屋敷下之町26	2/6・8	-0.7mまで現代盛土。	06H545	HL 479	6
八条四坊 二町	下・東洞院通七条下る二丁目東塩小路町563-1、685	06/10/5～07/1/15	-0.8m、時期不明の包含層（土師器）。-1.6m、暗緑灰色粘土の湿地状堆積。	06H272	HL 316	7
九条四坊 九町	南・東九条西岩本町～東九条南岩本町	06/12/4～07/2/19	-1.8mまで現代盛土。	06H481	HL 406	7
九条四坊 五町	南・東九条東河西町～東九条宇賀辺町地先	2/15・16・19・26	-0.52m、時期不明の包含層（土師器）。	06H629	HL 486	7
九条四坊 五町	南・東九条河西町～東九条東御霊町地先	06/10/26～07/12/20	№16；-0.43m、時期不明の包含層（土師器）。№20；-0.12m以下、褐色細砂の地山。№22；-1.3m以下、黄褐色砂礫の地山。№30；-0.96m、時期不明の落込（土師器）。№31；-0.48m、近代の包含層。-1.0m以下、にぶい黄褐色泥砂の地山。	05H620	HL 351	7
九条四坊十二町	南・東九条南岩本町～東九条東札辻町地内	06/12/11～07/4/17	-0.56m、時期不明の包含層（土師器）。	06H480	HL 419	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
一条四坊十三町	右・花園伊町38、38-16、38-17、33-12、33-18	2/21・26・28	BM-0.5mまで現代盛土。	05H330	HR 497	8
二条二坊 九町	中・西大路通西側、丸太町通～太子道地内	06/11/6～07/6/5	№2；-0.3m以下、褐色粘土の地山。№8；-1.04m以下、灰白色砂礫の地山。	06H387	HR 370	9
三条三坊十五町	右、中・御池通北側、葛野大路通～西小路通	06/11/20～07/3/28	-1.34mまで現代盛土。	06H449	HR 390	8
四条二坊 三町	中・壬生東淵田町11-1	3/1・2・9	№1；-0.2m、平安の包含層（土師器、須恵器、緑釉陶器、丸瓦）。№2；-0.3m、平安の包含層（丸瓦）。-0.43m以下、黄褐色粘土の地山。	06H675	HR 509	11
四条二坊十四町	右・西院西淳和院町19	1/22～24	№1；-0.4m、平安の包含層（土師器、緑釉陶器、平瓦）。-0.55m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。№2；-0.48m、時期不明の包含層（土師器、須恵器甕、丸瓦）。	06H576	HR 459	11
五条二坊 一町	中・壬生仙念町9番地の一部、9-2の一部	2/13・19	-1.03mまで現代盛土。	06H045	HR 484	11
五条三坊十一町	右・西院久田町36番地	1/24・29	-1.36m、時期不明の包含層（土師器、須恵器甕）。-1.46m以下、褐色砂泥の地山。	06H531	HR 466	10
五条四坊十四町	右・西院東貝川町62番	1/19・22・24	-0.7m、時期不明の包含層（土師器）。-1.3m以下、褐色砂泥の地山。	06H367	HR 455	10
六条二坊 四町	下・西七条東御前田町33-2、35-2、35-4他	2/26、3/1・8・9・13・14	№1；-0.55m、平安の包含層（土師器、須恵器、緑釉陶器）。№2；-0.2m以下、褐色粘土の地山。№4；-0.41m・-0.73m、時期不明の包含層（土師器）2。	06H526	HR 501	11
六条三坊十五町	右・西院久保田町6番1 他3筆	1/9、3/1・7、7/11	№1；-1.9m、室町末期の包含層（施釉陶器天目碗）。-2.35m、時期不明の包含層（土師器皿）。№2；-2.0m、室町の包含層（土師器皿、須恵器）。-2.2m、黄褐色粘土の地山。	06H029	HR 445	10

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
六条四坊 四町	右・西院六反田町14番地	2/19・26	-1.0m、室町の湿地状堆積（土師器皿、瓦質土器火鉢）。	06H183	HR 491	10
七条四坊十三町	右・西京極北裏町～西京極東向河原町地内	06/6/27～ 07/5/10	No 2 ; -1.7m以下、暗褐色砂礫の地山。 No 6 ; -0.63mで暗褐色砂礫の地山を切って時期不明の落込。	06H040	HR 124	12
八条一坊十五町	下・梅小路東中町 他地内	2/9～ 3/28	No 1 ; -0.7m、褐灰色砂礫の氾濫状堆積。 No 3 ; -2.7m以下、黄褐色砂礫の地山。	06H513	HR 483	13
八条二坊 九町	下・西七条南衣田町71番地	2/5・6・ 8・9・13・ 19・20	No 1 ; -1.4m、暗緑灰色粘土の湿地状堆積。 No 2 ; -2.8m、暗オリーブ灰色粘土の湿地状堆積。-3.5m、暗オリーブ灰色砂礫を検出。湿地状堆積の底部と考えられる。	06H537	HR 477	13
八条二坊 十町	下・七条御所ノ内北町97	2/20～27	平安前期の湿地状堆積を検出。本報告18ページ。	06H591	HR 494	13
八条二坊十二町	下・七条御所ノ内本町89-2、89-3	2/19	BM+0.3m～+0.15mまで現代盛土。	06H638	HR 492	13
八条二坊十六町	下・西七条南月読町102	2/16	-0.25m、現代盛土。	06H651	HR 488	13
八条四坊 二町	右・西京極中沢町9番2、58番2	3/27	-0.91m以下、オリーブ褐色細砂の地山。	06H549	HR 552	12
八条四坊十五町	右・西京極芝ノ下町14番の一部、 45番、46番、101番、105番の一部	1/29	巡回時、工事終了。	06H627	HR 470	12
九条二坊十二町	南・唐橋西平垣町45-4	3/20	巡回時、工事終了。	06H565	HR 537	13

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
植物園北遺跡	左・下鴨南茶ノ木町14番	1/22	-0.3m、耕作土。	06S579	RH 460	22-1
出雲寺跡・ 御土居跡・ 寺町旧域	北、上・寺町通、鞍馬口通～今出川通 他地内	06/9/11～ 07/6/5	No 6 ; -0.45m、時期不明の包含層（土師器）。 -0.57m以下、褐色砂泥の地山。 No10 ; -0.7m、近世の包含層。	06S174	RH 267	20-1
出雲寺跡・ 上御霊遺跡	上・上御霊横通寺町西入上御霊馬場町 376番2、376番9	2/2	-0.3mまで現代盛土。	06S587	RH 475	20-1
相国寺旧境内・ 上御霊遺跡	上・相国寺門前町709	3/16・19・ 22	-0.15m、時期不明の包含層（土師器）。	06S710	RH 527	20-1
悲田院跡・ 上京遺跡・ 寺ノ内旧域	上・南舟橋町	06/8/21～ 23・25、 07/7/25	-1.6mまで現代盛土。	06S026	RH 227	20-1
悲田院跡・ 上京遺跡・ 寺ノ内旧域	上・下清蔵口町132番地 他	3/23・27・ 29、4/4・ 5、8/1	-0.7m、近代以降の石垣。小川の旧流路の護岸。	06S420	RH 546	20-1
上京遺跡・ 寺ノ内旧域	上・東西町381番地	2/7	-0.5mまで現代盛土。	06S640	RH 481	20-1
上京遺跡	上・元誓願寺通大宮東入寺今町 505番地	3/6・12～ 15・19	-0.75m、近世の包含層。-1.4m以下、暗褐色砂礫の地山。	06S617	RH 512	20-1
上京遺跡	上・武者小路通新町西入常盤井岡子町 506-3	06/12/26・ 27、07/1/9	-0.4m、江戸末期の焼土層。	06S532	RH 442	20-1
上京遺跡	上・葭屋町通一条上る晴明町827-3番地	3/27～4/5	-0.96m、褐色砂礫の氾濫状堆積。	06S669	RH 553	20-1
上京遺跡	上・紋屋町～多門町 地内	06/11/8・ 9・17、 07/7/25	No 1 ; -0.7mで暗褐色砂泥を検出。 No 2 ; -2.6m、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。 -3.1m以下、褐色砂泥の地山。	05K491	RH 374	22-2
上京遺跡・ 世尊寺跡	上・紋屋町 地内	2/13・19・ 21	-1.6mまで現代盛土。	06S558	RH 485	22-2
上京遺跡・ 世尊寺跡	上・大宮通五辻西入五辻町67	1/9・10・ 15・18・19	-0.4mまで現代盛土。	06S595	RH 446	22-2
北野遺跡・ 北野麁寺	北・北野東紅梅町 6	2/27	-1.38mまで現代盛土。	06S655	RH 504	22-2

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
常盤東ノ町古墳群・村ノ内町遺跡	右・常盤東ノ町16	1/24	-0.4mまで現代盛土。	06S597	UZ 467	16
常盤東ノ町古墳群・村ノ内町遺跡	右・常盤東ノ町16-46、16-53	3/7	-0.25mでオリーブ黒色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	06S705	UZ 515	16
森ヶ東瓦窯跡・和泉式部町遺跡	右・太秦森ヶ東町4-21	3/26	-0.1mでにぶい黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	06S745	UZ 549	16
太秦馬塚町遺跡	右・太秦馬塚町 地先	06/12/21~ 07/2/13	No.1 ; -0.45m以下、黄褐色粘土の地山。 No.2 ; -0.42m、時期不明の包含層 (土師器)。	06S567	UZ 441	16
長福寺境内	右・梅津中村町36-15及び37-1	3/16・20・ 22	-0.7mで黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	04S544	UZ 528	16
天塚古墳	右・太秦松本町13番11、20番18、43番2	1/29	-0.3mまで現代盛土。	06S557	UZ 471	16
宝幢寺境内・嵯峨遺跡	右・嵯峨北堀町 地先	06/12/4~ 07/2/5	-0.22m以下、明褐色粘土の地山。	06S504	UZ 408	24-3
宝幢寺境内・嵯峨遺跡	右・嵯峨北堀町 地内	2/27、 3/7~28、 4/2~24、 5/8	No.1 ; -0.53m、近世の包含層。 No.2 ; -0.49m、時期不明の落込。-0.57mで浅黄色粘土の地山を切って時期不明の落込。 No.6 ; -0.42m以下、黄褐色粘土の地山。 No.8 ; -0.55mで室町の包含層 (土師器皿、平瓦)、-0.63m以下、にぶい黄色粘土の地山。	06S611	UZ 505	24-3
音戸山古墳群	右・太秦三尾町1-214、1-231、 1-357、1-360	2/26・27	-2.2m、近代以降の湿地状堆積。	06S647	UZ 502	24-4
音戸山古墳群	右・太秦中山町	06/12/21~ 07/6/28	-0.8m以下、明褐色砂泥の地山。	01S507	UZ 440	24-4
円乗寺跡・円宗寺跡	右・御室堅町19 他 (京都市立御室小学校)	2/2	BM+0.25m~-0.25mまで現代盛土。	06S606	UZ 476	24-5

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
真如堂境内	左・浄土寺真如町82	2/1・5・ 13・19・ 26	No.3 ; -0.19m、江戸以降の鐘楼石垣の裏込。 No.4 ; -0.27m、近世以降の包含層。 No.5 ; -0.24m以下、明褐色砂泥の地山。	06S649	KS 474	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎南御所町44-9	1/18	-0.27mまで現代盛土。	06R602	KS 453	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎天王町31-5	3/22	-1.17mまで現代盛土。	06R716	KS 540	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎天王町76-5、76-6、76-7	3/26・27	BM+0.95m、時期不明の包含層 (土師器、丸瓦)。	06R603	KS 548	17
白河南殿跡	左・吉永町273-9	3/13・14	BM+0.35m~0mまで現代盛土。	06R714	KS 522	17
白河街区跡	左・聖蹟院山王町23番地	2/19、 3/19・22・ 26・28	No.1 ; -0.8m、鎌倉の包含層 (土師器皿、須恵器、瓦製品)。-1.37m以下、オリーブ灰色粘土の地山。 No.2 ; -0.4m、近世以降の包含層。 No.3 ; -0.5m、室町の包含層 (土師器皿、須恵器、焼締陶器槽鉢)。-1.0m、時期不明の落込 (土師器)。-1.4m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	06S547	KS 493	17
一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳隣接地	左・白川通西側、北山通~北大路通地内	06/12/18~ 07/6/25	No.3 ; -0.47m、時期不明の包含層。 No.12 ; -0.75m以下、オリーブ灰色微砂の地山。 No.17 ; -1.04m、時期不明の土坑。 No.20 ; -1.4m、時期不明の包含層 (土師器)。	06S402	KS 424	24-1
法成寺跡・御土居跡	上・九軒町他 地内	3/20~ 4/26	-0.45m、オリーブ灰色砂礫の氾濫状堆積。	06S403	KS 536	24-6

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
清水寺境内	東・清水一丁目294番 地内	2/27	-0.55m以下、浅黄色砂泥の地山。	06S678	RT 503	18
六波羅政庁跡	東・五条橋東五丁目459番地	2/28	-0.6m、近世以降の包含層。	06S616	RT 508	18
六波羅政庁跡	東・茶屋町527	3/19・27	-0.9mまで現代盛土。	06S727	RT 532	18
中臣遺跡	山・東野舞台町97-62の一部 (9号地)	1/15	BM+0.55m~+0.15mまで現代盛土。	06N578	RT 452	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-62の一部 (7号地)	1/22	-0.25mまで現代盛土。	06N612	RT 462	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-61の一部	3/12	-0.6mまで現代盛土。	06N672	RT 519	24-2
中臣遺跡	山・栗栖野狐塚5番地の1	3/19	BM-0.6mまで現代盛土。	06N708	RT 533	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-63の一部	3/30	-0.55mで暗褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	06N744	RT 559	24-2
日ノ岡堤谷 須恵器窯跡	山・日ノ岡堤谷町74-26	2/15	巡回時、工事終了。	06S658	RT 487	25-2
山科本願寺跡	山・西野広見町32番2号	3/9	-0.3mまで現代盛土。	06S693	RT 518	25-3
山科本願寺南殿跡	山・音羽伊勢宿町26番6	2/27	-0.3m、近世の包含層。	06S016	RT 506	25-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町24番地	3/1	-0.3mまで現代盛土。	06T600	TB 510	21-1
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町9番地の一部	3/12	-1.05m、暗オリーブ色砂泥の湿地状堆積。	06T704	TB 520	21-1
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町36番地、37番地、 38番地	3/29	-0.14mまで現代盛土。	06T742	TB 554	21-1
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡・ 竹田城跡	伏・竹田中内畑町24	1/11	-1.45m、暗オリーブ灰色粘土の湿地状堆積。	06T550	TB 450	21-1
下鳥羽遺跡	伏・竹田松林町28番、29番	3/8	-1.0mまで現代盛土。	06S689	TB 517	21-1
唐橋遺跡	南・唐橋堂ノ前町13-4	3/23	-2.0mまで現代盛土。	06S382	TB 544	21-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
伏見城跡・ 桃陵遺跡	伏・豊後橋町	1/19	BM+1.95m~+1.25mまで現代盛土。	06F533	FD 456	14
伏見城跡	伏・銀座町四丁目292番、293番	3/22	-0.5m、近世以降の包含層。	06F661	FD 541	14
伏見城跡	伏・下板橋町630、630-8、630-7の 各一部	1/9	-0.3mまで現代盛土。	06F559	FD 447	14
伏見城跡・ 桃山古墳群 (永 井久太郎古墳)	伏・桃山島津58番地の3	1/22・29	BM+0.1m以下、明黄褐色砂泥の地山。	06F455	FD 461	14
伏見城跡・ 桃山古墳群 (永 井久太郎古墳)	伏・桃山町永井久太郎~桃山町正宗 地内	1/18~ 5/15	-0.32m以下、にぶい黄橙色粘土の地山。	06F390	FD 454	14・15
伏見城跡	伏・深草大亀谷六躰町125番地 六躰公園	1/23	-1.5m以下、にぶい黄色砂泥の地山。	06F621	FD 464	15
伏見稻荷大社 境内・稻荷山 命婦谷遺跡	伏・深草藪ノ内町68番地	2/22・27・ 28、3/1・ 9・22	№3 ; -0.2m以下、にぶい黄橙色細砂の地山。 №6 ; -0.02m以下、明黄褐色砂礫の地山。	06S361	FD 498	23-1
醍醐寺子院跡	伏見区醍醐中山町25番5、25番15、 25番16	06/12/20~ 07/8/2	-0.6m以下、明褐色砂泥の地山。	05S448	FD 435	25-8

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
左京五条四坊五町	伏・羽束師古川町168-2、3	3/23	-0.8mまで現代盛土。	06NG465	NG 545	19
左京九条三坊十二町・淀城跡	伏・淀本町167	1/25・29	隅槽の石組の階段を検出。	06NG057	NG 468	26-2

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
松尾十三塚古墳群	西・松室追上ゲ町18-18	3/22	BM+0.33m~0.01mまで現代盛土。	06S628	MK 542	26-3

京北地区 (UK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
烏谷古墳群	右・京北下中町烏谷6番地3	3/2・8	BM+1.35m以下、明黄褐色粘土の地山。	06S625	UK 511	26-8

II 2007年 4～12月期 (平成19年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町661-10	5/22	-0.45mまで現代盛土。	06K755	HQ 064	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町661-12	5/22	-0.3mまで現代盛土。	06K756	HQ 065	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町661-13	5/22	-0.3mまで現代盛土。	06K757	HQ 066	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町661-14	5/22	-0.2mまで現代盛土。	06K758	HQ 067	1
大蔵省	上・浄福寺通中立売下る菱丸町180、180-2、180-4	5/21・22・23・24	BM-0.93mで暗褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	06K720	HQ 062	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町656-43	6/19	-0.55mまで現代盛土。	07K047	HQ 122	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町656-42	6/19	-0.8mまで現代盛土。	07K141	HQ 121	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町656-44	6/19	-0.7mまで現代盛土。	07K142	HQ 120	1
大蔵省	上・上長者町通浄福寺東入高台院町541	7/13	-0.2mまで現代盛土。	07K104	HQ 169	1
大蔵省	上・仁和寺街道千本東入西富仲町467-5	8/30	-0.2mまで現代盛土。	07K214	HQ 220	1
大蔵省	上・仁和寺街道千本東入西富仲町467-4	8/30	-0.1mまで現代盛土。	07K215	HQ 221	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西儀屋町656の一部	9/5	-0.3mで黒褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K243	HQ 233	1
主殿寮	上・裏門通一条下る今新在家町200番地	6/19	-0.55m、近世の包含層。	07K105	HQ 123	1
図書寮	上・御前通下立売上る三丁目東入三助町281-32 (2号地)	8/24	-0.2mまで現代盛土。	07K180	HQ 211	1
図書寮	上・御前通下立売上る三丁目東入三助町281-27 (1号地)	8/24	-0.2mまで現代盛土。	07K179	HQ 212	1
宴松原	上・六軒町通出水上る七番町 地先	4/20～27	-0.63m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	07K036	HQ 022	1
宴松原	上・下長者町通六軒町西入利生町294番地114・115	9/18	-0.25mまで現代盛土。	07K226	HQ 243	1
宴松原・掃部寮内蔵寮	上・三番町～長門町 地内	6/28～8/10	-1.35mまで現代盛土。	06K746	HQ 152	1
職御曹司	上・出水通智恵光院西入田村備前町206	10/22	-0.2mまで現代盛土。	07K335	HQ 274	1
職御曹司	上・出水通日暮西入金馬場町166番	10/31	-0.6mで黒褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K329	HQ 285	1
職御曹司	上・智恵光院通下長者町下る天秤丸町地先	11/2	巡回時、工事終了。	07K365	HQ 287	1
左兵衛府	上・日暮通下立売上る天秤町597	12/6・7	-0.2m、近世の包含層 (施釉陶器丹波鉢)。	07K382	HQ 327	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町7-16	6/19	-0.23mまで現代盛土。	06K662	HQ 130	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町11番24	10/16	-0.3mまで現代盛土。	07K312	HQ 265	1
典葉寮	中・西ノ京車坂町2	10/2・3	-0.3mまで現代盛土。	07K219	HQ 256	1
典葉寮	中・西ノ京車坂町7-7・13 (A号地)	11/8	-0.38mで明黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K323	HQ 291	1
典葉寮	中・西ノ京車坂町7-7・13 (B号地)	11/8	-0.36mで明黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K324	HQ 292	1
豊楽院	中・聚楽廻中町47-2、2番	5/9	-0.05mで明黄褐色泥土を検出。遺構、遺物は検出できず。	06K520	HQ 048	1
豊楽院	中・聚楽廻中町53番4、53番7	6/7・8・11	-0.15m、近世以降の包含層。平安の瓦を表探。	07K013	HQ 089	1
豊楽院	中・聚楽廻中町31番16・17・18	5/31、6/1	-0.25mまで現代盛土。	07K049	HQ 078	1
朝堂院	中・聚楽廻東町31-25、31-26	4/18～20	-0.2mでにぶい黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	06K711	HQ 020	1
朝堂院	上・千本通竹屋町聚楽町 地先	6/4	-0.65m以下、黄褐色泥土の地山。	07K117	HQ 083	1
朝堂院	上・竹屋町通千本東入主税町1178	7/6	-0.45mまで現代盛土。	07K052	HQ 166	1
朝堂院隣接地	中・西ノ京小堀町2-5、50	8/28～9/13	-0.9m以下、明黄褐色砂礫の地山。	07K069	HQ 218	1
主水司	上・智恵光院通丸太町上る西院町地先	5/29・31、6/1	-0.4mでにぶい黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K110	HQ 075	1
主水司	上・下立売通千本東入中務町486	12/11	-0.2mまで現代盛土。	07K380	HQ 331	1
大膳職	上・日暮通丸太町上る南伊勢屋町752番	7/27・30・31	-1.2mで褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	06K721	HQ 187	1
御右馬寮	中・西ノ京車坂町15番地	4/23	-0.45mまで現代盛土。	07K024	HQ 023	1
御右馬寮	中・西ノ京右馬寮町 地先	7/18	-0.65mで灰黄褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07K207	HQ 174	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
北辺二坊 八町	上・一条通小川東入西之口町	6/19・20	平安後期の路面を検出。本報告3ページ。	07H097	HL 127	2
北辺三坊 六町	上・中立売通烏丸西入東町482、482-1	7/23~27・30、8/6・7・23	No.1 ; -0.94m・-1.15m、江戸前期の包含層(土師器・埴壺・焼締陶器水差) 2。No.2 ; -0.18m、江戸前期の包含層(施釉陶器高取鉢)。	06H484	HL 177	3
一条二坊 三町	上・大宮通出水下家永町780番、780番1、781番、782番、785番の一部	10/9	-0.35mまで現代盛土。	07H145	HL 258	2
一条二坊 九町	上・油小路通上長者町下る亀屋町125-2	5/28~7/17	時期不明の石室を検出。本報告5ページ。	07H016	HL 071	2
一条三坊 七町	上・室町通出水上る近衛町33	7/31、8/17・20	No.1 ; -0.45m・-0.75m、近世以降の包含層2。No.3 ; -1.52m、時期不明の包含層(土師器)。	07H167	HL 190	3
一条四坊十一町	上・京都御苑1番地(京都御所)、2番地(大宮仙洞御所)	12/4・6・11・12	No.2 ; -0.5m、近世以降の包含層。No.3 ; -0.12m、近世以降の包含層。	07H363	HL 321	3
二条三坊 一町	上・西洞院通丸太町上る夷川町394番、394-3番、394-4番	6/26、7/9・19	-1.85m以下、灰色砂礫の地山。	07H123	HL 148	3
二条三坊 三町	中・釜座通竹屋町下る亀屋町330、334-1、334-3	6/19~7/11	金箔軒丸瓦を表探。本報告26ページ。	07H022	HL 124	3
二条三坊 五町	中・衣棚通二条上る暨大恩寺町751番地 他	9/12・13・18、10/9・11・12	No.1 ; -1.4m、時期不明の包含層(瓦)。No.2 ; -0.45m、江戸後期の包含層(土師器皿)。	07H177	HL 241	3
二条四坊十四町	中・麩屋町通夷川上る笹屋町452番	6/1~21	-1.8m、江戸前期の包含層(土師器皿)。No.4 ; -1.7m、室町の包含層(土師器皿)。	07H070	HL 082	3
三条二坊 十町	中・油小路通御池上る押油小路町238-1	11/22	No.5 ; -0.44m、室町の包含層(輸入青磁)。No.6 ; -1.65m、室町の包含層(土師器皿)。	07H370	HL 311	2
三条二坊十二町	中・姉東堀川町69-1	5/7~9・11	No.7 ; -1.95m、室町の包含層(土師器皿)。	06H488	HL 037	2
三条二坊十二町	中・堀川通姉小路下る姉東堀川町74番地	5/7~9・11	-0.26m、近世以降の包含層。	06H566	HL 038	2
三条二坊十二町	中・三条通堀川東入橋東詰町9番、11番	8/27~31	-0.1mまで現代盛土。	07H175	HL 215	2
三条二坊十三町	中・小川通姉小路下る西堂町506、506-1、506-2、506-3	8/24・27	-1.6mまで現代盛土。	07H166	HL 209	2
三条三坊 五町	中・突抜町 地内	11/9・12・14	-1.12mで暗褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	06H656	HL 295	3
三条三坊 六町	中・衣棚通御池下る長浜町158、161-2	9/10・12	-0.27mまで現代盛土。	07H295	HL 235	3
三条三坊 九町	中・烏丸通二条下る秋野々町514	6/25、7/18~20・23~25・27・30・31、8/1・3	No.3 ; -1.0m、近世以降の包含層。No.4 ; -0.65m、近世以降の包含層。No.7 ; BM-0.4m、時期不明の石室。石室の埋土から江戸後期の施釉陶器鉢、焼締陶器信楽甗、三巴文軒丸瓦が出土。	06H733	HL 145	3
三条三坊 十町	中・両替町通御池上る龍池町449番地1	5/22~24	No.8 ; -2.6m以下、褐色細砂の地山。	06H592	HL 068	3
三条四坊 二町	中・間之町通押小路下る高田町505番地	4/16~20・23~26	-0.87m、近世以降の包含層。	06H626	HL 015	3
三条四坊 三町	中・東洞院通御池下る笹屋町436-2番、438番	9/11~10/15	No.1 ; -0.4m、桃山~江戸前期の包含層(灰釉陶器皿)。	07H172	HL 238	3
三条四坊 九町	中・柳馬場通二条下る等持寺町21-1	5/10・11	No.2 ; -0.55m・1.45m、近世の包含層2。No.4 ; -1.17m、時期不明の包含層(土師器)。	06H674	HL 049	3
四条一坊 一町	中・壬生朱雀町1番地2	6/28	No.5 ; -1.6m、近世以降の包含層。No.6 ; -1.7m、近世の土坑。No.7 ; -1.55m、近世以降の包含層。	07H072	HL 154	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
四条一坊 八町	中・壬生馬場町2-6	6/18～ 7/20	No 2 ; -0.6m、近世以降の湿地状堆積。 No 3 ; -1.05m、時期不明の湿地状堆積（土師器）。No 4 ; -0.9m、近世以降の湿地状堆積。 -1.15m以下、緑灰色粘土の地山。	07H115	HL 113	4
四条一坊 九町	中・三条通神泉苑西入今新在家西町 22、23-1	8/31、 9/3・11・ 12・13・ 15・17	No 2 ; -1.58m、室町の包含層（焼締陶器信楽甕）。-1.95m以下、暗青灰色砂礫の地山。表探で平安時代中期の須恵器椀と時期不明の井戸枠2本。No 3 ; -1.2m以下、明黄褐色砂礫の地山。 -0.3mまで現代盛土。	07H160	HL 225	4
四条一坊 十町	中・因幡町106	7/31、9/4	No 1 ; -1.42m、江戸中期の包含層（施釉陶器灯明皿、近世磁器椀）。	07H138	HL 191	4
四条一坊十一町	中・壬生坊城町57番地の1 京都市立洛中小学校	7/23・24・ 30	No 2 ; -4.3m以下、灰色粘土の地山。	07H196	HL 178	4
四条一坊十四町	中・大宮通蛸薬師下る四坊大宮町164	8/31、 9/3～6	No 1 ; -0.7m、時期不明の包含層（土師器）。 No 2 ; -0.23m、平安末期～鎌倉の包含層（輸入白磁椀）。-0.66m以下、黄褐色泥砂の地山。 No 3 ; -0.2m、近世の包含層。-0.7m以下、明黄褐色砂泥の地山。	07H212	HL 226	4
四条二坊 七町	中・岩上町753-2、758-3、761	8/13	-0.5mまで現代盛土。	07H062	HL 201	4
四条二坊 九町	中・三条通油小路下る三条油小路町 172番2	6/19～ 7/19	平安後期の土坑を検出。本報告27ページ。	07H118	HL 126	4
四条二坊十六町	中・三条通油小路東入塩屋町53番地3 他	6/11・13・ 15・18	No 1 ; -1.32m、室町の包含層（土師器皿）。 -1.45m、平安中期の包含層（土師器皿）。	06H570	HL 094	4
四条二坊十六町	中・三条通油小路東入塩屋町40番	6/29、 7/20・ 23～26	No 1 ; -0.45m・-1.0m・-1.3m、近世以降の包含層3。No 3 ; -0.52m、江戸後期の落込（土師器、染付）No 4 ; -0.55m、近世以降の包含層。	06H573	HL 156	4
四条三坊 三町	中・新町通錦小路上る百足屋町 374-1・2・3・4	6/11	-0.73m、江戸初期の包含層（土師器皿・鉢）。 -1.0m、室町の包含層（土師器皿、丸瓦）。 -1.3m、鎌倉の包含層（土師器皿、白磁椀）。	07H054	HL 095	5
四条三坊 四町	中・四条通西洞院上る蟻螂山町473番地	6/28～9/4	-2.7m、にぶい黄褐色砂礫の氾濫状堆積。	07H192	HL 153	5
四条四坊 二町	中・泉正寺町331-1・2	6/27・28、 7/2・3・ 5・6・9	No 2 ; -1.26m、時期不明の包含層（平瓦）。 -1.45mで時期不明の包含層（須恵器甕）を切つて時期不明のピット。No 4 ; -1.46m、鎌倉の包含層（土師器皿、輸入青磁水注、輸入白磁）。	07H149	HL 150	5
四条四坊 五町	中・堺町通四条上る八百屋町553-2、 553-1の一部	6/19	-0.35mで褐色砂質土を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07H134	HL 128	5
四条四坊 十町	中・富小路通六角下る大黒町 (元生祥小学校プール跡地)	5/7・14・ 15	-0.45m、時期不明の包含層。	06H380	HL 036	5
四条四坊十二町	下・室町通四条上る立売東町117番地の3	5/17	-0.5m・-0.83m、近世以降の包含層2。	06H524	HL 059	5
四条四坊十四町	中・麩屋町通蛸薬師下る梅屋町486番地	5/28	-0.4mまで現代盛土。	07H078	HL 072	5
五条二坊 二町	下・黒門通綾小路下る塩屋町175・176	7/2・3・5	-0.4mまで現代盛土。	07H132	HL 161	4
五条二坊 五町	下・岩上通高辻下る吉文字町462、 464、465	4/17～20、 5/15・16・ 18	No 1 ; -0.5m、時期不明の包含層。-1.1m以下、 褐灰色砂礫の地山。No 2 ; -0.6m、室町前期の包含層（土師器皿）。	06H698	HL 019	4
五条二坊 七町	下・綾小路通堀川西入妙満寺町 575番地	4/18・19・ 20・23・ 24・25・ 26	No 1 ; -2.26m以下、黄褐色砂礫の地山。 No 2 ; -1.25m、江戸後期の包含層（土師器）。 No 3 ; -0.6m、室町後期の包含層（焼締陶器播鉢）。-1.8m以下、オリーブ灰色細砂の地山。 No 4 ; -0.9m、時期不明の包含層。 No 5 ; -0.85mで時期不明の包含層（土師器）を切つて時期不明の落込。-1.65mで平安後期の湿地状堆積（土師器皿）。	06H599	HL 021	4
五条二坊 七町	下・西堀川通綾小路下る綾堀川町306-1	6/18、8/23	-0.75m、近代の包含層（土師器、白磁）。	07H064	HL 111	4
五条二坊 十町	下・醒ヶ井通綾小路下る要法寺町 442番 その他一筆	4/6・9・ 12・16・ 17・18・ 19	No 1 ; -0.75mで平安末期～鎌倉前期の包含層（土師器、輸入白磁耳付壺）を切つて鎌倉後期～室町前期のピット（土師器皿）。-1.0m以下、黄褐色砂泥の地山。 No 2 ; -0.8m、時期不明の落込（土師器）。 -1.12m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	06H703	HL 006	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
五条二坊十二町	下・醒ヶ井通高辻下る住吉町502・504・506番	9/3~21	№3 ; -0.55m、時期不明の包含層。-1.1m以下、褐色細砂の地山。№5 ; -1.05m以下、黄褐色粗砂の地山。№6 ; -1.4m、時期不明の包含層。	07H119	HL 228	4
五条二坊十四町	下・西洞院通仏光寺下る本柳水町788	5/8	BM+0.6m~+0.05mまで現代盛土。	06H736	HL 046	4
五条三坊 五町	下・高辻通室町西入繁昌町290番地	8/14	巡回時、工事終了。	07H158	HL 202	5
五条三坊 七町	下・仏光寺通新町東入糸屋町215-1	8/7・10・13	-1.83m、江戸中期の包含層（土師器鉢・火消し壺）。-1.93m、鎌倉の包含層（土師器、青磁龍泉窯椀）。-2.1m、平安後期の包含層（土師器皿）。-2.27m、平安前期の落込（土師器甕、緑釉陶器椀陰刻花文椀）。	06H551	HL 197	5
五条三坊十一町	下・仏光寺通室町東入釘隠町247番地	9/14	試掘調査済地点。工事掘削深の確認調査。	06H699	HL 242	5
五条四坊 一町	下・高倉通四条下る高材木町215	5/7~15	-0.5m、近世以降の包含層。	07H012	HL 040	5
五条四坊 七町	下・綾材木町188-2・3	5/29	-1.15m、近世の包含層。	06H730	HL 077	5
五条四坊 三町	下・高倉通仏光寺下る新開町397	6/15~10/16	№3 ; -1.2m、近世以降の包含層。-1.4m、江戸前期の包含層（染付伊万里徳利）。№6 ; -0.78m、江戸末期以降の包含層（施釉陶器）。	05H236	HL 107	5
五条四坊 九町	下・柳馬場通四条下る相之町131番地、132番地	7/31、8/1~3・6	№1 ; -0.6m・-1.0m・-1.24m、近世以降の包含層3。№2 ; -2.0m以下、黄褐色砂礫の地山。№3 ; -1.03m、室町の包含層（土師器皿）。№4 ; -1.7m、江戸の井戸（土師器皿、施釉陶器、平瓦・井戸椀瓦）。№5 ; -1.7m、室町前期の包含層（土師器皿、瓦器）。	07H045	HL 192	5
五条四坊 九町	下・四条通富小路西入立売東町19	7/19~23、8/23、9/18~21	№1 ; -1.8m・-2.2m、平安末~鎌倉の包含層（土師器皿、輸入白磁椀）2。 №4 ; -5.0m以下、褐色砂礫の地山。	06H688	HL 175	5
五条四坊十四町	下・寺町通仏光寺下る恵美須之町521	6/15・18・19・21・25	№1 ; -0.65m、時期不明の包含層（土師器）。 №2 ; -0.65m・-1.2m、時期不明の包含層2。	07H112	HL 106	5
六条二坊 九町	下・醒ヶ井通松原下る篠屋町	6/22	-0.23m、近世以降の包含層。	07H128	HL 143	4
六条二坊十一町	下・堀川通五条下る泉水町~堀川通揚梅下る佐女牛井町 地先	7/3~8/21	-1.1m以下、黄褐色粘土の地山。	07H178	HL 163	4
六条二坊 十町	下・五条通油小路西入北側小泉町82番地	5/7~16	-1.4m以下、黄褐色細砂の地山。	06H590	HL 039	4
六条二坊十四町	下・油小路通五条下る中金仏町208番地 他2筆	6/18・21・25	№1 ; -0.6m、鎌倉の包含層（土師器皿）。 №2 ; -1.5m以下、褐色粗砂の地山。	07H100	HL 112	4
六条二坊十五町	下・西洞院通五条上る八幡町521番地1他5筆	6/11・13・15	№1 ; -0.55m、近世の包含層。 №2 ; -0.65m、室町中期の包含層（土師器皿）。	06H694	HL 096	4
六条三坊 七町	下・新町通五条上る材木町146	5/8・9・11、6/6・8・12・13・15・18	№1 ; -0.25m、近世以降の包含層。№2 ; -1.2mで褐色砂泥の地山を切って鎌倉後期~室町初期の落込（土師器皿、焼締陶器甕、丸瓦）。 №3 ; -1.5m、平安後期の落込（土師器皿、輸入白磁、平瓦、金属製品）2。-1.7m、時期不明の包含層（土師器）。№4 ; -1.7m、平安後期の包含層（土師器皿、瓦器椀）。№5 ; -0.53m、室町後期の包含層（土師器皿、焼締陶器備前小壺）。-0.75m、室町中期の包含層（土師器皿）。-1.03m、室町前期の包含層（土師器皿、焼締陶器古瀬戸）。№6 ; -1.3m、室町前期の落込（土師器皿、焼締陶器甕）。№7 ; -1.75m、時期不明の包含層（土師器）。	06H639	HL 042	5
六条三坊 八町	下・松原通新町東入中野之町168-2他	6/11~13・15・18	№1 ; -1.3m、近世の包含層。-2.0m、時期不明の包含層（土師器）。№3 ; -0.85m、時期不明の包含層（土師器）。-1.1m・-1.45m、平安後期の包含層（土師器皿、須恵器、輸入青磁越州窯、白磁）2。	06H575	HL 099	5
六条三坊十二町	下・烏丸通五条下る大阪町384・386-1	4/25、5/21・23・24・29	№1 ; -1.1m、近世以降の包含層。-1.4m、時期不明の包含層。№3 ; -1.1m、平安後期~鎌倉の包含層（土師器皿）。	06H619	HL 028	5
六条四坊 四町	下・間之町通五条下る塗師屋町124-1	7/25	-0.6m、江戸中期以降の包含層（近世施釉陶器）。	07H095	HL 183	5

遺 跡 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	受付番号	調査No.	図版
六条四坊 七町	下・五条通堀町西入塩竈町357番地、 亀屋町160番2	6/25、 7/2・3・ 5・9・13・ 19	No.1 ; -0.86m、時期不明の土坑。-1.38m、江 戸初期の包含層（土師器、施釉陶器美濃天目）。 No.2 ; -0.4m、近世以降の瓦溜。No.3 ; -0.58m、 江戸後期の包含層（土師器胞衣壺・蓋、施釉陶 器）。No.4 ; -2.4m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	06H706	HL 147	5
六条四坊十四町	下・寺町通五条上る西橋詰町786-2	6/8・20	-1.1mまで現代盛土。	06H731	HL 092	5
六条四坊十六町	下・麩屋町通松原下る上鱗形町505-1	4/13・16	-1.15m、江戸中期の包含層（土師器皿）。	06H690	HL 013	5
七条一坊 四町	下・七条通北側、千本通～大宮通	6/13～11/16	-0.9m以下、黄褐色砂泥の地山。	06H686	HL 103	6
七条一坊 八町	下・西新屋敷中之町112番1	6/19	-0.26m、近世以降の包含層。	07H114	HL 125	6
七条一坊十六町	下・大宮通丹波口下る大宮1丁目552、 553、554	4/26・27	-0.82m、時期不明の包含層。	06H726	HL 030	6
七条三坊 一町	下・良町872-1、872-2	5/21～24	-1.25m、褐色砂礫の氾濫状堆積。	06H682	HL 063	7
七条三坊 五町	下・烏丸通七条上る常葉町754	5/2・28・ 29・31、 6/1・11・ 13・18、 8/1・2	No.1 ; -0.18m・-0.37m、近世以降の包含層2。 No.2 ; -0.5m、近世以降の包含層。No.3 ; -0.27m、近世以降の包含層。No.4 ; -0.34m・ -0.52m、近世以降の包含層2。-0.52m、近世 以降の土坑。No.5 ; -0.28m・-0.5mで近世以降 の包含層2。No.8 ; -0.65m・-1.08mで近世以 降の包含層2。No.9 ; -0.5m、江戸前期の包含 層（土師器皿）。No.10 ; -0.35m、近世以降の包 含層。-0.9m、時期不明の包含層。	06H644	HL 034	7
七条三坊 八町	下・良町869-3、871-4、871-5	5/24～ 6/21	No.2 ; -1.6m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。 No.3 ; -1.0m、室町前期の包含層（土師器皿、 瓦器鍋、焼締陶器甕）。 -1.45m以下、褐色砂礫の地山。	06H542	HL 069	7
七条三坊十四町	下・不明門通下数珠屋町上る卓屋町 66-1、69-5	5/28・29・ 31	-0.9m、近世以降の包含層。	06H718	HL 070	7
七条四坊 三町	下・東洞院通下数珠屋町上る笹屋町 271、282	5/11	-0.8mでにぶい黄褐色泥砂を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07H060	HL 052	7
七条四坊 四町	下・間之町七条上る堀詰町441	11/22	-0.4mまで現代盛土。	07H359	HL 310	7
七条四坊十二町	下・土手町通七条上る納屋町420、 421-1、421-2、421-3、421-4、 421-5、423-8、426-1	7/24～27・ 30・31、 8/1・3	No.1 ; -0.58m、江戸前期の包含層（土師器皿・ 壺、施釉陶器皿・鉢、饗盤、京焼椀、伊万里染 付椀）。No.3 ; -0.8m、江戸前期の包含層（施 釉陶器椀）。 No.5 ; -1.05m以下、黄褐色細砂の地山。	06H707	HL 182	7
七条四坊十四町	下・三ノ宮町通正面下る上三ノ宮町 284番、284番1	6/25・ 27～29	No.1 ; -0.4m、江戸後期の包含層（土師器皿、 染付くらわんか茶椀）。-1.3m以下、褐色砂礫 の地山。No.2 ; -0.37m、江戸後期の土坑（土師 器胞衣壺、施釉陶器）。	07H063	HL 146	7
八条一坊 一町	下・七条通南側、新千本通～大宮通	8/13～ 11/27	No.10 ; -0.9m、時期不明の包含層。-0.98m以 下、褐色砂泥の地山。 No.14 ; -0.35m、近代の包含層（土師器、施釉陶 器）。-1.0m以下、黄褐色粗砂の地山。	06H760	HL 200	6
八条二坊 四町	南・西九条小寺町6-1、7-7・9	7/30～8/1	-0.8mで灰黄褐色泥砂を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07H154	HL 189	6
八条二坊 九町	下・油小路通下魚ノ棚下る油小路町 282番地	6/15・18・ 21	No.1 ; -1.05m、江戸の包含層（土師器、染付 椀・壺・皿、焼締陶器甕）。No.2 ; -1.26m、鎌 倉の包含層（土師器皿、須恵器壺、灰釉陶器）。	07H028	HL 084	6
八条二坊 九町	下・七条通油小路西入土橋町198-3、 213	6/18～7/5	No.1 ; -0.5m、室町の包含層（砲弾型土器）。 -1.0m、時期不明の包含層（土師器皿）。 No.2 ; -0.5m、近世以降の包含層。	06H684	HL 110	6
八条三坊 一町	下・七条通新町西入夷之町715	6/20～ 7/23	No.1 ; -2.05m、近世以降の包含層。 No.2 ; -2.7m以下、黒色砂礫の地山。	06H466	HL 138	7
八条四坊 九町	下・材木町～上之町 地先	4/9～20	-0.62mで黒褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	06H676	HL 007	7
九条一坊 一町	南区八条源町 地先	5/14～9/6	-0.75m以下、褐色砂礫の地山。	07H067	HL 054	6
九条一坊 三町	南・八条内田町	6/27・28	-0.9mまで現代盛土。	07H033	HL 149	6・13
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る九条町412番37	8/30	-0.2m、時期不明の包含層（土師器）。 -0.45m、平安中期の包含層（土師器皿）。	07H221	HL 222	6

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 3号地	5/10	-0.1m、平安～鎌倉の包含層（土師器皿）。	07H006	HL 050	6
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 1号地	4/24～26、 5/2・11	-0.27m、時期不明の包含層。	07H004	HL 027	6
九条一坊十六町	南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 2号地	5/11	-0.3m、時期不明の包含層。	07H005	HL 051	6
九条二坊 一町	南・西九条横町56-1	11/8・9	№1；-0.52mで鎌倉の包含層（土師器皿、瓦器羽釜）を切って時期不明の落込（土師器、灰釉陶器壺）。№2；-0.25m、鎌倉の包含層（土師器、瓦器鍋）。	07H331	HL 293	6
九条二坊十四町	南・西洞院通、八条通～東寺通 地内	6/12～8/7	№4；-1.65m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。 №6；-0.75m、近世以降の包含層。 №8；-1.5m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。	06H687	HL 100	6・7
九条三坊 二町	南・西九条院町24-3	8/1	-1.0mまで現代盛土。	07H228	HL 195	7
九条四坊 九町	南・東九条東岩本町～東九条南山王町 地先（一般国道24号）	4/11～9/5	№1；-1.4m、近世以降の包含層。№4； -0.5m、近世以降の包含層。-0.98m以下、褐色 砂礫の地山。№5；-1.85m、近世以降の包含層。 №20；-0.6m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	05H619	HL 010	7

平安京右京（HR）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
一条二坊十五町	中・西ノ京中保町11番地	6/21、 7/2・3・ 5・6・10	№3；-1.0mでにぶい黄褐色粘土の地山を切っ て時期不明の落込。 №4；-1.25m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	06H646	HR 139	9
一条三坊 三町	中・西ノ京大炊御門町19-4	6/7、 7/11・ 17～19	№1；BM-0.11mで灰黄褐色粘土の地山を切っ て時期不明のピット2。№2；-0.85m以下、褐 色砂礫の地山。06年度発掘調査済地点。	06H239	HR 090	8
一条三坊 四町	中・西ノ京南大炊御門町19	12/11～14	№3；-0.22m、中世の包含層（土師器皿）。 №4；BM-0.07m、平安前期～室町の包含層 （土師器皿、須恵器椀・鉢、緑釉陶器皿）。 BM-0.24mでにぶい黄褐色砂泥の地山を切っ て平安前期の落込（土師器皿・椀）。 №6；BM+0.03mで平安前期～室町の包含層を 切って時期不明の落込（土師器皿）。	07H358	HR 330	8
一条三坊 八町	北・大將軍西鷹司町21-1の一部	11/21・22	-0.48m、時期不明の包含層。 -0.62m以下、黒褐色砂泥の地山。	07H364	HR 307	8
二条二坊 二町	中・西ノ京南両町34番1の一部	7/25・26	平安末期～室町の東西溝及び瓦組暗渠。 本報告12ページ。	07H080	HR 184	9
二条二坊 八町	中・西ノ京上平町12、13、14	5/8・9	-1.03m、褐色砂礫の氾濫状堆積。	06H728	HR 043	9
二条二坊 九町	中・西ノ京南円町104番	7/13	-0.23mで暗オリープ色砂泥を検出。 遺構遺物は検出できず。	07H161	HR 167	9
二条二坊十五町	中・西ノ京中御門東町40-2、40-3、 40-4、40-5の一部	5/14～18、 21	平安の東西溝を検出。 本報告16ページ。	07H021	HR 056	9
二条三坊 二町	中・西ノ京中御門西町25	10/16	-0.3mまで現代盛土。	07H327	HR 266	8
二条三坊 二町	中・西ノ京中御門西町71番地	11/20	-0.4mまで現代盛土。	07H306	HR 304	8
三条一坊 三町	中・西ノ京梅尾町3-14の一部	4/23	-0.5mまで現代盛土。	07H030	HR 025	9
三条一坊十三町	中・西ノ京西月光町30の一部、 32-2の一部	11/22	-0.62mまで現代盛土。	07H333	HR 312	9
三条二坊 二町	中・西ノ京銅駝町77	8/8・9・ 10・13	№2；-0.4mで明黄褐色砂泥の地山を切っ て室町の土坑（土師器、須恵器鉢）。 №4；-0.7m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	07H163	HR 199	9
三条二坊十一町	中・西ノ京下合町	6/19～7/10	-1.0m以下、明黄褐色砂礫の地山。	07H015	HR 133	9
三条三坊 六町	中・西ノ京桑原町1	6/22	試掘調査済地点。工事掘削深の確認調査。	06H577	HR 144	8
三条四坊十三町	右・山ノ内西八反田町	8/20～24	-2.14m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	06H752	HR 205	8
四条二坊 一町	中・壬生上大竹町28-2、29	8/22・23	№1；-0.84m以下、褐色砂礫の地山。№2； -0.42m、平安の包含層（土師器、須恵器甕・ 椀、平瓦）。-0.56m以下、黄褐色砂泥の地山。	07H220	HR 208	11

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
四条三坊 六町	右・西院春日町1-10・12・13・20	6/19・21・25、8/8	№1；-0.88m以下、黄褐色泥土の地山。 №2；-0.9m、褐色泥土の湿地状堆積。-1.42m以下、褐灰色砂礫の地山。	06H290	HR 132	10
四条三坊十六町	右・山ノ内養老町8-6・16・23	7/18～25	-1.21m以下、オリブ黒色泥土の地山。	07H111	HR 173	10
五条一坊 二町	中・壬生高樋町55、55-4	6/29～7/5	-1.46m、暗オリブ灰色砂礫の氾濫状堆積。	07H162	HR 157	11
五条一坊 八町	中・壬生高樋町28-5の一部	7/9	-0.45m、中世の包含層（輸入青磁盤）。 -0.6m、平安後期の包含層（土師器皿）。	07H071	HR 168	11
五条三坊 二町	右・西院北矢掛町29番地、29番の2、30番地	11/27	BM-0.53mまで現代盛土。試掘調査済地点。	07H184	HR 316	10
五条三坊 十町	右・綾小路通、西院久田町	11/5～12/10	-1.5mまで現代盛土。	07H319	HR 290	10
五条四坊十五町	右・西院東貝川町60-1、61-1	12/13	-0.5mまで現代盛土。	07H388	HR 334	10
五条四坊十五町	右・西院東貝川町46番地	10/17	-0.55mまで現代盛土。	07H248	HR 268	10
六条二坊 九町	右・西院高田町27-1、28の一部	4/5・6	平安前期の湿地状堆積を検出。『京都市内遺跡試掘調査報告平成19年度』に掲載。	07H011	HR 002	11
六条三坊十二町	右・西京極北庄境町～西院溝崎町地先	7/19～11/5	№3；-0.75m、平安中期の包含層（土師器皿）。 №4；-0.56m、平安前期の包含層（土師質製塩土器、須恵器瓶子）。 №5；-1.04m以下、褐色粘土の地山。 №6；-0.56m以下、褐色砂泥の地山。	07H206	HR 176	10
六条三坊十六町	右・西院久保田町、西院安塚町	4/17～5/7	-2.65m、時期不明の包含層。-2.9m、時期不明の土坑。-6.89m以下、褐灰色砂礫の地山。	06H431	HR 024	10
七条一坊 五町	下・朱雀北ノ口町24番地 他	5/31、6/4～6・8	№2；-0.73mで褐色粘土の地山を切って時期不明の落込。 №3；-0.57m、時期不明の包含層（土師器）。	06H604	HR 079	13
七条三坊 五町	右・西京極大門町1-1、1-2、2、36-1、36-2、中溝町2-2、2-5	4/4・13	-1.15m、黄灰色泥土の湿地状堆積。 -1.9m以下、黒褐色砂礫の地山。	06H618	HR 001	12
七条四坊 三町	右・西京極宮ノ東町～西京極三反田町	9/18～10/5	-1.3m以下、明黄褐色砂礫の地山。	07H266	HR 244	12
八条一坊十六町	下・西七条南東野町10-1	6/20～9/4	№1；-0.4m、桃山の包含層（土師器皿）。 №2；-1.0m以下、暗オリブ灰色砂礫の地山。	07H139	HR 140	13
八条三坊 六町	下・七条御所ノ内西町86番2の一部	8/6	-0.2mまで現代盛土。	07H143	HR 196	12
八条四坊十五町	右・西京極芝ノ下町14番の一部、45番、46番、101番、105番の一部	6/19・21・25・28・29	-0.5mまで現代盛土。	06H627	HR 131	12
九条一坊 四町	南・唐橋羅城門町 地先	11/8～12/5	№5；-0.56m、近世以降の包含層。 №6；-0.7m、暗緑灰色粘土の湿地状堆積。	07H352	HR 294	13
九条三坊 一町	南・吉祥院西ノ庄東屋敷町52番地1の一部	12/21	-0.44m、時期不明の包含層（土師器）。 -0.72m、室町の包含層（土師器皿、須恵器）。 -1.08m以下、暗褐色砂礫の地山。	07H410	HR 338	12
九条三坊十四町	南・吉祥院宮ノ東町地先～中河原里北町 地先	9/11～10/25	№1；-0.6m、時期不明の土坑。 №4；-0.40m以下、オリブ褐色砂泥の地山。 №7；-0.34mで近世以降の包含層。 -0.40m以下、灰オリブ色砂泥の地山。	07H190	HR 239	12
九条三坊十四町	南・吉祥院中河原里北町40	8/17・20～23	№1；-0.75m以下、灰黄褐色砂礫の地山。 №2；-0.75mで黄褐色泥土の地山を切って時期不明の土坑。№3；-0.94mでオリブ褐色泥土の地山を切って時期不明の土坑。	07H153	HR 203	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
史跡御土居・御土居跡	北・紫野上柏野町～紫野西土居町地先	12/12～21	№3；-0.2mで黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	19C080	RH 332	22-2
引接寺境内	上・千本通寺之内上る西五辻北町433	6/21・25・28	-0.6mでにぶい黄褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07S037	RH 142	22-2
紫野斎院跡	上・大宮通西浦七々杜上る西入社突抜町251番地1	5/2	-0.2mで近世の包含層を切って石組の井戸。	06S528	RH 035	22-2
上京遺跡	上・大宮通寺之内下る花開院町129	8/27・28	-0.3mまで現代盛土。	06S725	RH 213	22-2
上京遺跡	上・室町通上立売上る西入裏岡町371	7/2～6	-0.9m、オリブ黒色砂泥の氾濫状堆積。	07S122	RH 160	20-1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
上京遺跡	上・堀川通今出川下る橋之上町369番1	6/18、7/6・11・13	No.1 ; -0.3m・-0.65m、室町末期の包含層(土師器皿) 2。No.2 ; -0.6m、時期不明の包含層(土師器小皿)。	07S136	RH 114	20-1
上京遺跡	上・東堀川通今出川下る東入西今町396番地、東堀川通元誓願寺上る村雲町406番地	5/14・16・17	-0.6m、近世以降の包含層。-0.85m、時期不明の包含層。	06S734	RH 055	20-1
上京遺跡	上・一条通烏丸西入広橋殿町400	11/19	-0.15mで黒褐色泥砂を検出。試掘調査済地点。	07H133	RH 300	20-1
室町殿跡(花の御所)	上・中御霊子町121-3・4	10/25・26	-0.04m、近世以降の包含層。-0.16m、江戸の包含層。	07S255	RH 279	20-1
室町殿跡(花の御所)	上・室町通上立売下る裏築地町93-5	12/5	-0.15m、近世以降の包含層。	07S318	RH 324	20-1
公家町遺跡	上・京都御苑3番地	7/17・18・19・20・24	No.1 ; -0.57m、平安末～鎌倉の包含層(土師器皿)。No.2 ; -0.2m、江戸中期の包含層(土師器皿、軒丸瓦、平瓦)。	07S159	RH 171	20-1
相国寺旧境内・上御霊遺跡	上・今出川通烏丸東入相国寺門前町地先	4/27～5/18	-0.26m、近世以降の包含層。	07S035	RH 033	20-1
大深町須恵器窯跡	北・西賀茂大深町8-1、9	6/29、9/27	-0.8m以下、明黄褐色泥土の地山。	07S232	RH 159	20-2
大深町須恵器窯跡	北・西賀茂大深町25-1、26	6/29～8/9	No.1 ; BM+1.25m以下、明黄褐色泥砂の地山。No.4 ; BM+0.18m以下、明黄褐色粘土の地山。	07S193	RH 158	20-2
大宮北山ノ前瓦窯跡	北・大宮北山ノ前町32-1	8/30、9/3	-0.4mまで現代盛土。	07S213	RH 223	20-2
大徳寺旧境内	北・紫野大徳寺町	7/23～8/23	-1.1mまで現代盛土。	07S031	RH 179	20-3
植物園北遺跡	北・上賀茂山本町47番3	11/12	-0.27mまで現代盛土。	07S325	RH 296	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂北大路町32番地の一部、31-1	10/2、12/13	-0.55mまで現代盛土。	07S292	RH 257	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂土門町81番1	6/19・20・21	No.1 ; -0.87m、時期不明の落込。No.2 ; -0.6m、時期不明の落込。	06S381	RH 137	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂畔勝町4番地	6/4	-0.3m、耕作土。	07S059	RH 085	22-1
植物園北遺跡	左・下鴨北芝町34-5	6/19～21・25～28	No.3 ; -0.6m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。No.4 ; -0.66m以下、褐色砂泥の地山。	07S026	RH 129	22-1
植物園北遺跡	左・下鴨南芝町14-7	6/11	-0.68mでオリブ黒色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07S046	RH 093	22-1
植物園北遺跡	左・下鴨前萩町19番1、19番9	5/8・9	-0.74m以下、オリブ褐色砂泥の地山。	07S023	RH 044	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂藪田町55-6、55-1	5/8～11	No.1 ; -0.6m以下、オリブ褐色砂泥の地山。No.3 ; -0.17m、時期不明の包含層。	06S530	RH 047	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂藪田町7-1	10/29・30	-1.34mで暗オリブ色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07S286	RH 282	22-1
植物園北遺跡・御土居跡	北・小山元町、上賀茂藪田町 地内	11/19～12/20	-1.2m、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。	07S287	RH 303	22-1

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
草木町遺跡	右・太秦京ノ道町20番地の5 京都市立常盤野小学校	7/27	-1.07m～-1.18m、平安中期の包含層(土師器皿)を切って鎌倉及び時期不明の土坑(土師器皿) 8。	07S197	UZ 188	16
太秦馬塚町遺跡	右・太秦中筋町28、27-1	6/7	No.1 ; -0.56m、近世の包含層。 No.3 ; -0.65m以下、明黄褐色砂泥の地山。	07S076	UZ 091	16
村ノ内町遺跡	右・常盤出口町14-26・41	10/10、11/7・8	弥生中期の遺物と古墳前期の落込を検出。 本報告28ページ。	07S224	UZ 262	16
村ノ内町遺跡	右・常盤出口町14番3の一部	7/18	-0.1mで暗褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07S048	UZ 170	16
上ノ段町遺跡	右・太秦西蜂岡町9-27	11/20・21	No.1 ; -0.52m、近世以降の包含層。 No.2 ; -0.52mで飛鳥の包含層(土師器甕)。	07S355	UZ 306	16
上ノ段町遺跡	右・太秦堀ヶ内町1-1の一部、1-6	11/27	-0.85m以下、褐色泥土の地山。 -0.54mで褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07S385	UZ 318	16

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
御所ノ内町遺跡	右・太秦御所ノ内町22、25-1	10/22	BM-0.51mまで現代盛土。試掘調査済地点。 『京都市内遺跡試掘調査報告 平成19年度』に掲載。	07S202	UZ 273	16
嵯峨野高田町遺跡	右・嵯峨野南浦町7、18-2、35-1	4/16・17	-0.45m、時期不明の包含層（土師器）。	06S750	UZ 016	16
音戸山古墳群	右・太秦三尾町1-216、1-362	10/1	-0.5mまで現代盛土。	07S261	UZ 255	24-4
音戸山古墳群	右・太秦三尾町1-232・363	9/10	BM+1.75m～+1.55mまで現代盛土。	07S173	UZ 236	24-4
音戸山古墳群	右・太秦三尾町1-217・355	10/29	-0.25mまで現代盛土。	07S300	UZ 283	24-4
仁和寺院家跡	右・宇多野馬場町11-8	9/25～ 10/10	-2.0m以下、にぶい黄橙色細砂の地山。	07S256	UZ 249	24-5

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
北白川廃寺	左・北白川山田町58番	12/14	BM+0.6m～+0.28mまで現代盛土。	07S387	KS 335	17
北白川廃寺	左・北白川山田町59-2	10/26～30	-0.32m以下、黄褐色細砂の地山。	07S301	KS 280	17
吉田上大路町遺跡・吉田二本松町遺跡・吉田山遺跡・吉田神社境内	左・吉田上大路町36番地	7/24・25	-0.4mまで現代盛土。	07S174	KS 180	17
吉田上大路町遺跡・吉田二本松町遺跡	左・吉田中上路町1番8	4/23	-0.1mで褐色泥砂を検出。 遺構、遺物は検出できず。	06S075	KS 026	17
吉田上大路町遺跡・白河街区跡	左・吉田下大路町8、8-1	9/3～7・ 10	-0.65m以下、黄褐色細砂の地山。	07S073	KS 229	17
白河街区跡	左・聖護院西町21-70、21-73、21-132	5/8、6/19	巡回時、工事終了。	06S295	KS 045	17
白河街区跡	左・岡崎西福ノ川町 地先	4/5～12	-1.0m以下、黄褐色砂礫の地山。	07S008	KS 005	17
白河街区跡	左・岡崎西福ノ川町22-11	4/5・6・11	-1.12mまで現代盛土。	06S735	KS 004	17
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎北御所町～岡崎南御所町地内	8/21～31、 9/3～28、 10/2～26	Na 6 ; -0.9m以下、にぶい橙色微砂の地山。 Na10 ; -0.9m、時期不明の包含層（土師器、緑釉陶器、瓦）。Na12 ; -1.27m、時期不明の包含層（青磁、土師器）。-1.6m以下、明緑灰色砂泥の地山。	06R546	KS 207	17
岡崎遺跡	左・岡崎法勝寺町90-1	12/10・ 18・19	BM-1.02mで黒褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S315	KS 328	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町13-2	4/5	BM-0.29mで黒褐色砂泥を検出。 遺構・遺物は検出できず。	06R668	KS 003	17
白河北殿跡	左・東丸太町16-7他	9/3・4	平安後期の包含層を検出。本報告29ページ。	07R169	KS 230	17
一乗寺松田町遺跡	左・一乗寺青城町115番	12/17・21	-0.4mまで現代盛土。	07S406	KS 336	24-1
御土居跡	上・河原町通広小路上る九軒町 439-2・4、438-1、北之辺町394-7・16	6/18～ 7/11	-0.3mで近世以降の包含層。	07S084	KS 115	24-6

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
御土居跡	中・河原町通御池下る下丸屋町403 他5筆	10/31、 11/1・2・ 5・7・9	No 1 ; -0.4m以下、褐色砂礫の氾濫状堆積。 No 2 ; -1.0m、時期不明の包含層（土師器）。 -1.2m以下、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。	07S171	RT 286	25-1
御土居跡	下・河原町通四条下る二丁目稻荷町 335番地	5/31~6/5	-2.15m以下、明黄褐色砂礫の地山。	06S657	RT 080	18
四条道場跡	中・新京極通四条上る中之町538番1 他	6/6	-2.95m以下、明黄褐色粗砂の地山。	06S555	RT 088	18
寺町旧域	下・四条通寺町東入る御旅町49	10/29~ 11/15	No 5 ; -1.35m以下、褐色砂礫の地山。	07S096	RT 281	18
建仁寺境内	東・大和大路通四条下る三丁目博多町 65 他	8/30・31、 9/3~7・ 10~13・ 18~21	No 1 ; -1.1m、時期不明の包含層（土師器）。 -1.2m・-1.5m、室町の包含層（土師器皿、焼 締陶器信楽甕、平瓦）2。No 2 ; -0.65m、時期 不明の包含層（青白磁、焼締陶器信楽）。 -1.5m、室町の包含層（土師器皿）。 No 3 ; -1.1m、時期不明の包含層（土師器）。 No 4 ; -1.0m、時期不明の包含層（土師器）。 No 5 ; -1.3m・-1.42m・-1.67m・-1.9m、室 町の包含層（土師器皿、焼締陶器信楽甕）4。 No 6 ; -1.95m・-2.15m、室町の包含層（土師 器皿）2。No 7 ; -1.1m、室町の包含層（焼締 陶器備前甕）。No 9 ; -1.1m、近世の包含層 （青磁）。-1.9m、時期不明の包含層（土師器）。 No 10 ; -1.3m、室町の包含層（土師器皿）。 -1.7m、室町の包含層（土師器皿、道具瓦、青 磁）。No 11 ; -0.75m、室町の包含層（土師器 皿、平瓦）。	07S210	RT 224	18
六波羅政庁跡	東・五条通問屋町東入る朱雀町~ 五条通大和大路西入石垣町西側 地先	9/5~10/2	-1.2mまで現代盛土。	07S285	RT 234	18
六波羅政庁跡	東・五条橋東四丁目415	9/18~21・ 25、 11/27~30	No 1 ; -1.4m、明治以降の包含層（焼締陶器窯 道具）。No 2 ; -1.6m、時期不明の落込。 No 3 ; -1.04m、中世の包含層（瓦器鍋）。 -1.38m、時期不明の包含層（土師器、平瓦）。 -1.54m以下、褐色粘土の地山。No 4 ; -1.16m・ -1.45m、時期不明の包含層（土師器）2。 No 6 ; -0.2m、明治の包含層（焼締陶器窯道具、 染付）。-1.32m以下、明黄褐色砂泥の地山。	07S181	RT 245	18
六波羅政庁跡	東・五条橋東五丁目~ 東大路五条下る常盤町 地先	10/15・16	-1.0m、時期不明の包含層（土師器）。	07S304	RT 264	18
六波羅政庁跡	東・正面町322	11/14	-1.14m以下、灰白色粘土+浅黄色泥砂の地山。 -0.25mで黒褐色泥砂を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S332	RT 297	18
六波羅政庁跡	東・鞆町通七条上る下堀詰町260	8/24	-0.6m、鎌倉前期の包含層（土師器皿）。	07S168	RT 210	18
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方広寺跡	東・茶屋町527	8/27・28	近世以降の石垣を検出。本報告20ページ。	07S258	RT 214	18
法住寺殿跡	東・今熊野池田町12	6/20~25	No 2 ; -0.54m以下、黄褐色細砂の地山。	07S065	RT 141	18
法性寺跡・ 法住寺殿跡	東・今熊野池田町~泉涌寺通東大路 西入門前町 地先	4/16・17・ 18	No 1 ; -0.6m以下、明黄褐色粘土の地山。 No 2 ; -0.36m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	07S018	RT 018	18
法性寺跡	東・本町通三ノ橋上る本町十七丁目 358番地 京都市立月輪小学校	7/26	-0.8mでオリーブ褐色砂礫を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S198	RT 185	23-1
中臣遺跡	山・栗栖野打越町3	7/4	BM-0.3m、中世の溝状遺構（土師器皿）。	07N182	RT 165	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-73	9/28	-0.2mまで現代盛土。	07N298	RT 253	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-71	4/11	-0.8mで黒褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	06N747	RT 011	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-69 (8号地)	9/19	-0.8mまで現代盛土。	07N291	RT 246	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-62	8/20	-0.46mまで現代盛土。	07N252	RT 206	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-66 (4号地)	5/16	-0.6mまで現代盛土。	07N053	RT 058	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-65 (3号地)	7/3	-0.9mまで現代盛土。	07N151	RT 164	24-2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
中臣遺跡	山・東野舞台町97-64	8/7	BM-0.42mまで現代盛土。	07N247	RT 198	24-2
中臣遺跡	山・東野舞台町97-61	12/12	-0.62mまで現代盛土。	07N419	RT 333	24-2
中臣遺跡	山・栗栖野打越町36番1の1部、34番2	9/26・27	BM+0.3m以下、黄褐色砂泥の地山。	07N308	RT 251	24-2
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎336番地	10/17・ 18・23	-0.82m以下、暗褐色砂礫の地山。78年度発掘調査済地点。	07N246	RT 267	24-2
日ノ岡堤谷 須恵器窯跡	山・御陵封ジ山町1-88	11/26	-0.30m以下、にぶい黄橙色砂泥の地山。	07S348	RT 308	25-2
山科本願寺跡	山・西野広見町5-13	11/20	-0.27mまで現代盛土。	07S357	RT 305	25-3
山科本願寺跡	山・東野舞台町6-3他	5/28～ 10/31	No 1 ; BM-1.24mで褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	06S464	RT 073	25-3
山科本願 寺南殿跡	山・音羽伊勢宿町4の一部	11/12	-0.23mで暗褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S338	RT 298	25-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
久我殿遺跡	伏・久我本町3-2	4/9	-0.31m、近代以降の包含層。	06S717	TB 008	19
久我東町遺跡	伏・羽束師鴨川町192番地の2、 192番地の3	9/20	-1.9mまで現代盛土。	07S235	TB 248	19
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡・ 竹田城跡	伏・竹田向代町川町	11/26～ 12/4	No 1 ; -1.4m、平安後期の湿地状堆積 (瓦器碗)。 No 3 ; -0.9m、鎌倉後期～室町初期の包含層 (土師器皿)。	07T345	TB 315	21-1
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡	伏・中島鳥羽離宮町71	4/25、 6/11	-1.73m、オリーブ灰色粘土の湿地状堆積。	07T003	TB 029	21-1
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡	伏・中島北ノ口町10番地	5/8	-0.35mまで現代盛土。	07T121	TB 074	21-1
鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡	伏・中島堀端町149	10/1	-0.3mまで現代盛土。	07T316	TB 254	21-1
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町 地内	11/15～ 12/4	-2.8mまで現代盛土。	07T257	TB 299	21-1
唐橋遺跡	南・吉祥院九条町20	6/19～7/19	-2.1mまで現代盛土。	07S148	TB 136	21-2
石原城跡	南・吉祥院石原町61-6・2及び301	5/31～ 8/23	No 1 ; -0.66m、近世以降の包含層。 No 2 ; -0.5m以下、にぶい黄橙色泥土の地山。	07S002	TB 081	21-3
石原城跡	南・吉祥院石原町61-16	10/24	-0.3mまで現代盛土。	07S343	TB 276	21-3
石原城跡	南・吉祥院石原町61-13	10/24	-0.08mで黄褐色泥砂を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S344	TB 277	21-3
深草遺跡	伏・深草西浦町3丁目62番	4/12	-0.2mまで現代盛土。	06S680	TB 012	25-5
深草遺跡	伏・深草綿森町29-7・8、30-7・8	7/17～27	-0.8m以下、明黄褐色砂泥の地山。	07S150	TB 172	25-5

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
御香宮廃寺跡・伏見城跡	伏・桃山町松平筑前地先～鍋島町地先	10/9～24	-1.15mで明黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07F088	FD 261	14
伏見城跡	伏・深草泓ノ壺町地先～鑪屋町地先	9/11～11/22	-1.1mで近世以降の包含層。-1.4m以下、明黄褐色砂礫の地山。	07F086	FD 240	14
伏見城跡	伏・深草大亀谷内膳町8番4の一部	7/23	-0.25mで黄褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07F189	FD 181	14
伏見城跡	伏・桃山町丹下9の一部 9-4の一部	5/17	-1.35mで明黄褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07F102	FD 061	14
伏見城跡	伏・桃山長岡越中北町～桃山町松平筑前地先 (一般国道24号)	10/9～31、11/1	No.2 ; -1.05m、明治の包含層 (平瓦、磁器碗)。No.3 ; -1.87m以下、明褐色砂泥礫混の地山。	07F087	FD 260	14
伏見城跡	伏・御駕籠町151	6/18～27	-0.15m、近世以降の包含層。	06F759	FD 116	14
伏見城跡	伏・銀座町3丁目307	8/28・30	-0.9mで時期不明の土坑。	07F164	FD 216	14
伏見城跡	伏・河替町4丁目291	8/28～9/13	-2.3m以下、褐色粘土の地山。	07F170	FD 217	14
伏見城跡	伏・鍋島町8番	6/19・25	-0.4mで炭を含む暗褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	07F017	FD 134	14
伏見城跡	伏・鍋島町地先～豊後橋町地先	10/18～31、11/1～22	-0.9m・-1.08m、近世以降の路面2。-1.26m、近世の包含層 (軒平瓦)。	07F089	FD 269	14
伏見城跡	伏・深草大亀谷万帖敷町91-5	9/3・4	BM+2.69m以下、明黄褐色泥土の地山。	07F225	FD 231	15
伏見城跡隣接地	伏・桃山町安芸山10番39	6/18	-0.3mまで現代盛土。	07F109	FD 117	15
中山遺跡	伏・桃山町日向～小栗栖中山田町地先	10/22・23	-1.6mまで現代盛土。	07S347	FD 271	15
正覚寺跡隣接地	伏・深草願成寺町6番1	7/31、8/1	-0.17m以下、灰白色微砂の地山。	07S176	FD 194	23-1
伏見稲荷大社境内	伏・深草藪之内町68他69筆	4/27、5/22	BM-1.95mで黄褐色岩盤を切って平安の落込 (黒色土器甕)。	06S020	FD 032	23-1
深草坊町遺跡	伏・深草真宗院山町27-5	5/17・18	-0.2m、近世の包含層 (土師器)。-0.5m、古墳後期の包含層 (土師器)。	07S082	FD 060	25-6
深草坊町遺跡	伏・深草僧坊町54-3	10/22～24	-0.2m、時期不明の包含層 (平瓦)。	07S106	FD 275	25-6
醍醐古墳群	伏・醍醐内ヶ井戸15-5	5/29・31	-0.15mまで現代盛土。	06S637	FD 076	25-7
醍醐古墳群	伏・醍醐内ヶ井戸23-2 他	7/2～8/6	-0.6m以下、明黄褐色砂泥の地山。	07S144	FD 162	25-7
向島城跡	伏・向島善阿弥町40番2	6/4・5	-0.75mまで現代盛土。	07S108	FD 086	26-1

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
左京三条三坊十一町	伏・久我西出町 地内	5/7～24	-0.8m、オリーブ褐色泥土の湿地状堆積。	06NG691	NG 041	19
左京三条三坊十二町	伏・羽束師菱川町～久我西出町 地先	5/11～29	-1.55m、暗オリーブ灰色粘土の湿地状堆積。	07NG092	NG 053	19
左京三条三坊十二町	伏・久我西出町	9/25・26・27	-1.1mで黒褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	07NG269	NG 250	19
左京三条三坊十四町	伏・久我西出町 地先	9/20・25	-0.9mまで現代盛土。	07NG310	NG 247	19
左京三条四坊十三町	伏・久我森ノ宮町 地内	6/11～27	-1.35mまで現代盛土。	06NG685	NG 097	19
左京七条四坊八町	伏・淀樋爪町634-1番地 他	9/10・11・13・18・26	BM-8.4mで暗褐色泥土を検出。遺構、遺物は検出できず。	06NG620	NG 237	19
左京九条三坊十二町	伏・納所町574・575番	5/15	BM-0.75mまで現代盛土。	07NG055	NG 057	26-2

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	受付番号	調査No.	図版
上久世遺跡	南・久世上久世町337番地	4/10・12	古墳時代の竪穴住居跡を検出。本報告23ページ。	06S659	MK 009	23-2
上久世遺跡	南・久世上久世町353番	9/4	BM-0.27mまで現代盛土。	07S203	MK 232	23-2
上久世遺跡	南・久世上久世町384番	6/12~7/20	-0.5m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	07S050	MK 102	23-2
中久世遺跡	南・久世中久世町2丁目93番、95番	10/24	-0.2mまで現代盛土。	07S305	MK 278	23-2
中久世遺跡	南・久世中久世4丁目	6/19~ 11/22	BM-0.58m、耕作土。試掘調査済地点。	06S761	MK 135	23-2
中久世遺跡	南・久世中久世町三丁目106・107番地	10/18	-2.7mまで現代盛土。	07S293	MK 270	23-2
中久世遺跡	南・久世殿城町97番2(一部)、 97番3(一部)、98番2	6/18・19・ 25	-1.26m以下、黄褐色泥土の地山。	07S029	MK 118	23-2
中久世遺跡・ 大藪遺跡	南・久世大藪町 他地内	4/17	-1.0mまで現代盛土。	06S712	MK 017	23-2
榎原遺跡	西・榎原角田町1-17の一部	6/13	-0.15mまで現代盛土。	07S094	MK 105	26-4
榎原遺跡	西・榎原角田町1-17の一部	6/13	-0.2mまで現代盛土。	07S093	MK 104	26-4
上里北ノ町遺跡	西・大原野上羽町~大原野上里南ノ町 地先	6/15	巡回時、工事終了。	07S125	MK 108	26-5
福西古墳群	西・大枝東長町1-209	6/27・28	-1.67mまで現代盛土。	07S131	MK 151	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町1-542	6/18・27	-0.9m以下、黄褐色粘土の地山。	07S099	MK 119	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町1-557	8/29	-0.6m、近世以降の包含層。	07S191	MK 219	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町1-552	8/31	-0.4mで明黄褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S249	MK 227	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町1-11・566	9/27	BM+0.18mで明褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S311	MK 252	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町 地先	4/26、5/2	-0.41mで褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。	07S032	MK 031	26-6
安岡遺跡	西・大原野南春日町 地内	6/11、7/25	-0.53mまで現代盛土。	07S034	MK 098	26-7

報告書抄録

ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさほうこく							
書名	京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	卜田健司・吉本健吾							
編集機関	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL 075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL 075-222-3108							
発行年月日	西暦2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
へい 平 左 二 安 京 北 辺 八 町 跡	きょうとしなにかみぎょうくいちじょうどおり 京都市上京区一条通 おがわがしるにしのくちちょう 小川東入西之口町	26100		35度 01分 34秒	135度 45分 17秒	2007/6/19～ 2007/6/20		共同住宅
へい 平 左 二 安 京 一 条 九 町 跡	きょうとしなにかみぎょうくあぶらのこうじどおり 京都市上京区油小路通 かみちようじやまきさがるかめやちよう 上長者町下る亀屋町 125-2	26100		35度 01分 25秒	135度 45分 11秒	2007/5/28～ 2007/7/17		住宅
へい 平 左 一 安 京 四 条 四 町 跡	きょうとしなにかみぎょうく 京都市中京区 みぶごしよのうちちよう 壬生御所ノ内町27番1 他2筆	26100		35度 00分 13秒	135度 44分 39秒	2007/2/8～ 2007/2/13		共同住宅
へい 平 左 一 安 京 二 条 八 町 跡	きょうとしなにかみぎょうく 京都市中京区壬生賀陽 ごしよちよう 御所町64番1、64番15、 64番14、64番25	26100		35度 00分 11秒	135度 44分 40秒	2007/3/23～ 2007/3/28		共同住宅
へい 平 右 二 安 京 二 条 二 町 跡	きょうとしなにかみぎょうく 京都市中京区 にしのきょうみなみちようまち 西ノ京南両町34番1の 一部	26100		35度 01分 00秒	135度 44分 09秒	2007/7/25～ 2007/7/26		住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平 安 京 左 京 北 辺 二 坊 八 町 跡	都城跡	平安時代	路面	土器類				
平 安 京 左 京 一 条 二 坊 九 町 跡	都城跡	江戸時代	石室	土器類				
平 安 京 左 京 四 条 一 坊 四 町 跡	都城跡	平安時代	護岸遺構	土器類				
平 安 京 左 京 五 条 一 坊 八 町 跡	都城跡	平安時代	溝状遺構	土器類・瓦類				
平 安 京 右 京 二 条 二 坊 二 町 跡	都城跡	平安時代～ 室町時代	瓦組暗渠	土器類・瓦類				

報告書抄録

ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさほうこく							
書名	京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	卜田健司・吉本健吾							
編集機関	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL 075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL 075-222-3108							
発行年月日	西暦2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
へい 平 安 京 右 京 二 条 に ぼうじゅうごちようあと 二 坊 十 五 町 跡	きょうとしなかがきょうくにしのきょうなか 京都市中京区西ノ京中 みかどひがしまち 御門東町40-2、40-3、 40-4、40-5の一部	26100		35度 01分 00秒	135度 43分 48秒	2007/5/14~ 2007/5/21		共同住宅
へい 平 安 京 右 京 八 条 に ぼうじゅうごちようあと 二 坊 十 町 跡	きょうとししもぎょうく 京都市下京区 しちじょうごしよのうちきたまち 七条御所ノ内北町97	26100		34度 59分 12秒	135度 43分 58秒	2007/2/20~ 2007/2/27		共同住宅
ほうじゅうじ 法住寺殿跡・ らくはらせいちようあと 六波羅政庁跡・ ほうこう 方 広 寺 跡	きょうとしひがしやまく 京都市東山区 ちやちよう 茶屋町527	26100	546・540	34度 59分 24秒	135度 46分 23秒	2007/8/27~ 2007/8/28		耐震診断 調査
かみ 上 久 世 遺 跡	きょうとしみなみく 京都市南区 くぜかみくぜちよう 久世上久世町337番地	26100	763	34度 57分 52秒	135度 42分 42秒	2007/4/10~ 2007/4/12		共同住宅
へい 平 安 京 左 京 二 条 さん ぼう さん ちようあと 三 坊 三 町 跡	きょうとしなかがきょうくかまんざどおり 京都市中京区釜座通 たけやまちさがるかめちよう 竹屋町下る亀屋町330、 334-1、334-3	26100		35度 00分 56秒	135度 45分 20秒	2007/6/19~ 2007/7/11		共同住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平 安 京 右 京 二 条 二 坊 十 五 町 跡	都城跡	平安時代	溝	土器類・瓦類				
平 安 京 右 京 八 条 二 坊 十 町 跡	都城跡	平安時代	溝状遺構	土器類				
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方 広 寺 跡	都城跡	江戸時代以降	石垣	土器類				
上 久 世 遺 跡	集落跡	古墳時代	竪穴住居	土器類				
平 安 京 左 京 二 条 三 坊 三 町 跡	都城跡	桃山時代		瓦類				

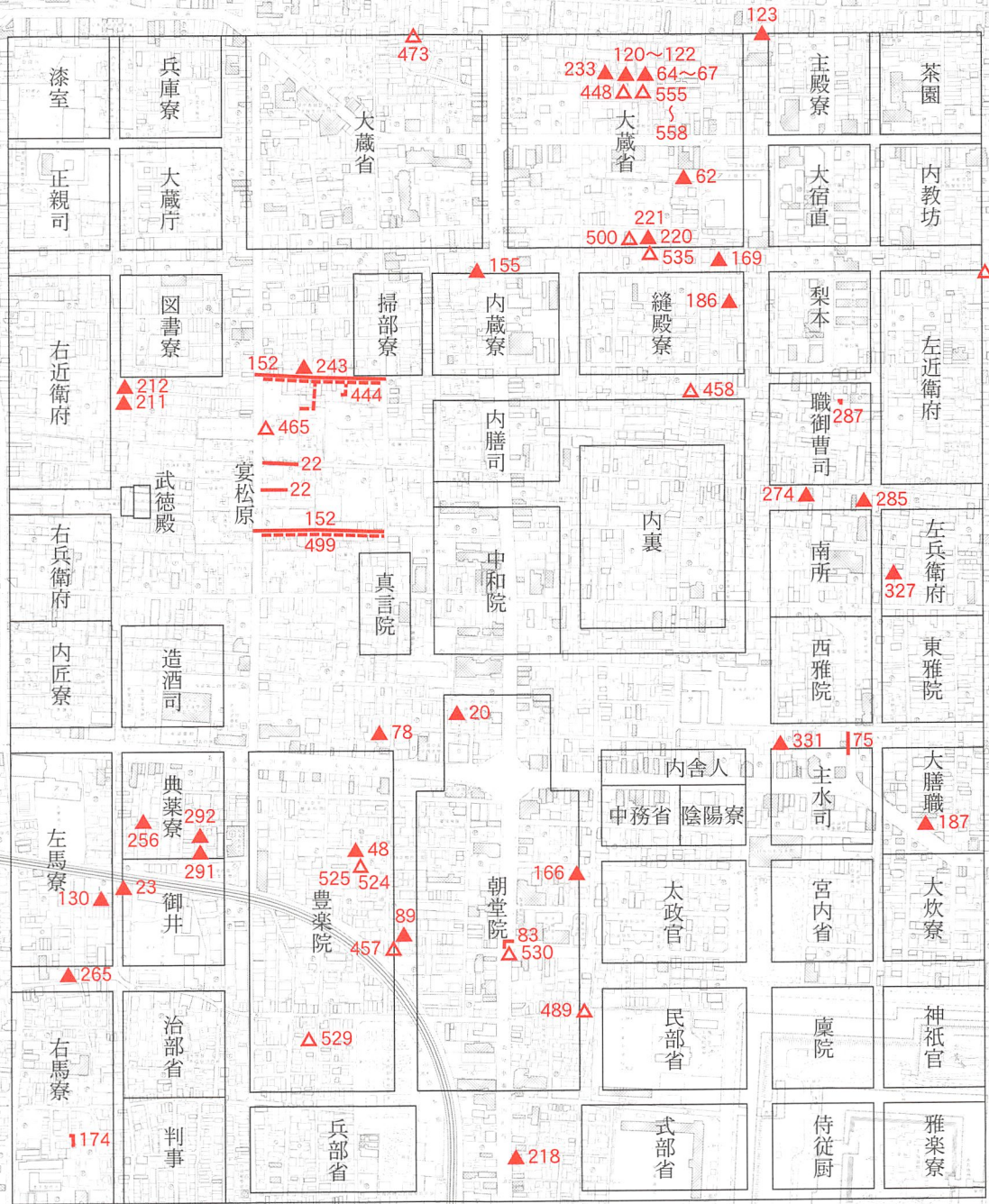
報告書抄録

ふりがな	きょうとしなしいせきたちあいちょうさほうこく							
書名	京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	ト田健司・吉本健吾							
編集機関	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL 075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL 075-222-3108							
発行年月日	西暦2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
へい 安 左 二 坊 九 町 跡	きょうとしなかがきょうく 京都市中京区 さんじょうどおりあぶらのこうじさがる 三條通油小路下る さんじょうあぶらのこうじちょう 三條油小路町172番2	26100		35度 00分 28秒	135度 45分 12秒	2007/6/19~ 2007/7/19		住宅
むら ノ 内 町 遺 跡	きょうとしうきょうく 京都市右京区 とまわでぐちちょう 常盤出口町14-26・41	26100	907	35度 01分 12秒	135度 42分 39秒	2007/10/10~ 2007/11/8		児童福祉 施設
しら か わ きた どの あ と 白 河 北 殿 跡	きょうとしまきょうく 京都市左京区 ひがしまるたちょう 東丸太町16-7他	26100	417-8	35度 01分 03秒	135度 46分 29秒	2007/9/3~ 2007/9/4		共同住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平 安 京 左 京 四 条 二 坊 九 町 跡	都城跡	平安時代	土壇	土器類				
村ノ内町遺跡	集落跡	弥生時代	包含層	土器類				
白河北殿跡	都城跡	平安時代	包含層	瓦類				

版 圖

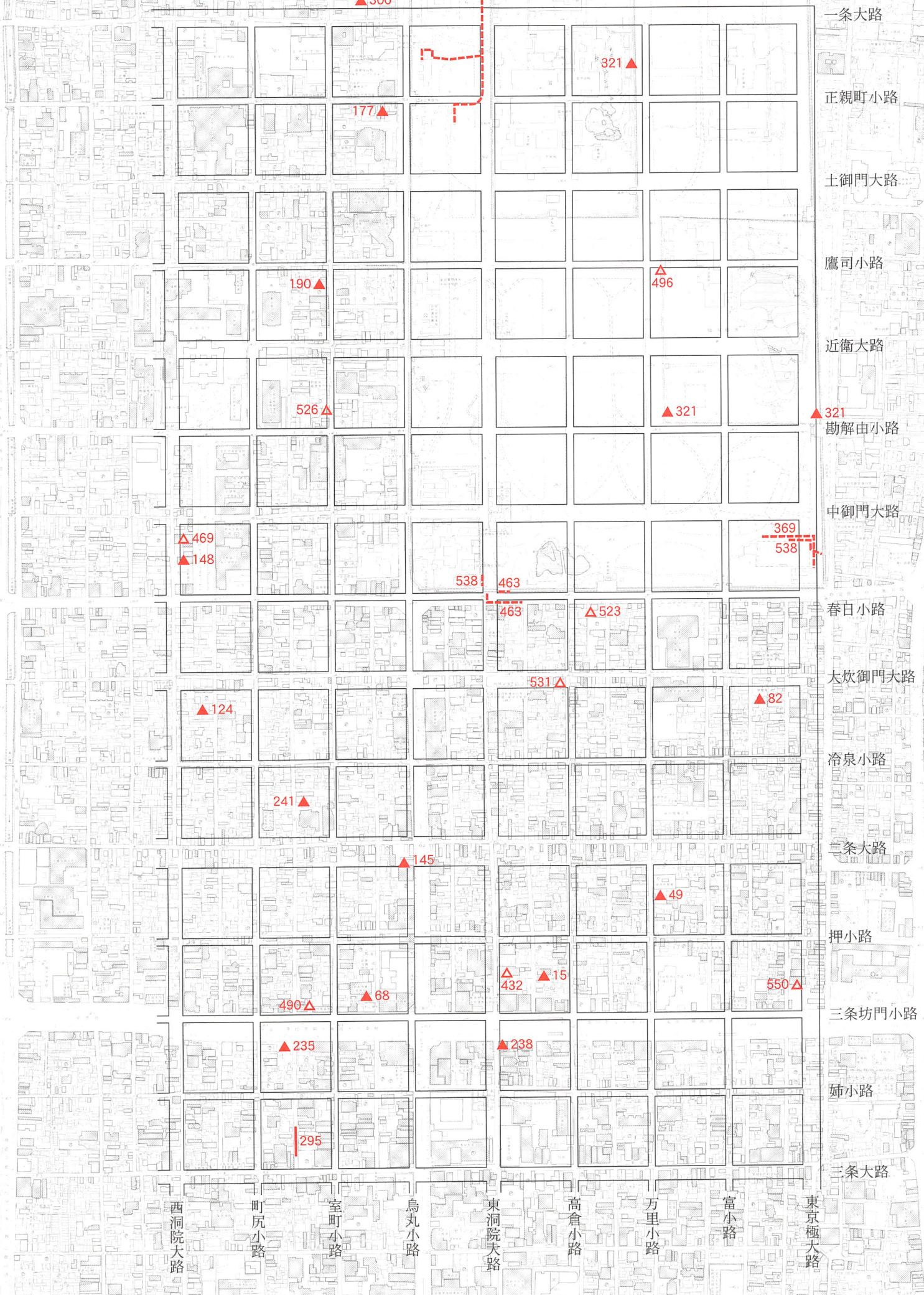
凡 例

- △ ----- 2007年1～3月期（平成18年度）立会調査地点
- ▲ —— 2007年4～12月期（平成19年度）立会調査地点





平安京左京北辺～三条三・四坊



▲300

369

▲496

▲321

321▲

177▲

190▲

▲496

526▲

▲321

▲469
▲148

538

463

369
538

▲523

531▲

▲124

▲82

241▲

145

▲49

490▲

▲68

▲432

▲15

550▲

▲235

▲238

295

西洞院大路

町尻小路

室町小路

烏丸小路

東洞院大路

高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路

一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

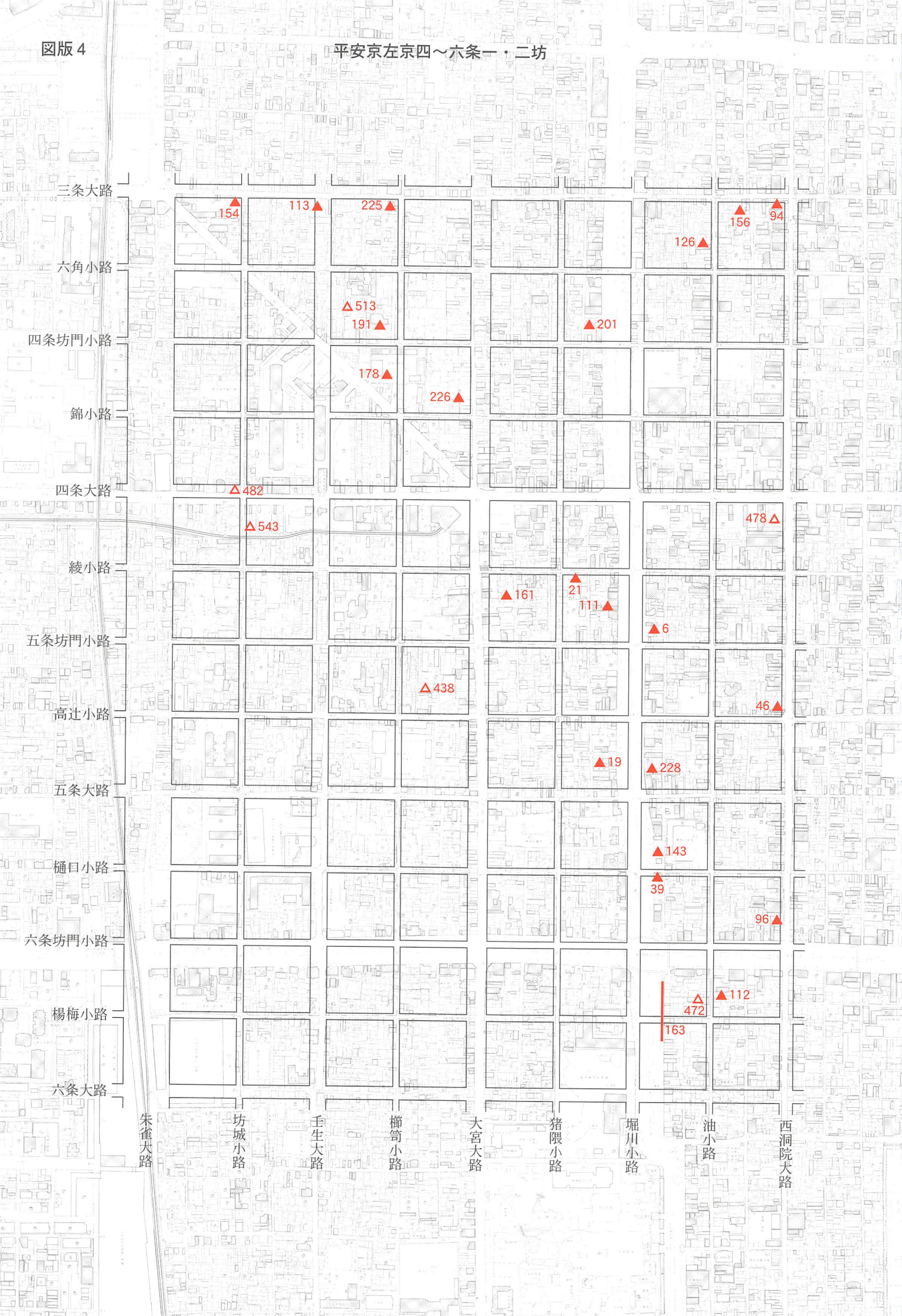
三条大路

押小路

三条坊門小路

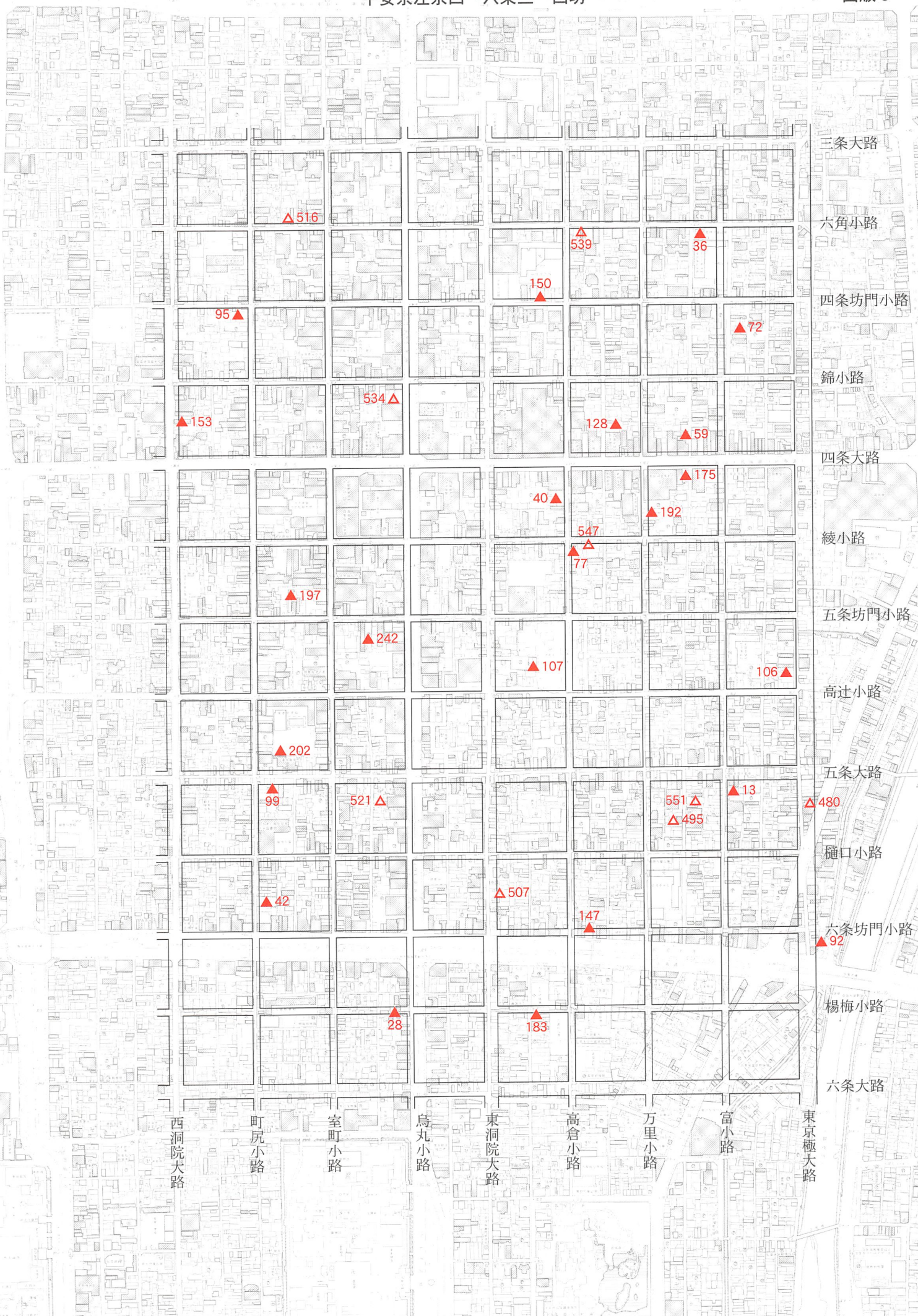
姉小路

三条大路



三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋目小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路

朱雀大路
坊城小路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路





六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

朱雀大路

坊城小路

壬生大路

櫛筒小路

大宮大路

猪隈小路

堀川小路

油小路

西洞院大路

479 ▲

▲125

▲30

103

200

110 ▲

84 ▲

189 ▲

54

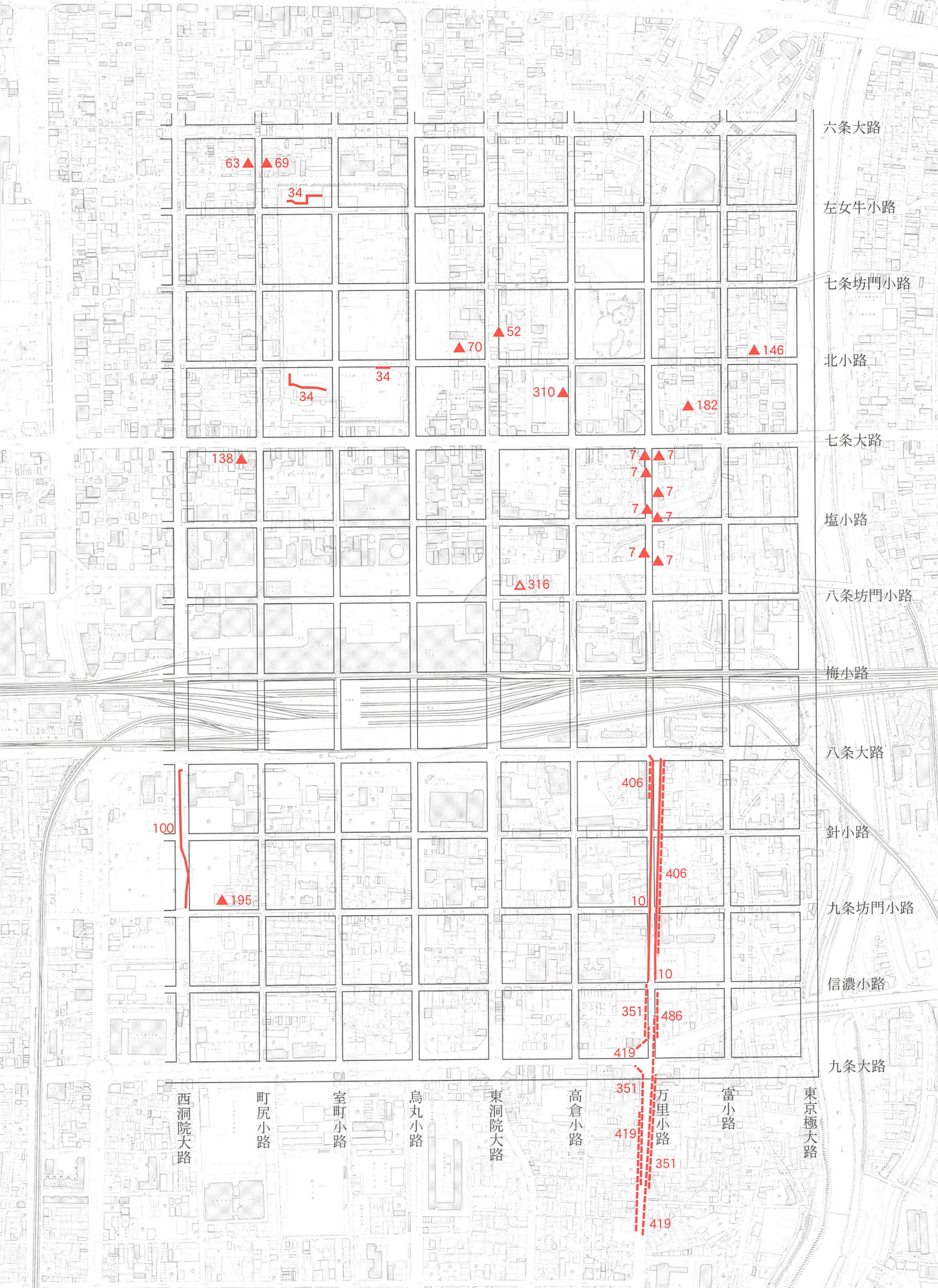
222
51 ▲
27 ▲ 50

293 ▲

100

149

149



六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西洞院大路

町尻小路

室町小路

烏丸小路

東洞院大路

高倉小路

萬里小路

富小路

東京極大路



一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

三条大路

▲ 139

▲ 167

▲ 43

▲ 56

370

▲ 184

▲ 199

133

▲ 25

▲ 312

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西朝負小路

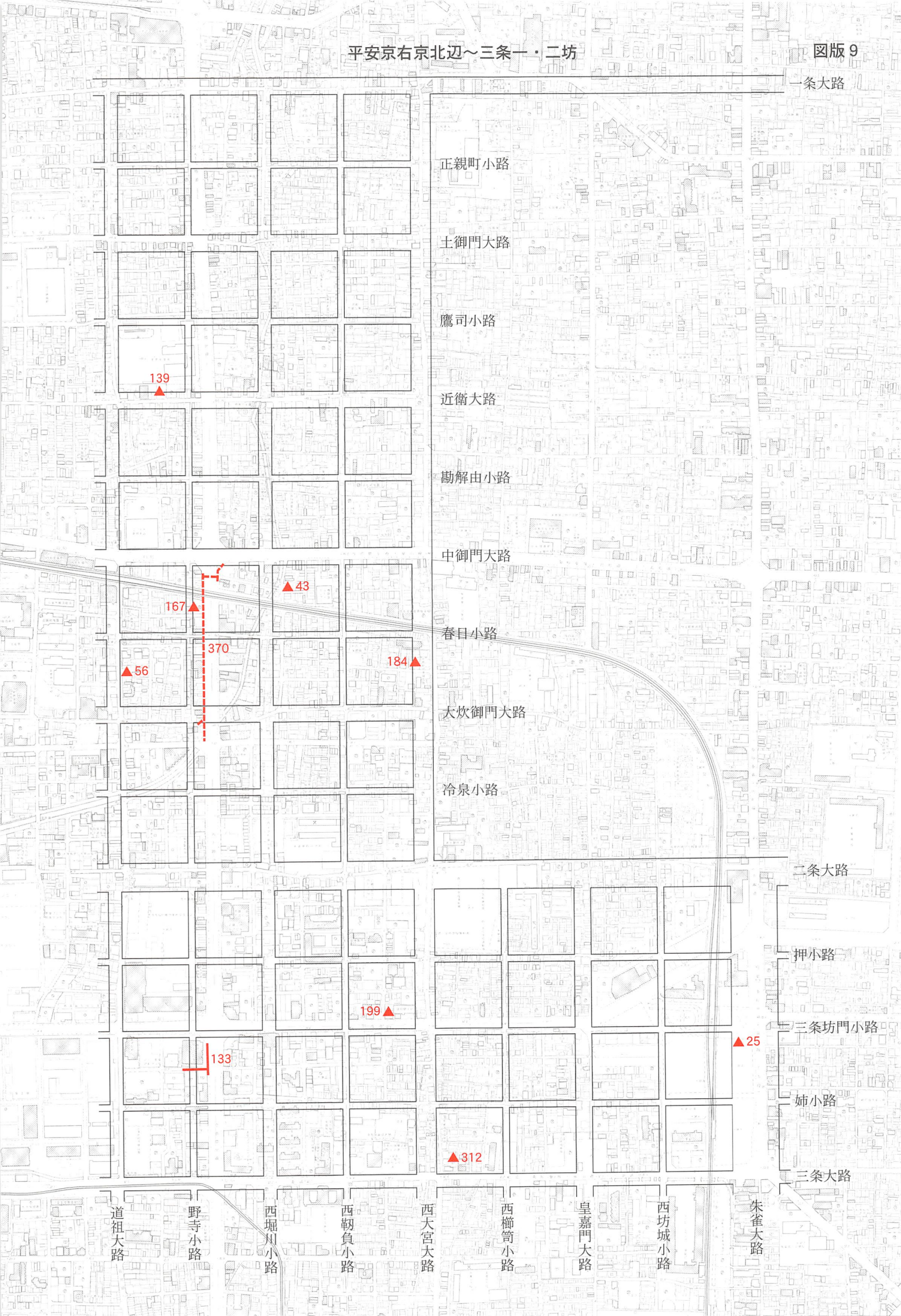
西大宮大路

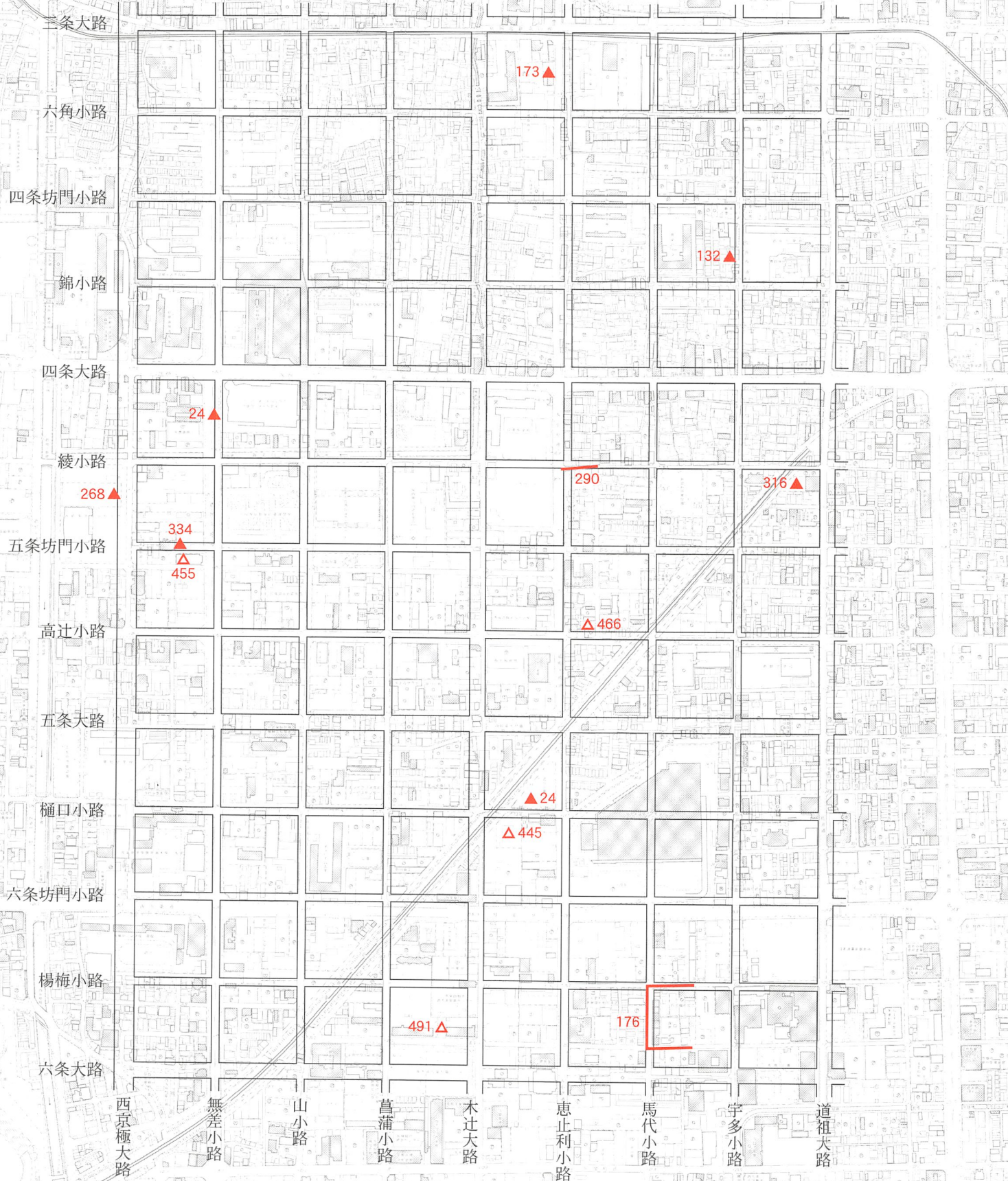
西櫛筒小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路







三条大路

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四條大路

綾小路

五條坊門小路

高辻小路

五條大路

樋口小路

六條坊門小路

楊梅小路

六條大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

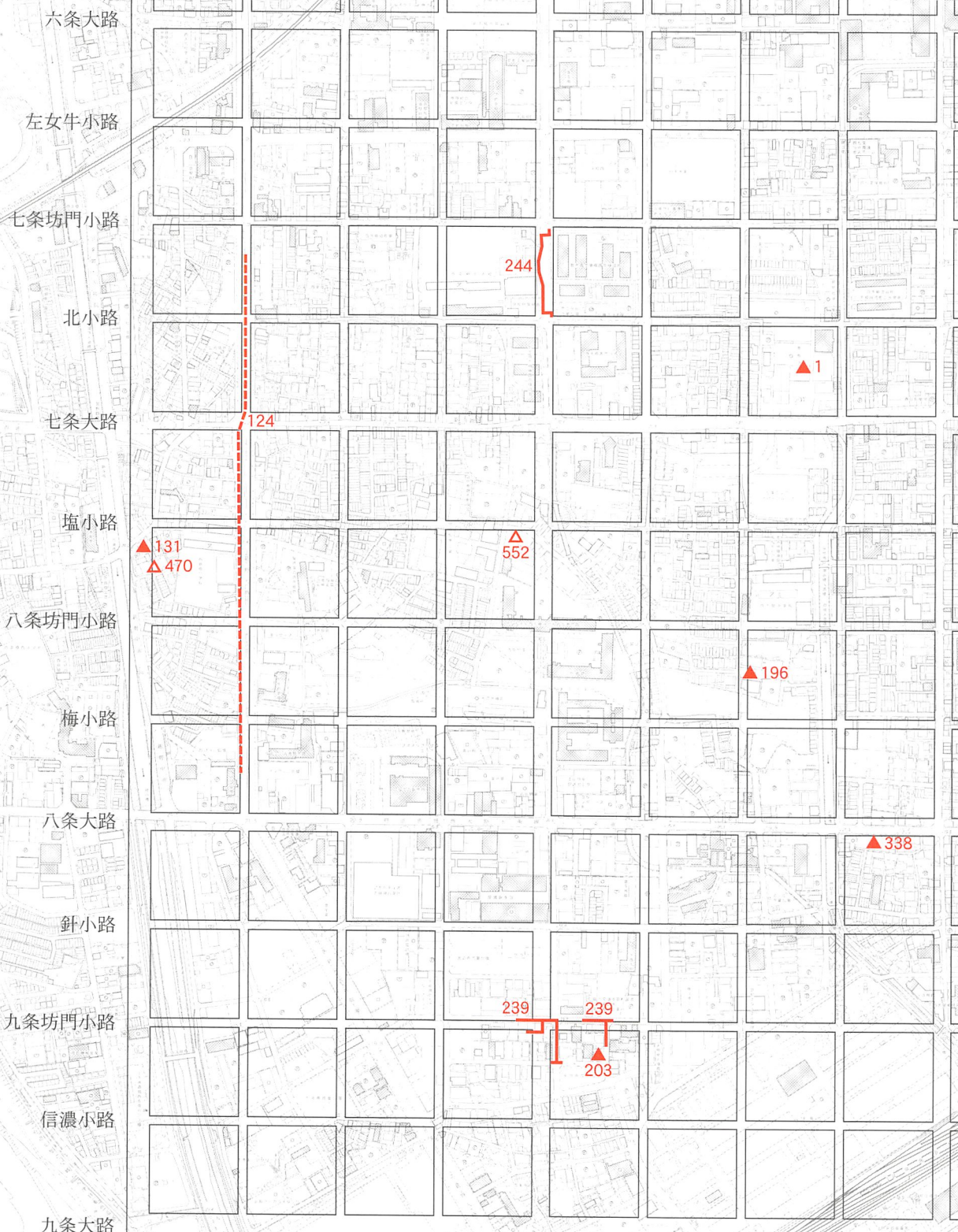
西大宮大路

西櫛笥小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路



西京極大路

無差小路

山小路

菖蒲小路

木辻大路

惠止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路



道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

西大宮大路

西櫛笥小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路

六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

149

149

294

79

140

483

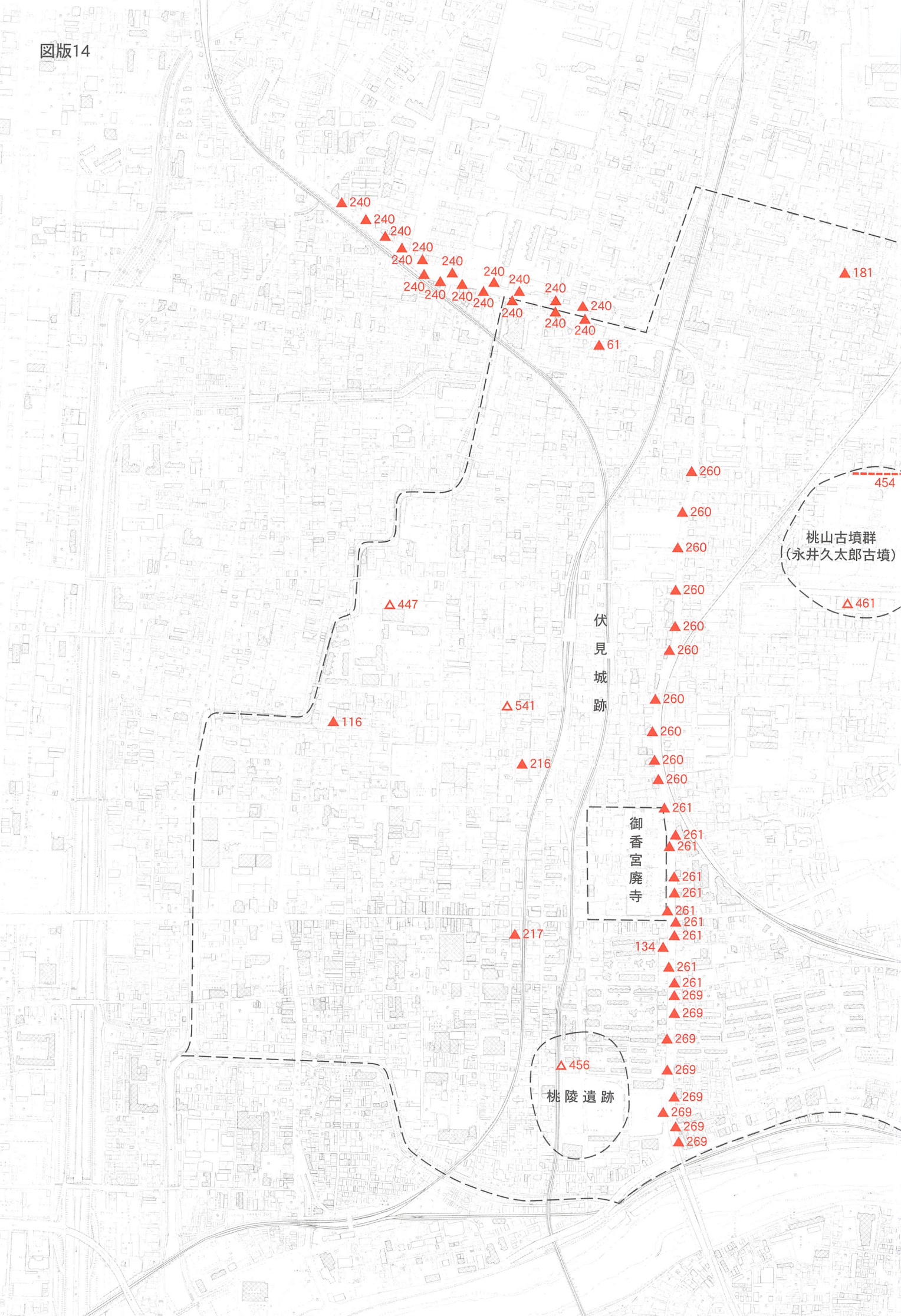
477

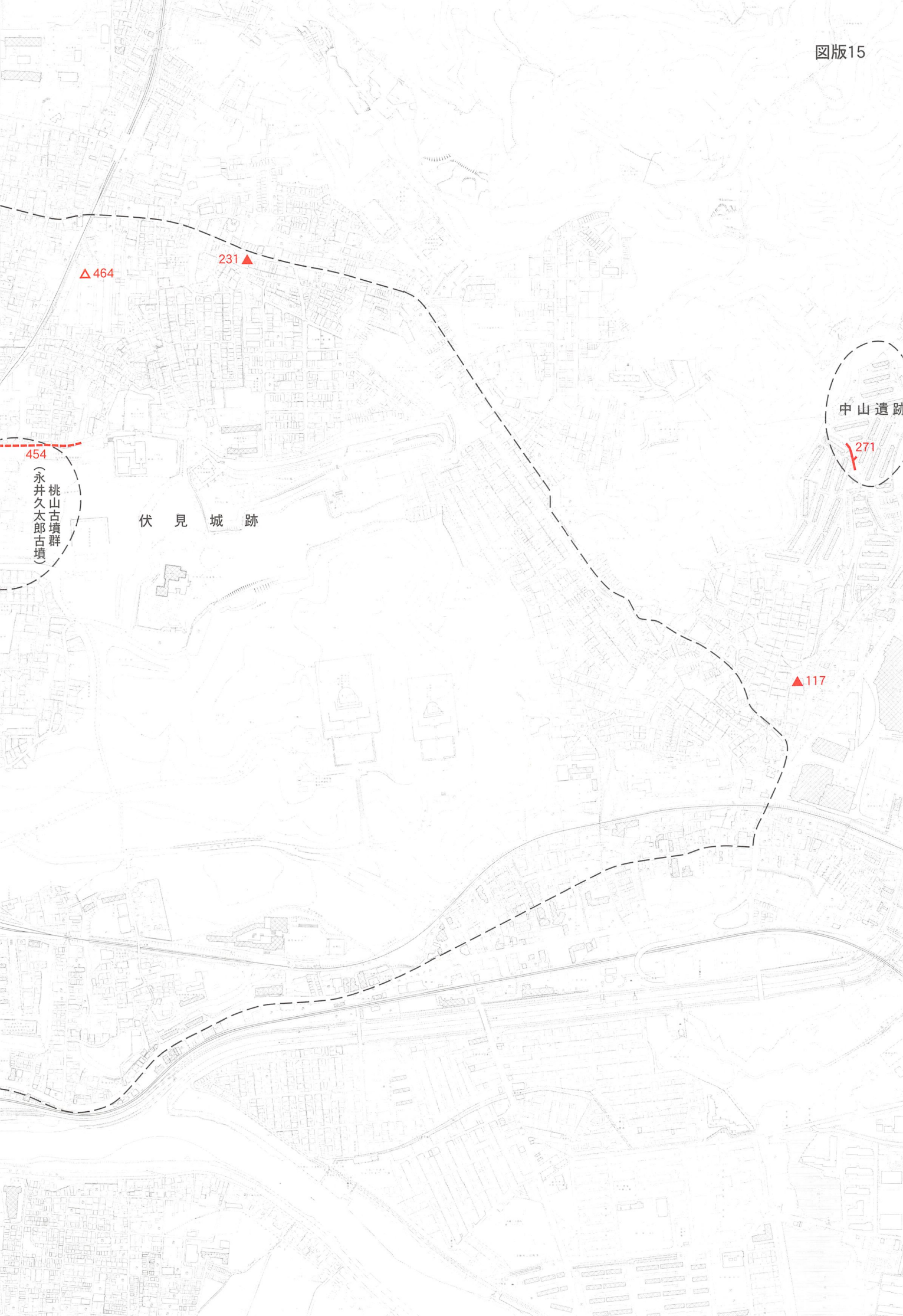
488

494

492

537





▲464

▲231

▲454

桃山古墳群
(永井久太郎古墳)

伏見城跡

中山遺跡

▲271

▲117



北白川廃寺

▲ 335

▲ 280

吉田上大路町遺跡

吉田山遺跡

吉田神社境内

▲ 180

▲ 26

吉田二本松町遺跡

▲ 229

真如堂境内

▲ 474

▲ 474

▲ 45

白河街区跡

▲ 5

▲ 4

▲ 230

白河北殿跡

▲ 493

白河南殿跡

▲ 522

岡崎遺跡

▲ 207

▲ 453

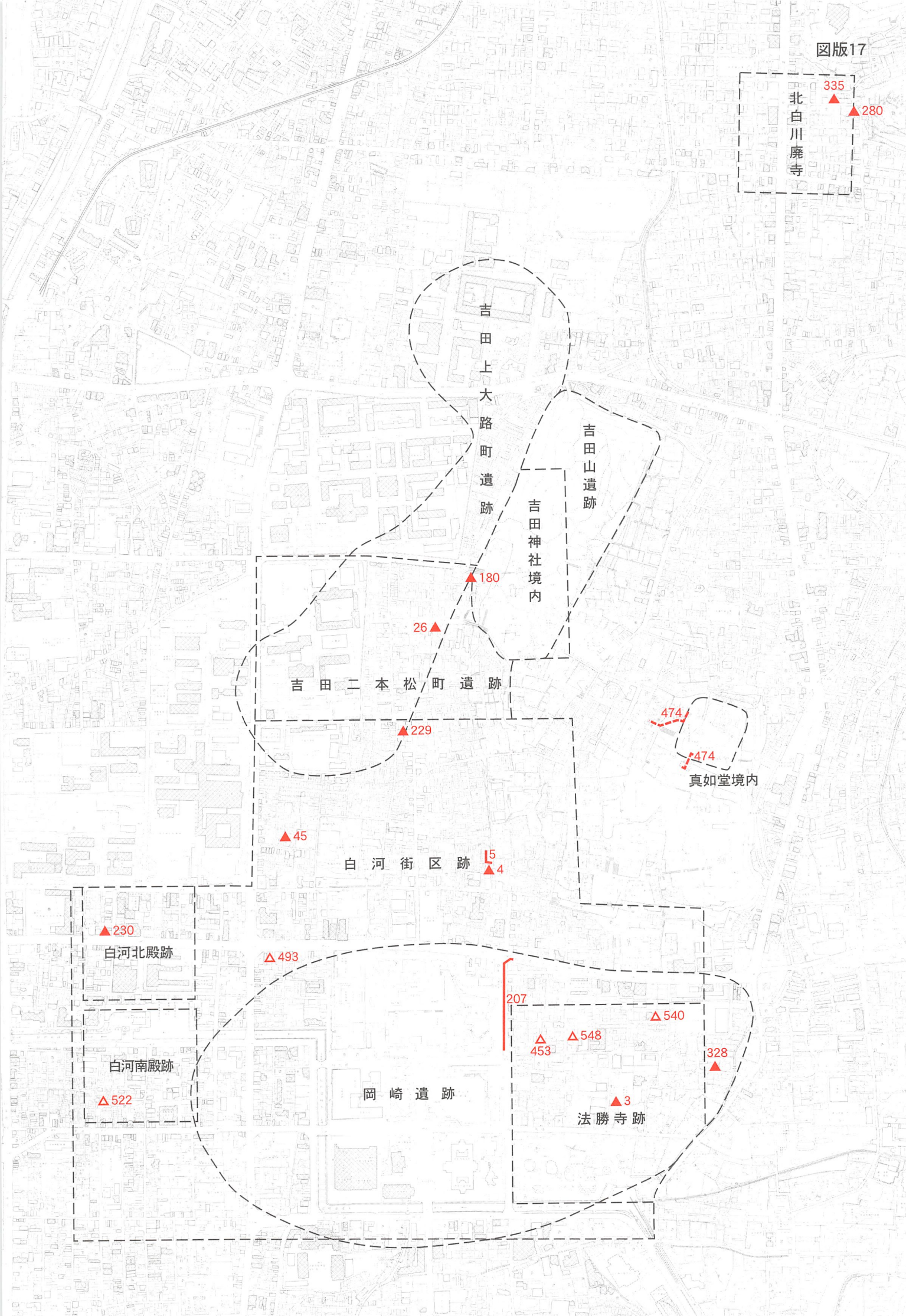
▲ 548

▲ 540

▲ 328

法勝寺跡

▲ 3



四条道場跡

寺町旧域

御土居跡

建仁寺境内

清水寺境内

六波羅政庁跡

方広寺跡

法住寺殿跡

法性寺跡

▲88

▲281

▲80

▲224

▲245

▲508

▲503

234

264

▲297

▲210

▲214

▲532

▲532

▲214

▲214

▲141

▲141

▲141

18



久我殿遺跡

▲8

53
41
250
247

97

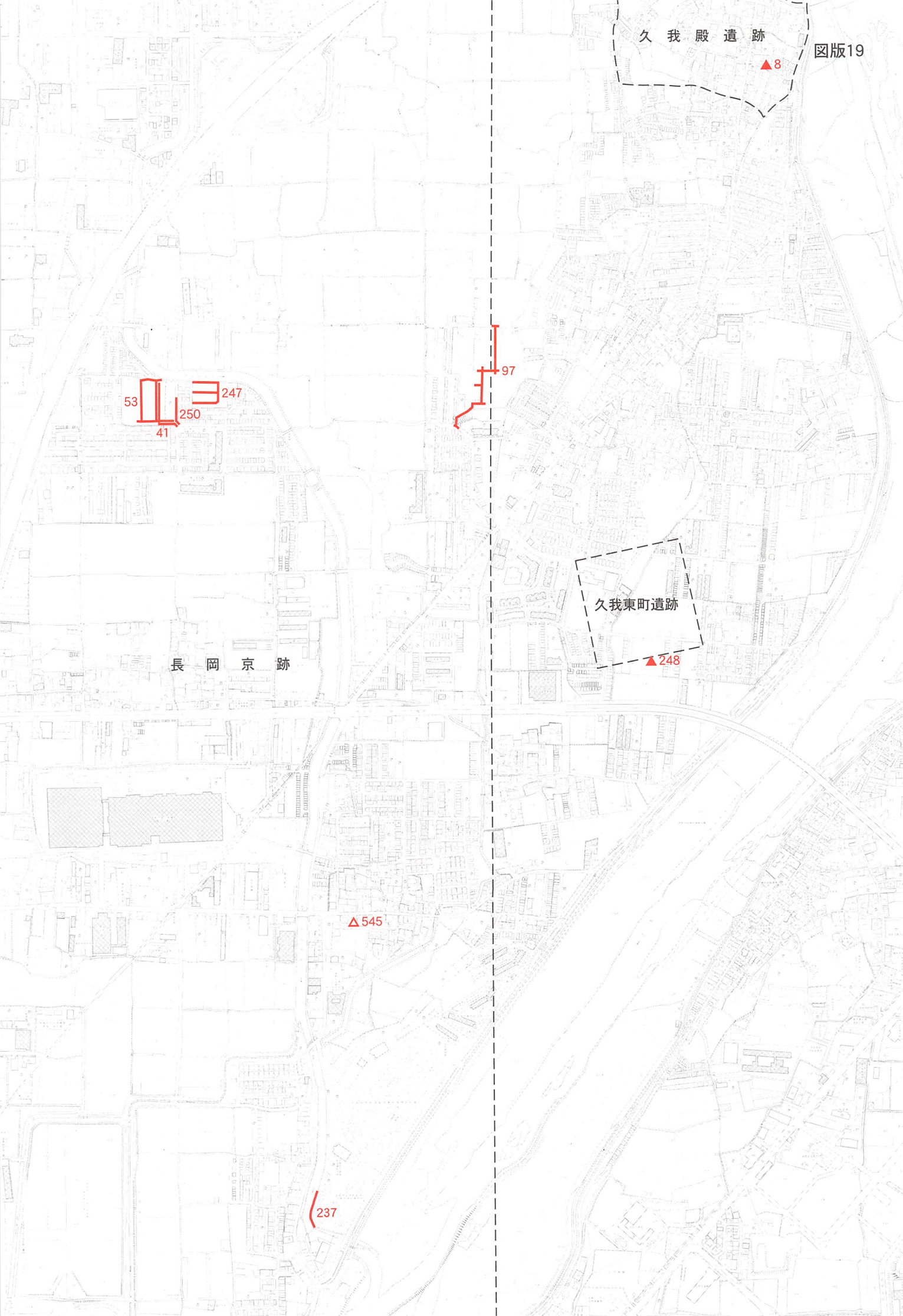
久我東町遺跡

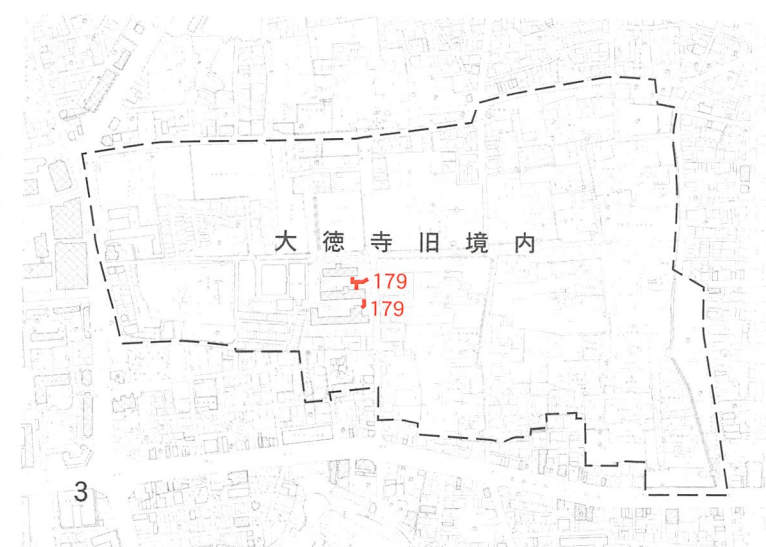
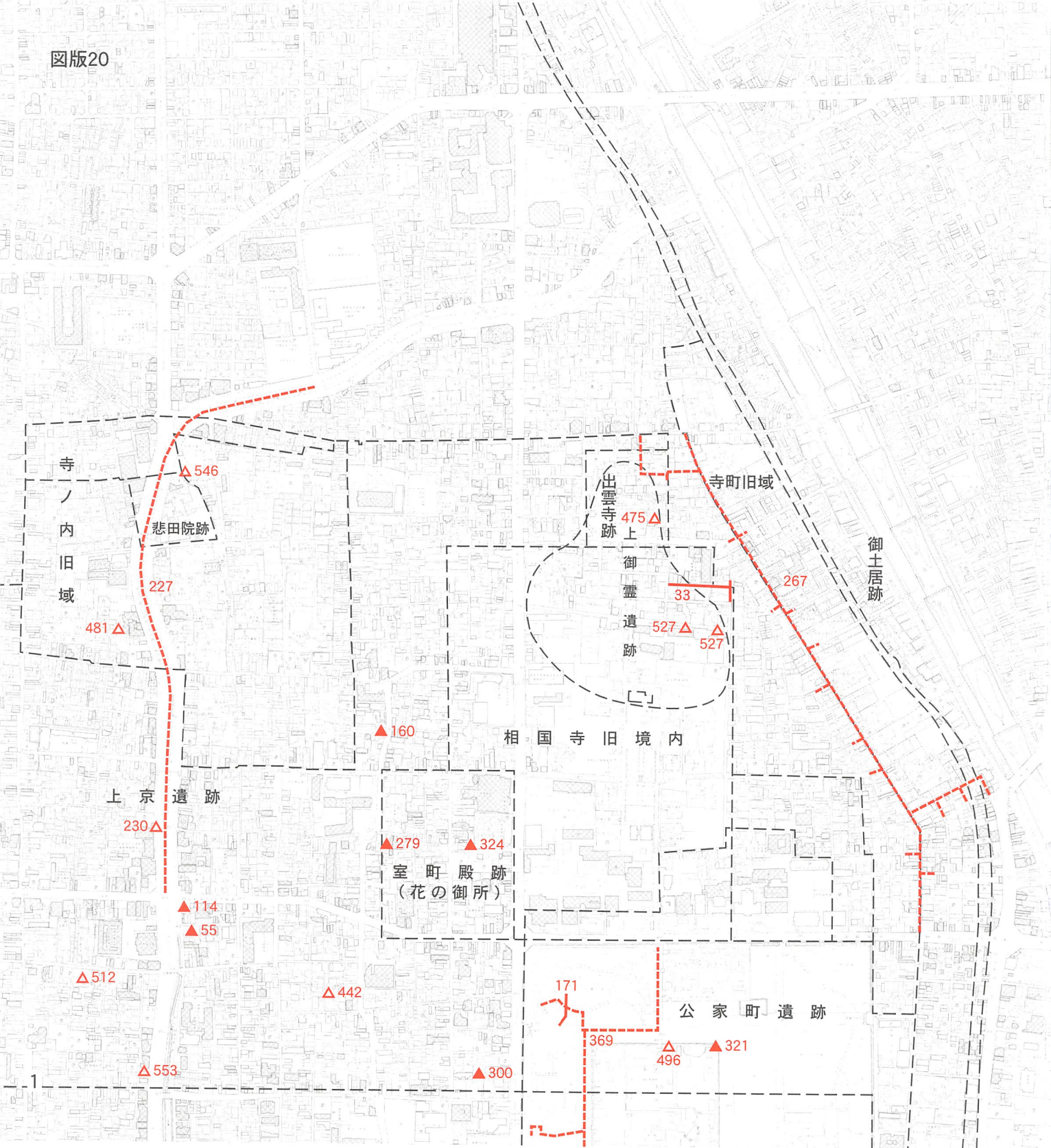
▲248

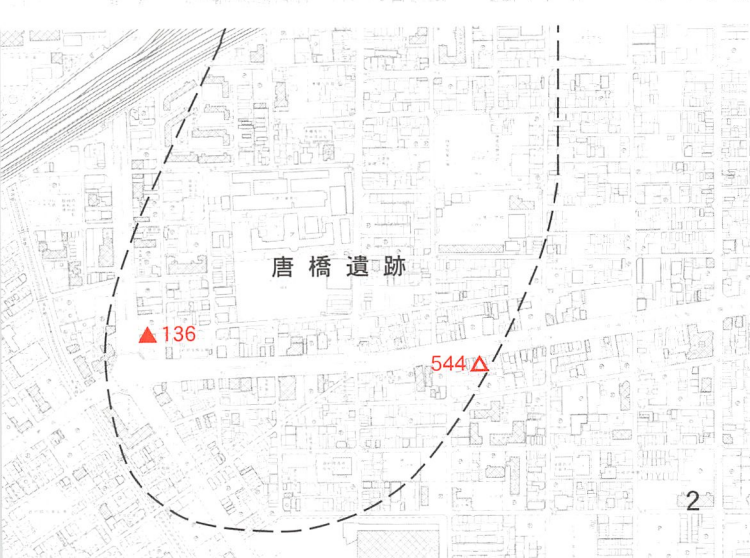
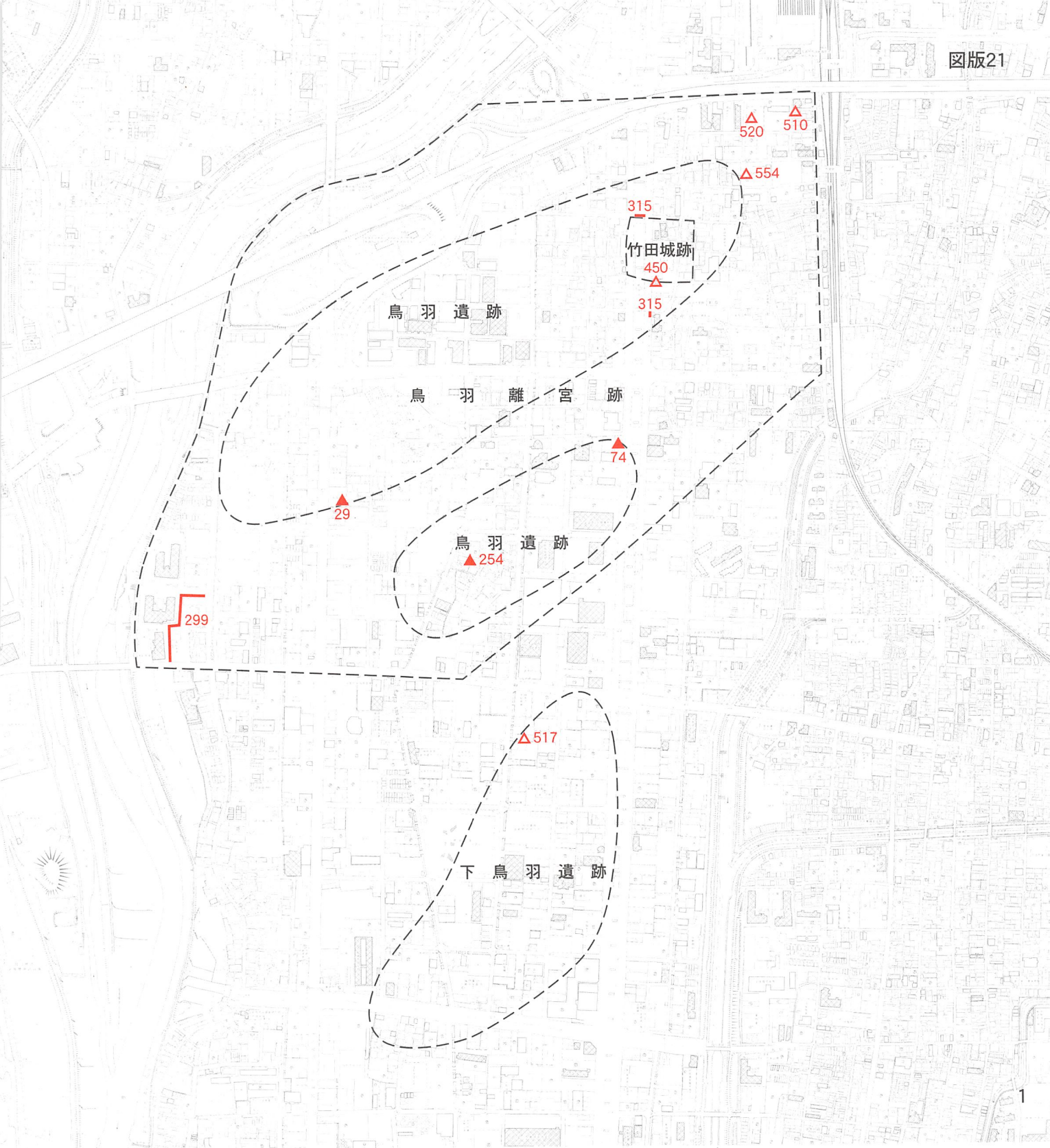
長岡京跡

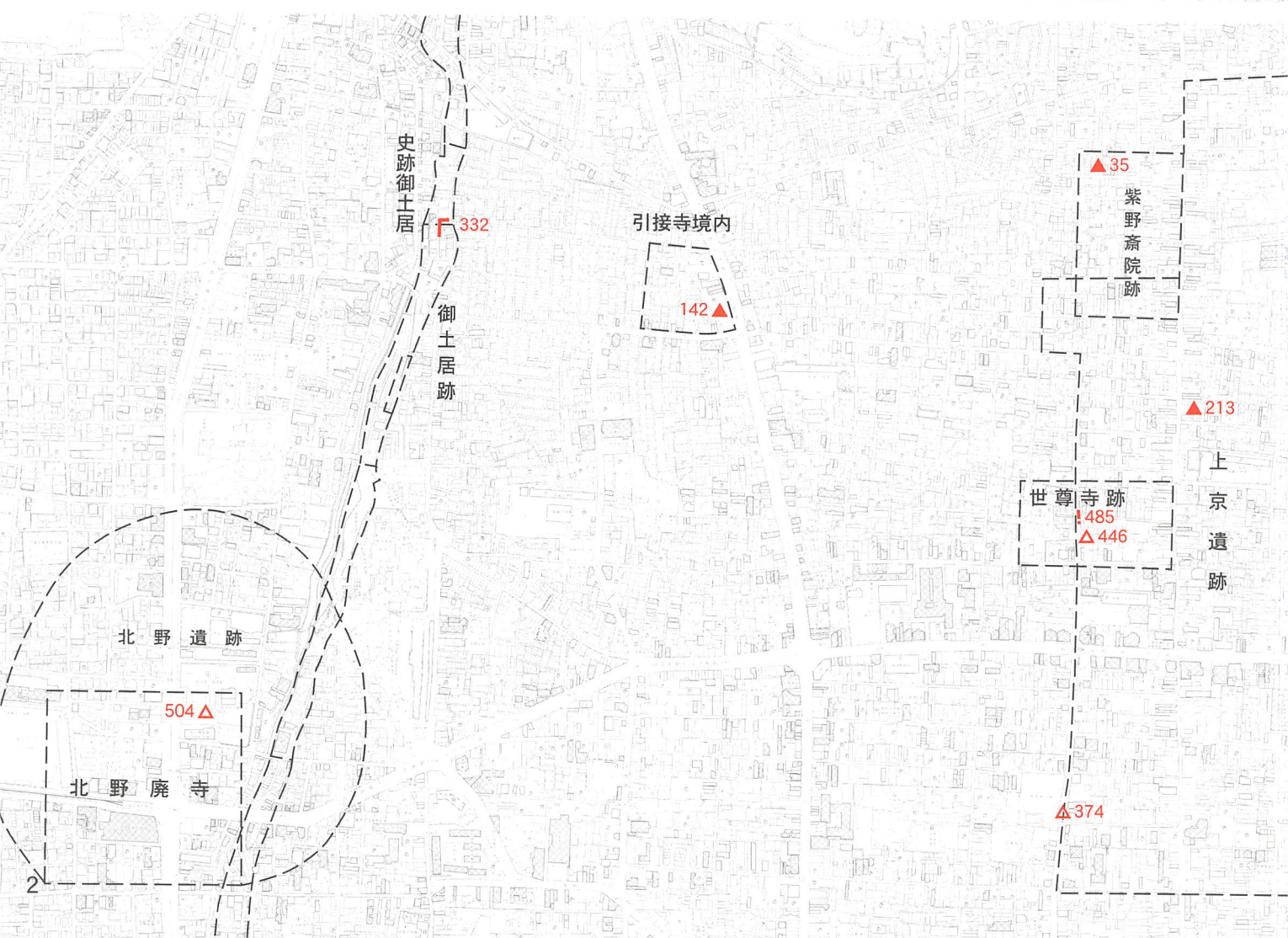
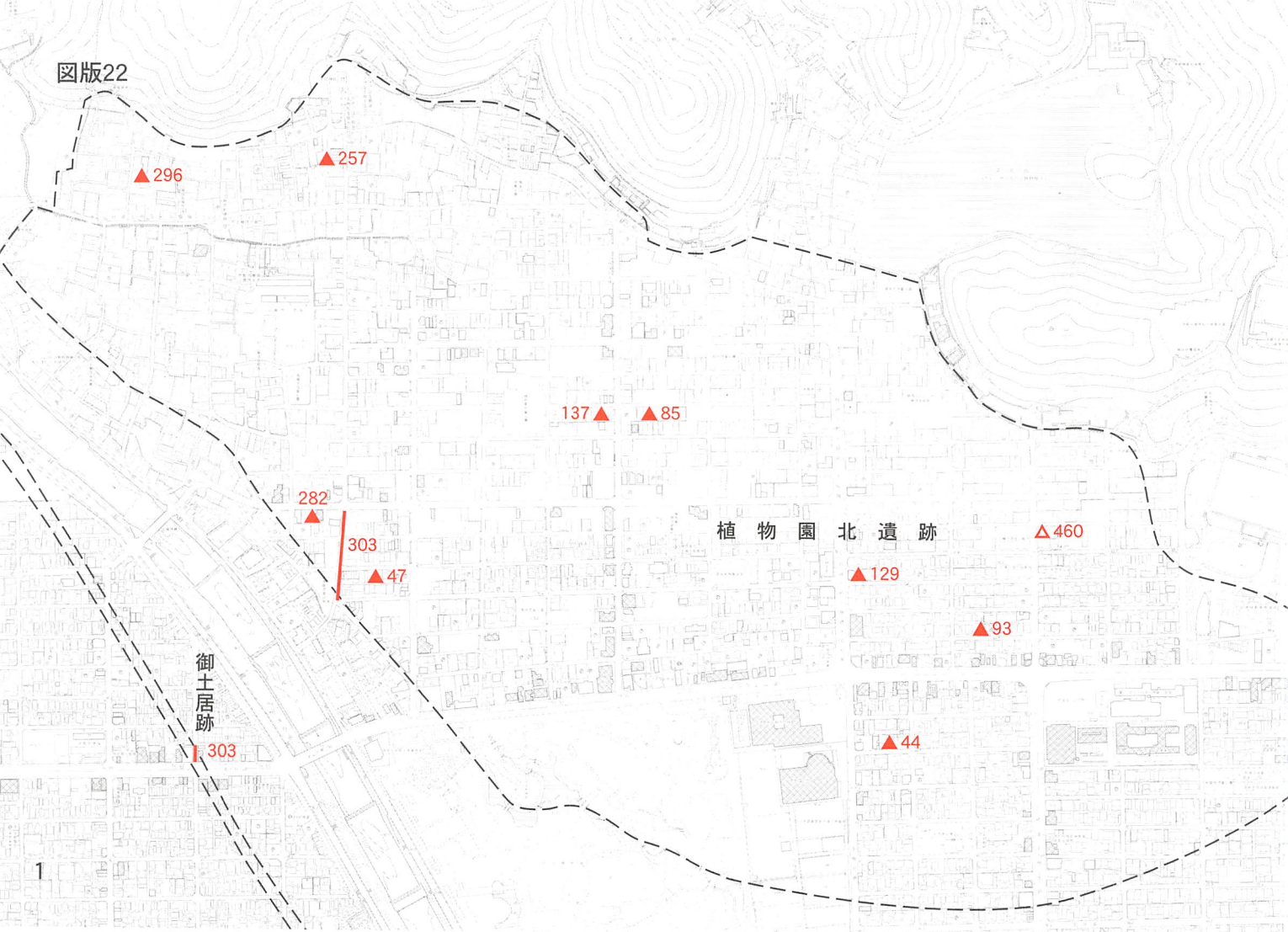
▲545

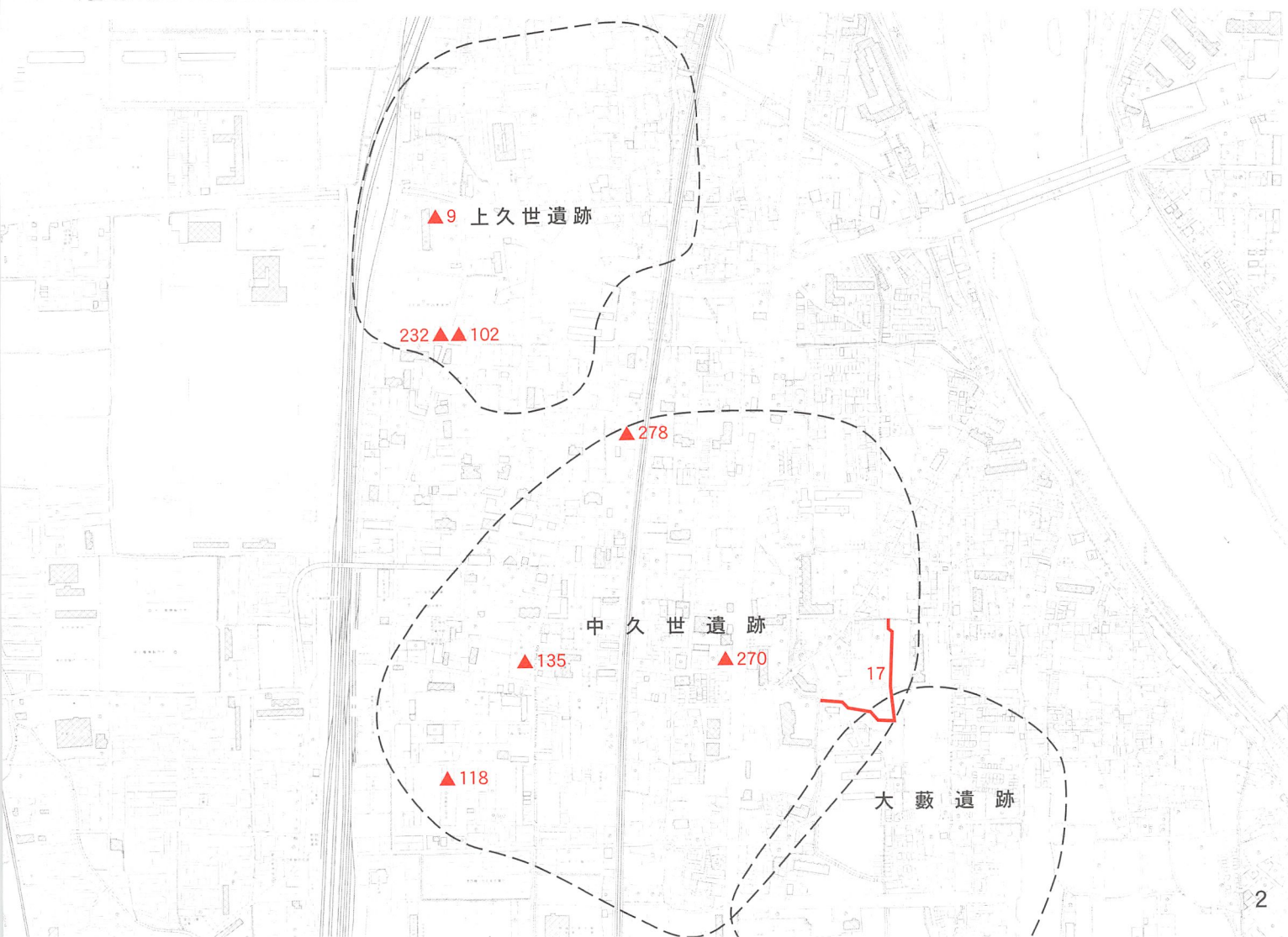
237

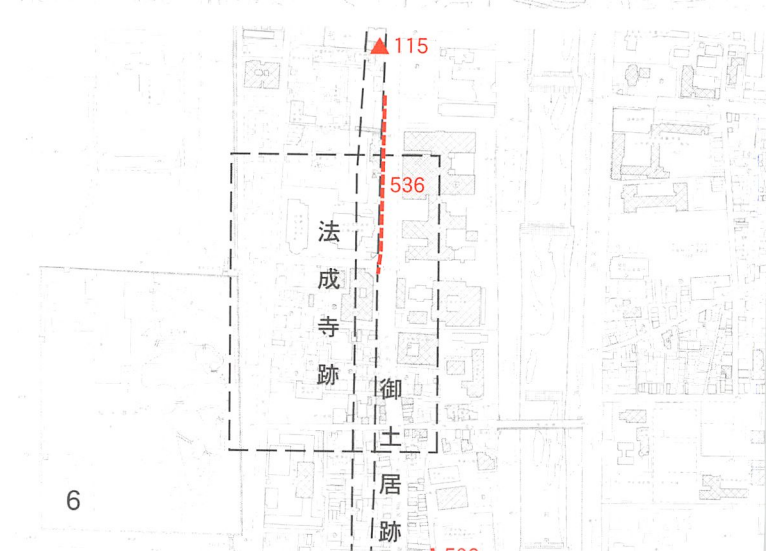
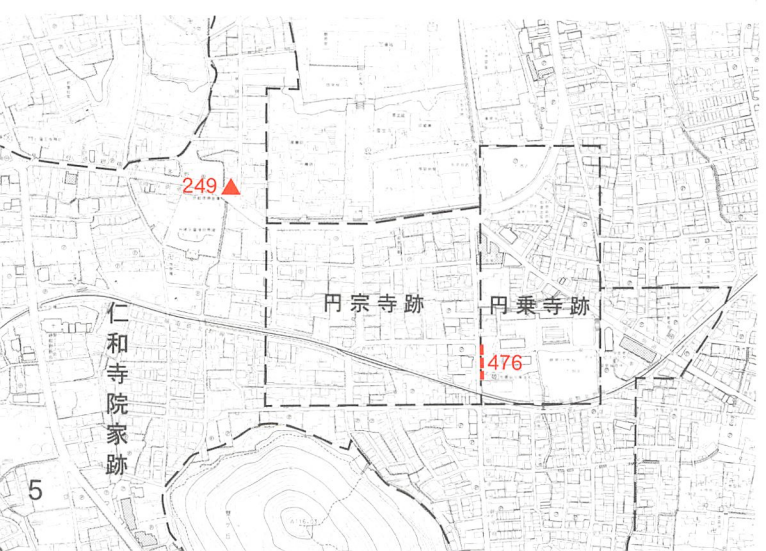
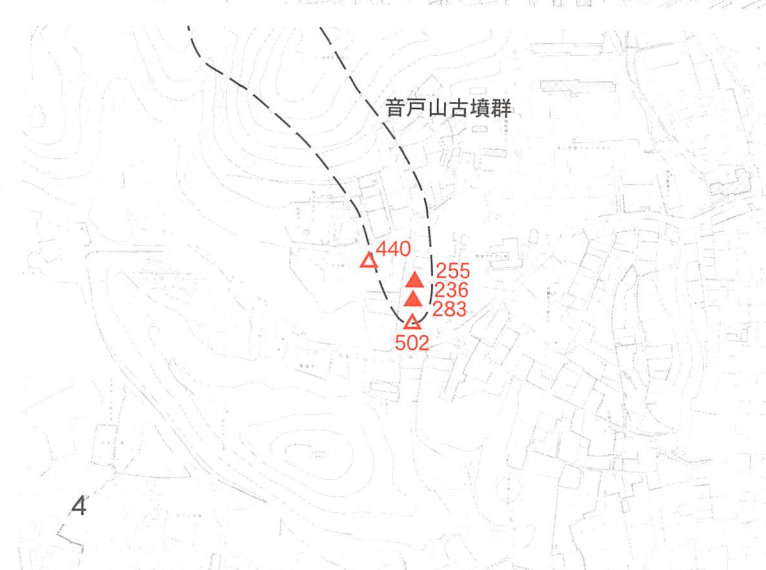
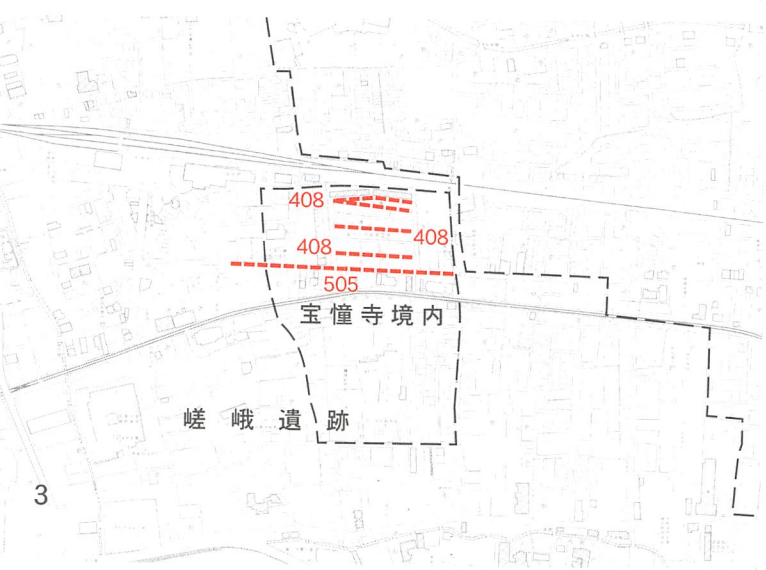
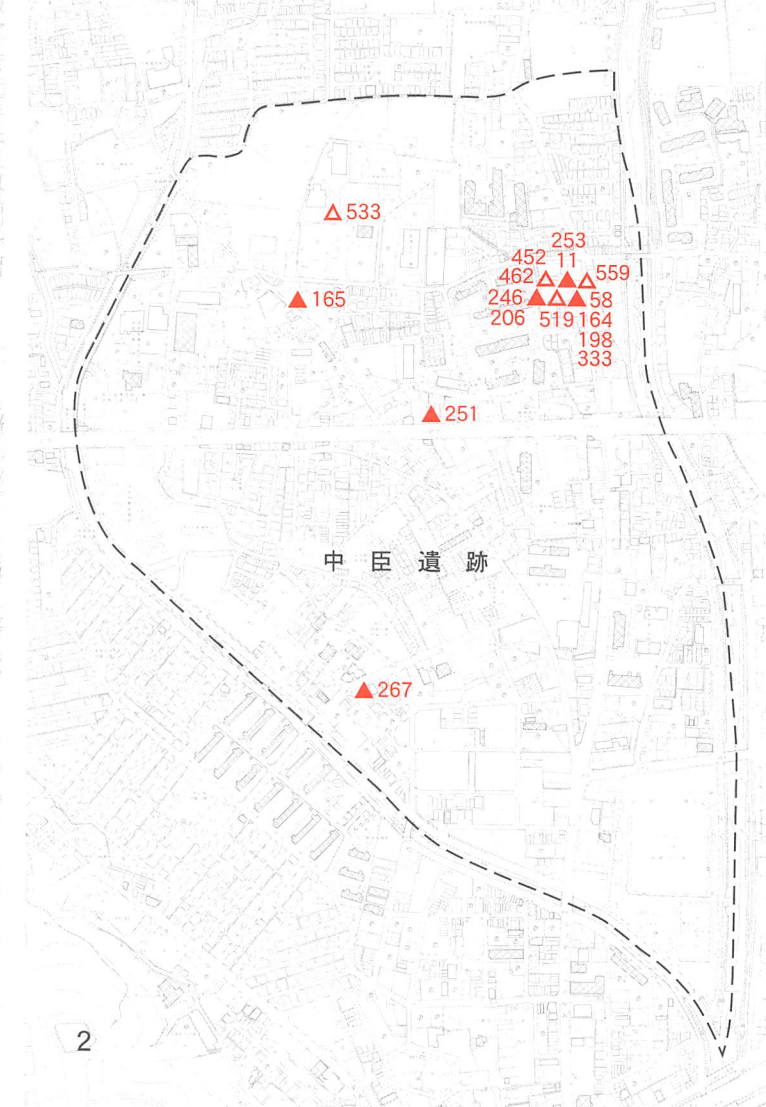
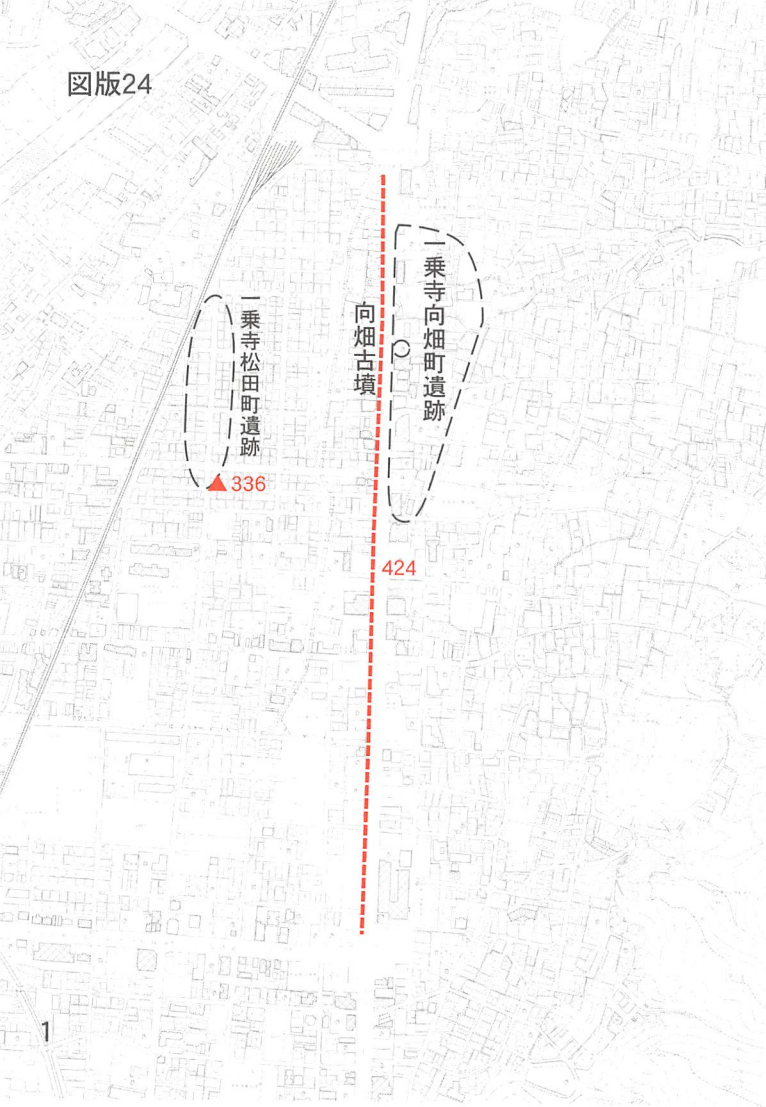


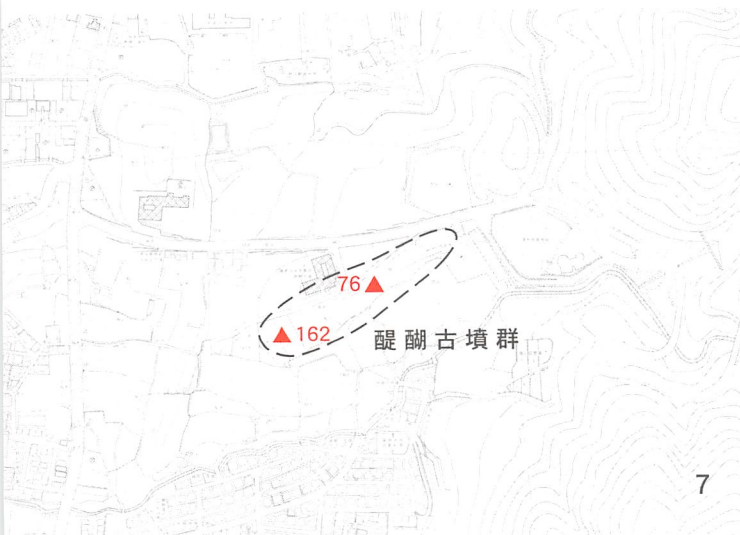
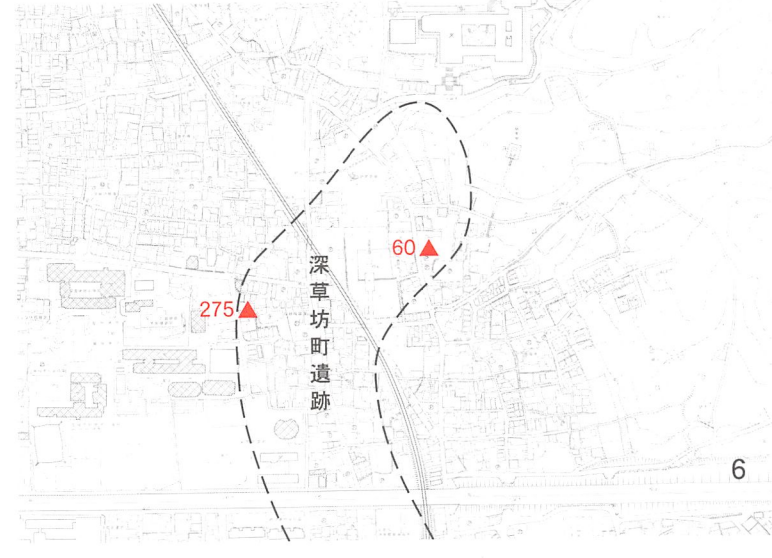
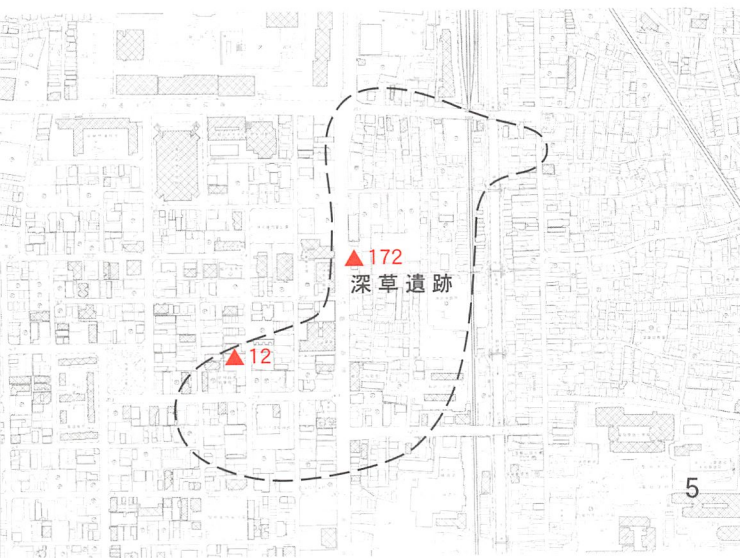
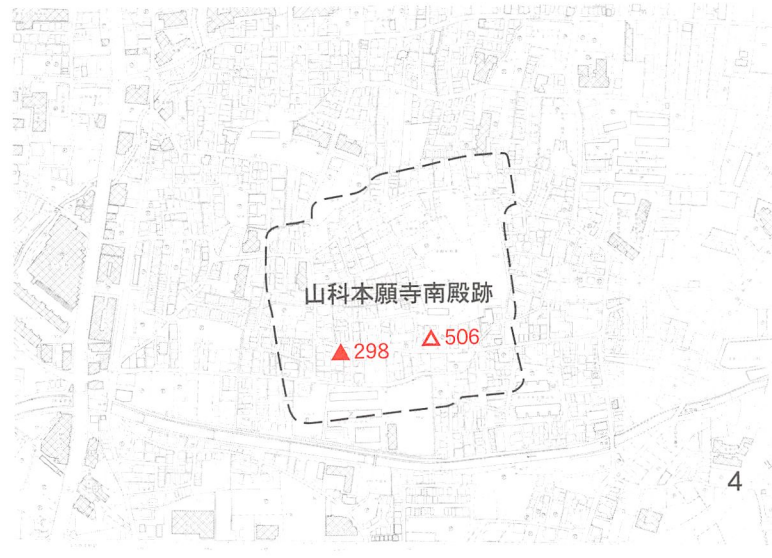
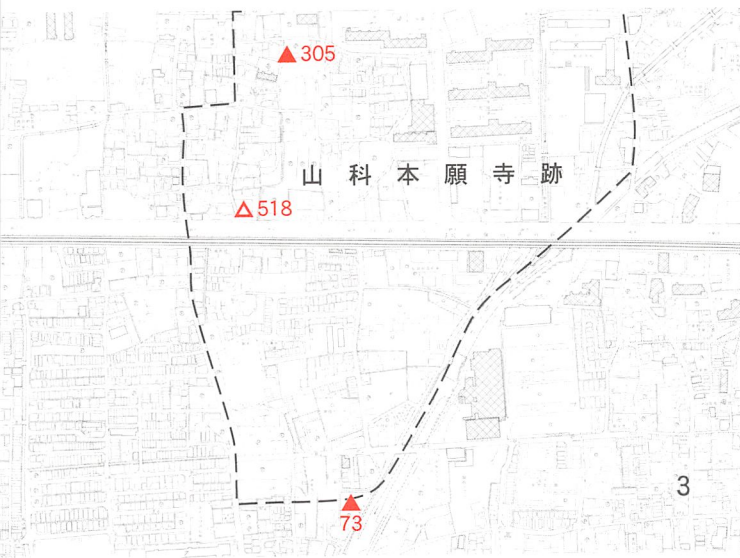


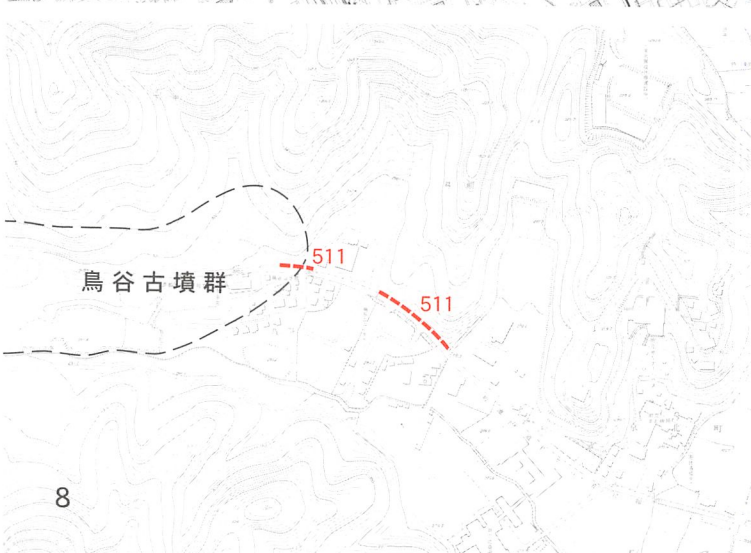
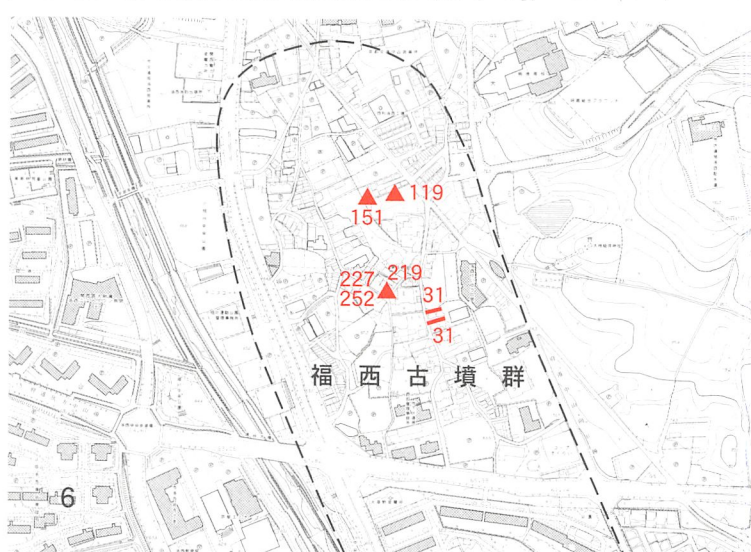
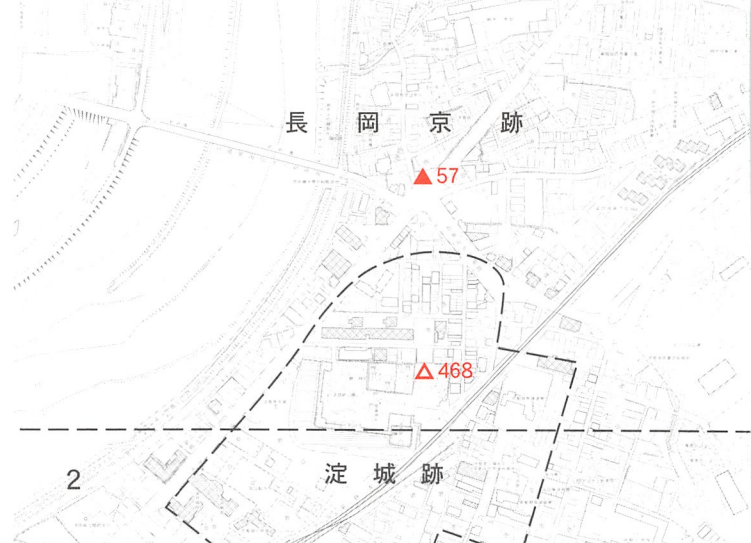
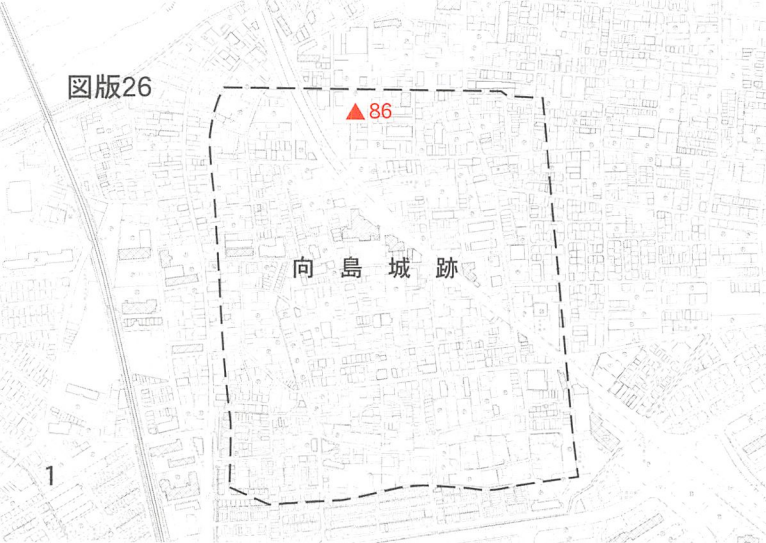














平安京左京一条二坊九町 (07HL71) 石室全景 (北から)



平安京左京一条二坊九町 (07HL71) 南壁断面 (北から)



平安京左京四条一坊四町 (06HL482) 木組遺構、横板 (西から)



平安京左京四条一坊四町 (06HL482) 木組遺構、横板を外した後の杭 (西から)



平安京左京五条一坊八町 (06HL543) 溝状遺構、A-B間断面 (西から)



平安京左京五条一坊八町 (06HL543) 溝状遺構、C-D間断面 (南西から)



平安京右京二条二坊二町 (07HR184) 東西溝A-A'断面及びび瓦組暗渠 (東から)



平安京右京二条二坊二町 (07HR184) 東西溝及びび瓦組暗渠 (南から)



平安京右京二条二坊十五町 (07HR56) No. 1 地点東西溝断面 (西から)



平安京右京二条二坊十五町 (07HR56) No. 2 地点東西溝断面 (東から)

遺
構



1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214) 石垣 (西から)



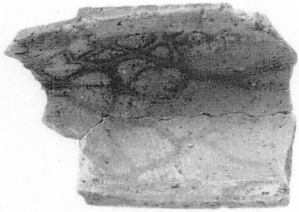
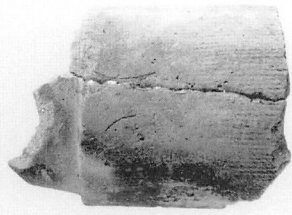
2 上久世遺跡 (07MK 9) No. 1 地点竪穴住居跡 (北から)



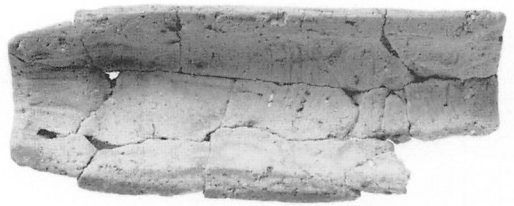
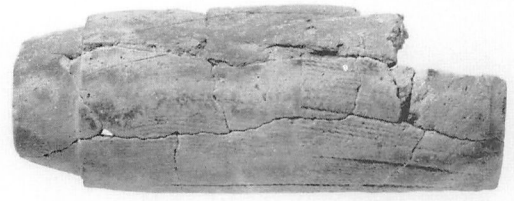
上久世遺跡 (07MK9) No.2 地点竪穴住居跡 (北から)



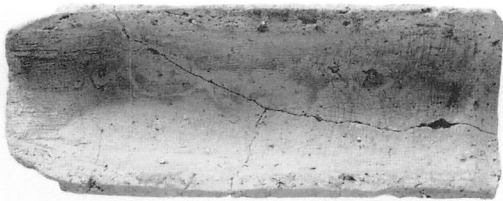
上久世遺跡 (07MK9) No.3 地点ピット群 (北から)



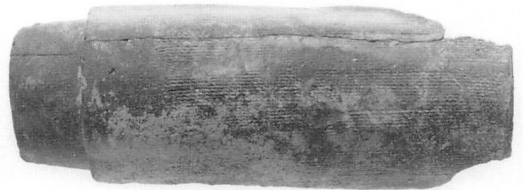
10



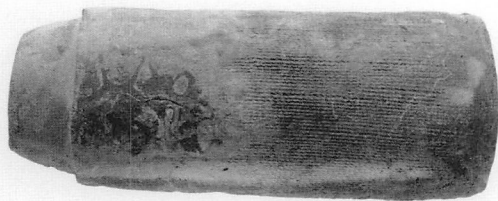
13



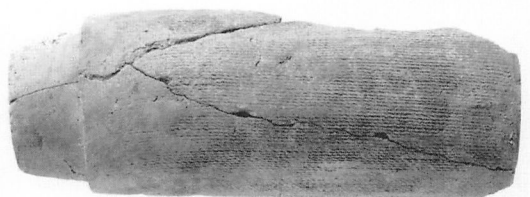
11



14



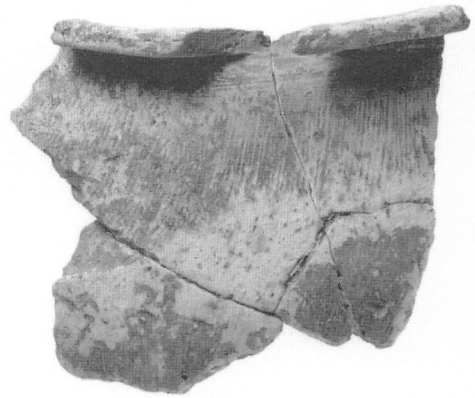
12



15



21



33



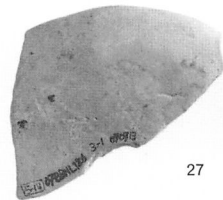
24



34



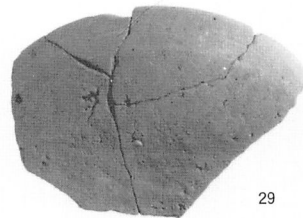
25



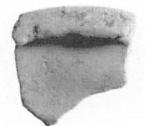
27



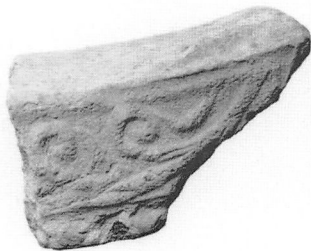
26



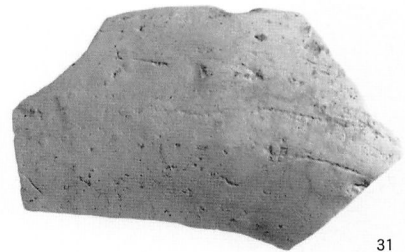
29



28



32



31

21 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)、24 上久世遺跡 (07MK9)、25 平安京左京二条三坊三町 (07HL124)、26~29・31・32 平安京左京四条二坊九町 (07HL126)、33 村ノ内町遺跡 (07UZ262)、34 白河北殿跡 (07KS230)

京都市内遺跡立会調査報告

平成19年度

発行日 2008年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 (財)京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
〒602-8435 TEL 075-415-0521
<http://www.kyoto-arc.or.jp/>
印刷 三星商事印刷株式会社